

町田市立博物館に関する意識調査

結果報告書

（目 次）

1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3. 回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4. 調査結果のまとめ・・・・・・・・・・	6
(1) 「町田市立博物館」について・・・・・・・・	7
(2) 町田市内にある博物館や類似の展示施設について・・	16
(3) 今後の博物館のあり方について・・・・・・・・	19
(4) 自由回答の整理・・・・・・・・・・	25

（資料）

アンケート結果・・・・・	29
自由回答・・・・・・・・・・	35

● 町田市立博物館に関する意識調査 詳細分析・・・・・	49
-----------------------------	----

2009年 12月

町田市

1. 調査の目的

町田市立博物館は、築35年が経過し建物の老朽化が目立つようになりました。この調査は、この機会に市民の皆様から町田市にふさわしい博物館のあり方についてご意見をお聞かせいただき、今後の博物館のあり方や運営の指針となる計画の策定の基礎資料とするためのものです。

2. 調査の概要

1) 調査方法 : 調査票（無記名式）を郵送配布・郵送回収

2) 実施期間 : 2009年5月15日（金）～2009年6月3日（水）

3) 調査対象者 ◆18歳以上の町田市民
◆無作為抽出

（参 考）

【年代別】

	総数	男	女
10歳代	48	24	24
20歳代	274	141	133
30歳代	401	217	184
40歳代	310	166	144
50歳代	277	149	128
60歳代	353	164	189
70歳以上	337	139	198
合計	2,000	1,000	1,000

【地区別】

	発送数	男	女
町田地区	498	252	246
南地区	639	308	331
鶴川地区	386	201	185
忠生地区	318	159	159
堺地区	159	80	79
合計	2,000	1,000	1,000

4) 回収結果

配布数	2, 000票
回収数	716票
回収率	35. 8%

5) 調査項目

アンケートは、町田市立博物館の現状および今後の博物館のあり方について市民の考えを聴くために、大きく次の3つの区分において調査を行いました。

①「町田市立博物館」（本町田遺跡公園隣接）について

- ◆町田市立博物館の認知度
- ◆町田市立博物館の評価
- ◆分野別展示物の重要性

②町田市内にある博物館や類似の展示施設について

- ◆町田市内にある博物館や類似の展示施設の認知度・期待度など
- ◆町田市内にある博物館や類似の展示施設の現状のイメージ

③今後の博物館のあり方について

- ◆見学する以外の博物館の利用方法と必要な機能
- ◆将来、博物館が建設されると良い場所
- ◆町田市の博物館の設備など重要であること

6) 調査結果の見方

- 集計結果の％表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、全ての比率の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。
- 有効回答数が少ない項目については、分析を省いている場合があります。例えば、年代別のクロス集計において、10 歳代では9票と少サンプルのため、数値の信頼性が低くなります。
- n は、各問の全有効回答数です。

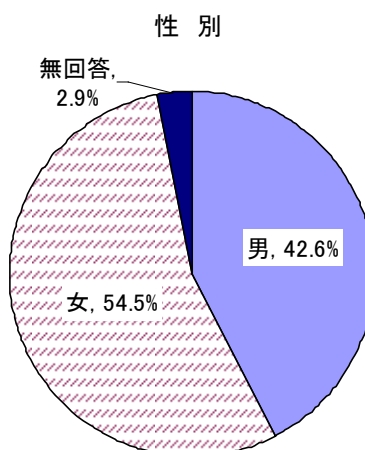
3. 回答者の属性

本調査では、716票（35.8%）の有効回答を得ました。

なお、配布先の属性別の数値と回答者の属性をみると、10～20歳代の回答率が若干低くなっています。また、地区別では、町田地区と答えた人の割合が特になくなっており、これは行政側の想定した地区と住民が考える地区に違いがあった可能性が考えられます。

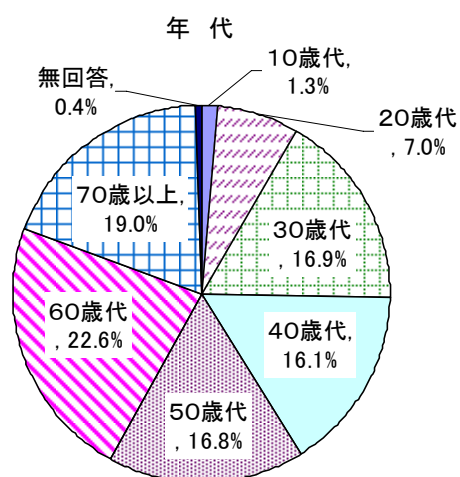
（性別）

男	305	42.6%
女	390	54.5%
無回答	21	2.9%
合 計	716	100.0%



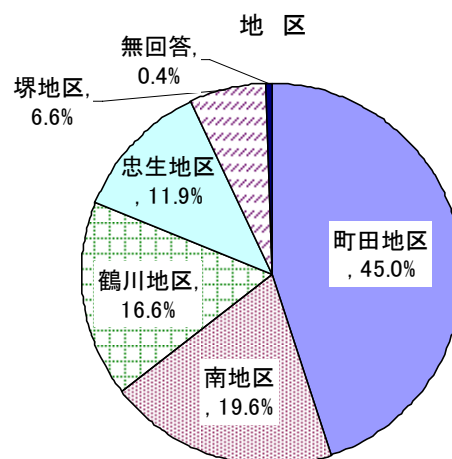
（年齢）

10歳代	9	1.3%
20歳代	50	7.0%
30歳代	121	16.9%
40歳代	115	16.1%
50歳代	120	16.8%
60歳代	162	22.6%
70歳以上	136	19.0%
無回答	3	0.4%
合 計	716	100.0%



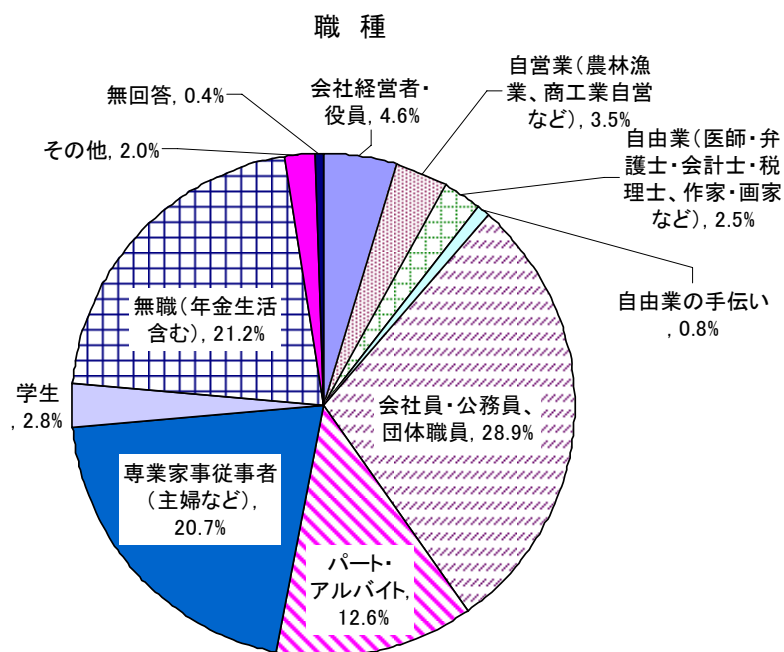
(地区)

町田地区	322	45.0%
南地区	140	19.6%
鶴川地区	119	16.6%
忠生地区	85	11.9%
堺地区	47	6.6%
無回答	3	0.4%
合 計	716	100.0%



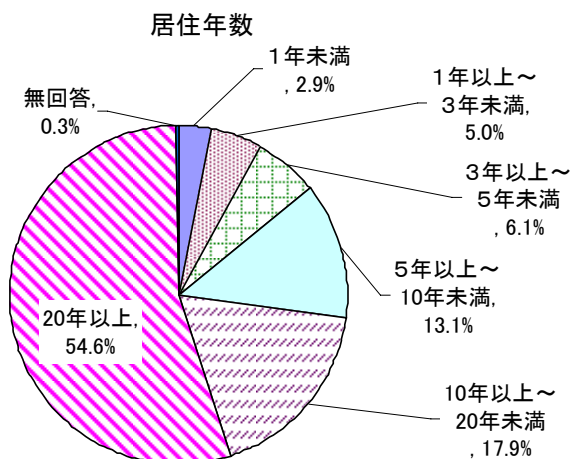
(職種)

会社経営者・役員	33	4.6%
自営業（農林漁業、商工業自営など）	25	3.5%
自由業（医師・弁護士・会計士・税理士、作家・画家など）	18	2.5%
自由業の手伝い	6	0.8%
会社員・公務員、団体職員	207	28.9%
パート・アルバイト	90	12.6%
専業家事従事者（主婦など）	148	20.7%
学生	20	2.8%
無職（年金生活含む）	152	21.2%
その他	14	2.0%
無回答	3	0.4%
合 計	716	100.0%



(居住年数)

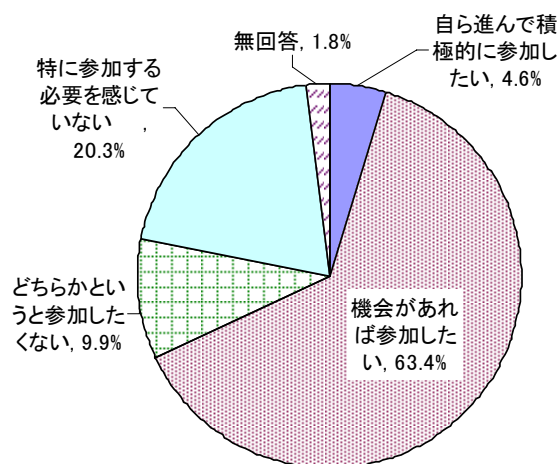
1 年未満	21	2.9%
1 年以上～3 年未満	36	5.0%
3 年以上～5 年未満	44	6.1%
5 年以上～10 年未満	94	13.1%
10 年以上～20 年未満	128	17.9%
20 年以上	391	54.6%
無回答	2	0.3%
合 計	716	100.0%



(文化活動への参加)

自ら進んで積極的に参加したい	33	4.6%
機会があれば参加したい	454	63.4%
どちらかというに参加したくない	71	9.9%
特に参加する必要を感じていない	145	20.3%
無回答	13	1.8%
合計	716	100.0%

文化活動への参加



4. 調査結果のまとめ

<<町田市立博物館について>>

- ◇ 知っている人は7割、行ったことがある人は全体の4割です。来館者の4割は5年以上前に訪れたきりで、ここ一年に行ったことがある人は全体の13%です。
- ◇ 70歳以上の高齢者は博物館をよく訪れています（65%）。年代が下がるにつれて行ったことのある人の割合は減少し、30歳代では19%になります。
- ◇ 展示品を目的に訪れる人は、来館者の7割程度です。
- ◇ これまでに訪れた人の不満は、交通の便や駐車場・駐輪場であり、職員の対応や館内の雰囲気には満足しています。
- ◇ 博物館を知っていながら訪れていない人の半数は、「これまできっかけがなかったから」としています。また、3人に1人は交通の便が悪いことを挙げています。
- ◇ 分野別の重要性では、全体として「歴史」が高く、「美術」が低くなっています。分野に係わらず、総体的に30歳代～50歳代の関心が高く、20歳代、60歳代の関心が低くなっています。

<<町田市内にある博物館や類似の展示施設について>>

- ◇ 町田市にある施設で、国際版画美術館の認知度、来館者、今後（も）行ってみたい施設として特に高くなっています。
- ◇ 萬葉草花苑は、行ったことがある人は3割程度ですが、今後（も）行ってみたい人が、約6割に上ります。
- ◇ 約7割の人は、博物館や類似の展示施設の展示物は、町田市に縁（ゆかり）のある展示品を展示していると感じています。70歳代以上では、「全国的に価値のある資料」や「知名度の高い展示物」、30歳代では、「市固有の資料」、「学習・体験」の項目が高くなっています。

<<今後の博物館のあり方について>>

- ◇ 博物館で見学する以外の利用方法として、「書籍・文献の閲覧」、「講座や体験学習会への参加」、「講演会やフォーラムへの参加」に利用したいと思っている割合が高くなっています。
- ◇ 「資料の収集活動に参加する」、「博物館活動の補助、支援」、「学芸員を直接訪問し質問したりする」は、相対的に低い割合となっています。
- ◇ 将来的に博物館は、「大きな公園の中やそれに隣接する場所」が最も多くなっています。
- ◇ 町田市の博物館の設備などへの希望として、「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」が最も割合が高くなっています。

(1) 「町田市立博物館」について

町田市立博物館を知っている人は、全体の約 7 割（知らない人は、約 3 割）

これまでに行ったことがある人は、全体の約 4 割

問1 「町田市立博物館」を知っていますか？

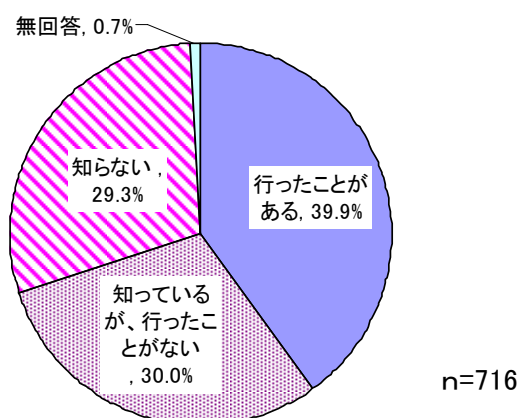


図1 町田市立博物館の認知度

性別でみると、男性が女性と比較し、実際に来館した割合が高くなっています。ただし、「知らない」とする割合は、それほど違いはありません。

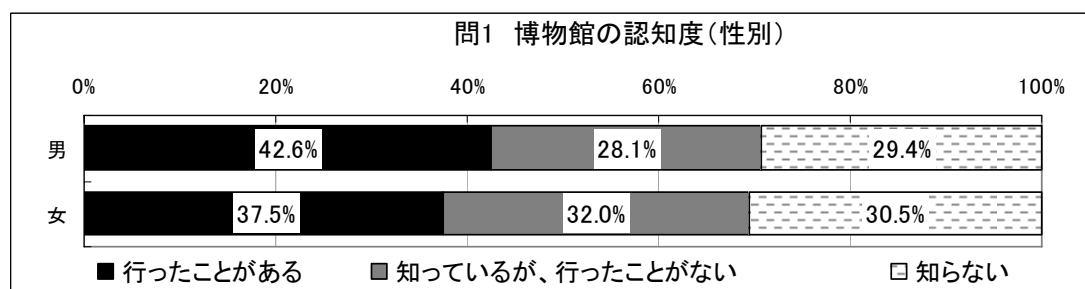


図2 町田市立博物館の認知度（性別）

年代別にみると、70歳以上（65%）、60歳代（52%）がよく訪れています。一方で、50歳代以下では、急激に来館者が減少し、30歳代が最も低く19.2%となっています。20歳代（30%）は、多くは5年以上前としていることから、子どもの頃に学校の行事などで訪れた可能性が高いと考えられます。

なお、10歳代はサンプル数が9票と少サンプルであるため、年代別の比較からは除いています。

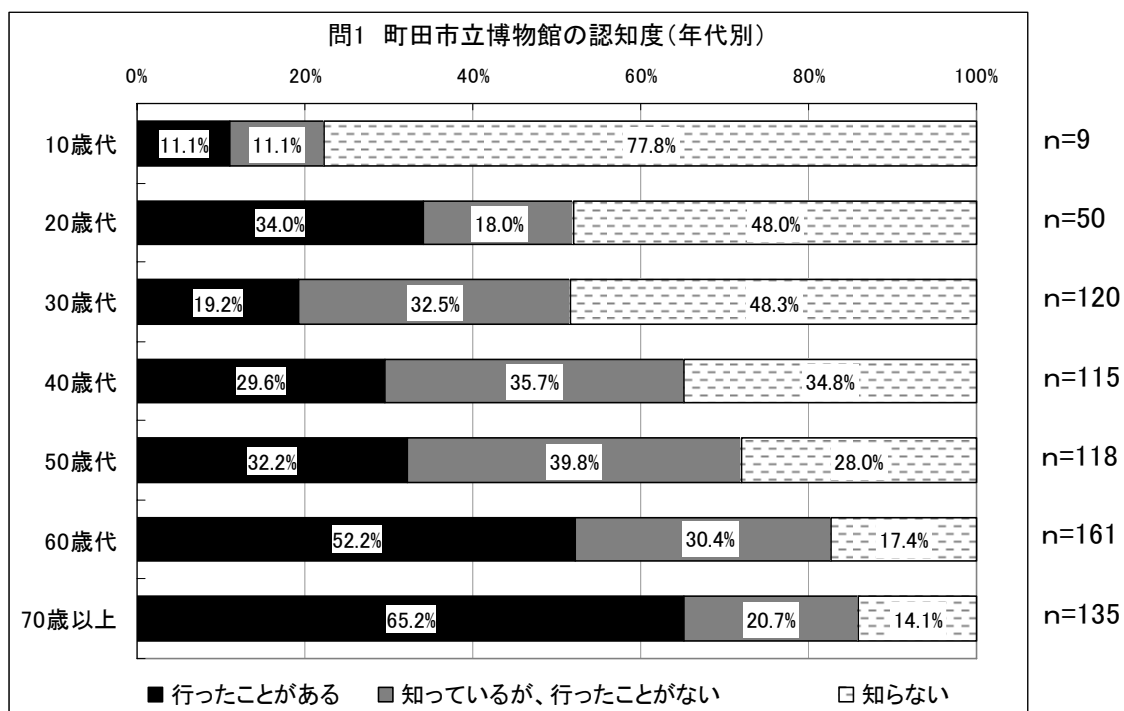


図3 町田市立博物館の認知度(年代別)

活動への参加意向別にみると、「行ったことがある」とする人に文化活動への参加意向(「積極的に参加したい」+「機会があれば参加したい」)は、約8割あり、「知らない」とする人(約6割)、「知っているが、行ったことがない」(約7割)よりも割合が高くなっています。

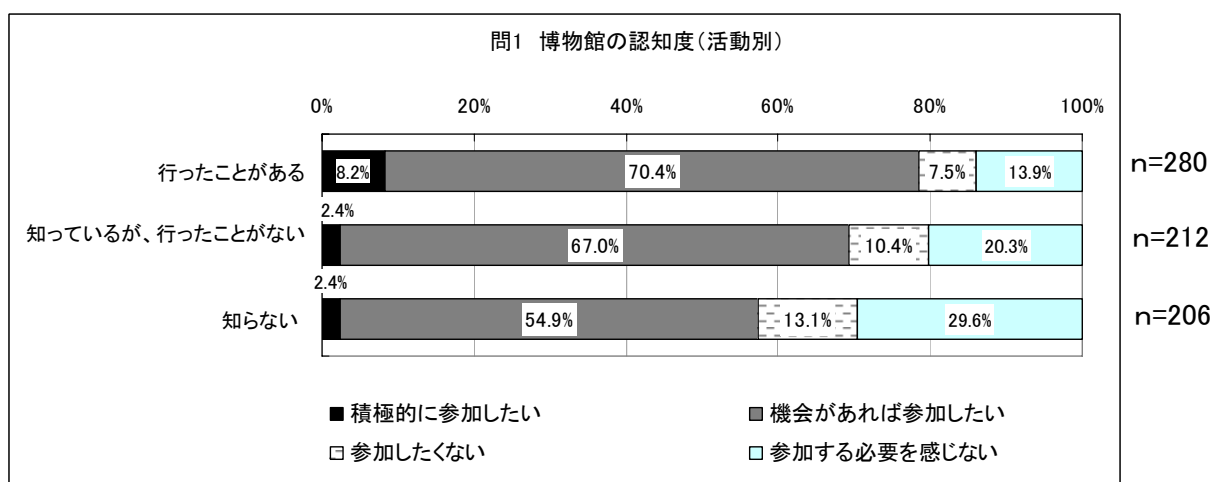


図4 町田市立博物館の認知度(活動への参加意向別)

i) 町田市立博物館に行ったことがある人への質問

町田市立博物館に行ったことがある人（全体の39.9%）の

4割強の人が5年以上前でした。

また、ここ1年間に来館した市民は、行ったことがある人の3人の1人（つまり、全体の13%）です。

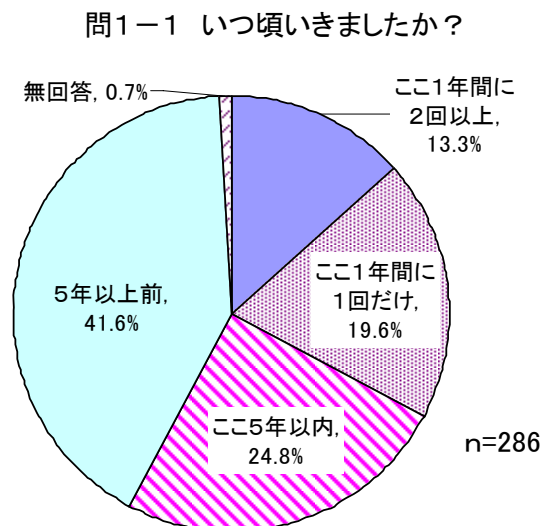


図5 町田市立博物館の訪問時期

ここ一年間で博物館へ目的を持って展示物を見に行く人は、来館者の7割程度と推測されます。

問1-2 行った理由を教えてください。

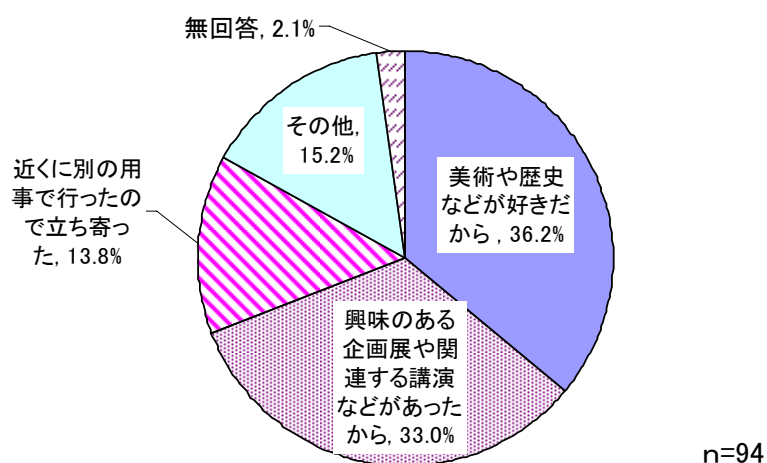


図6 町田市立博物館に行った理由

ここ1年以内に博物館に行ったことがある人は、「展示室の雰囲気」や「職員の対応」への満足度は高くなっています。

一方で、「交通の便」や「駐車場・駐輪場」について不満度が特に高くなっています。

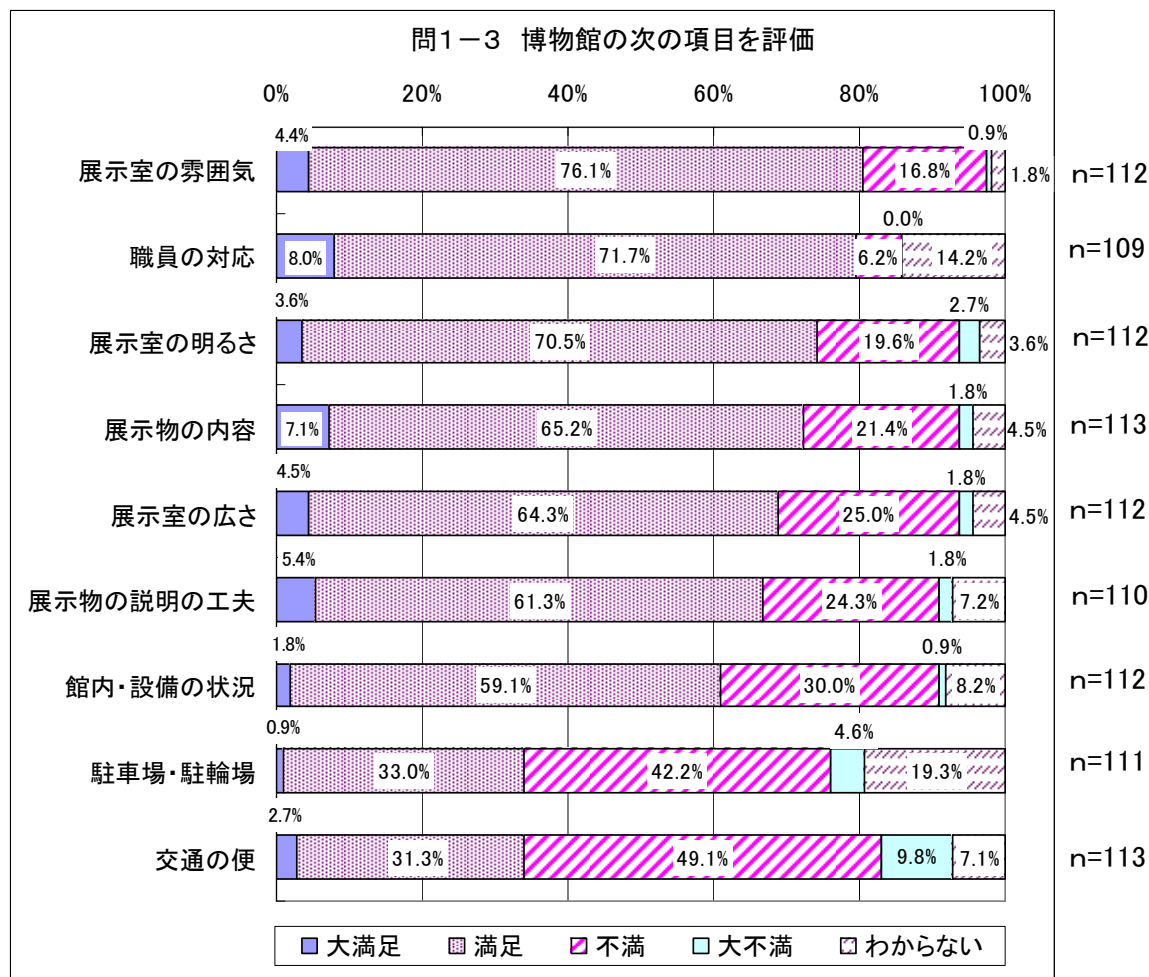


図7 町田市立博物館の評価

博物館の評価を性別でみると、特に交通の便や駐車場・駐輪場について、男性の不満が女性よりも高くなっています。

館内・設備の状況に関して、女性よりも男性の不満の方が高くなる一方で、展示物の説明の工夫については、女性の方が、不満が高くなっています。

職員の対応については、男女ともに高評価となっています。

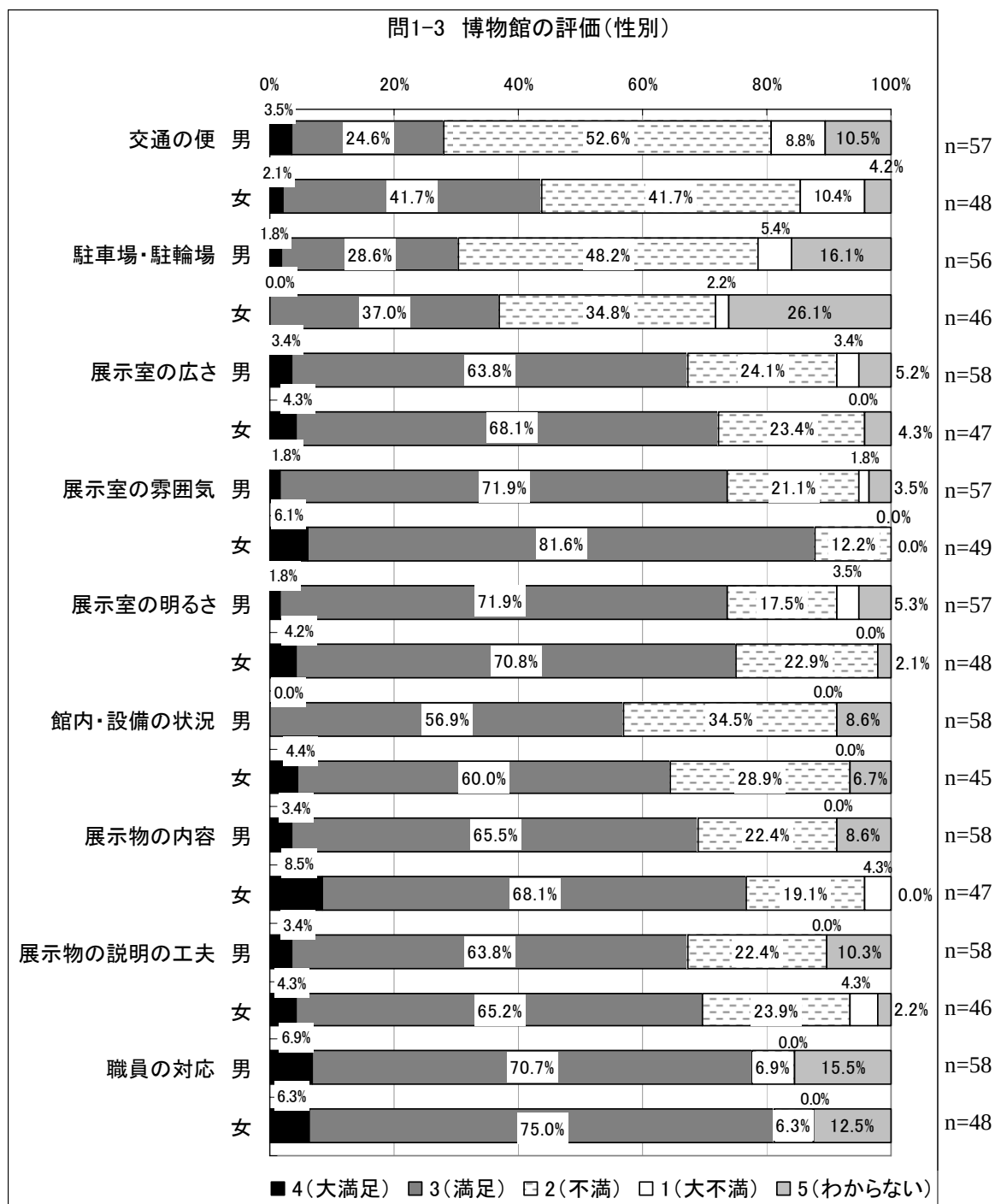


図8 町田市立博物館の評価(性別)

ii) 町田市立博物館は知っているが行ったことがない人への質問

知っているが、博物館に行ったことがない人の大半は、興味はあるが、きっかけがなかったからとしています。

また、3人に1人は、交通が不便、自宅から遠いからという理由を挙げています。

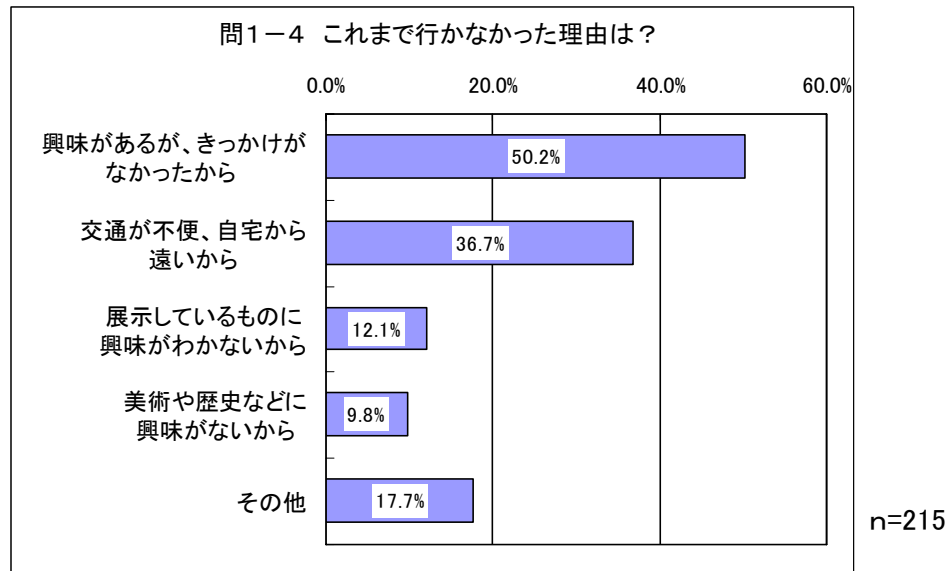


図9 知っているが行かなかった理由

iii) 町田市立博物館の展示物の重要性の高い分野

「町田市立博物館」の展示物として、どのような分野がより重要性が高いかをたずねたところ、特に「**歴史**」分野が高くなっています。次いで「**考古**」分野が高くなっています。一方で、「**美術**」分野の重要性は相対的にそれほど高くありません。

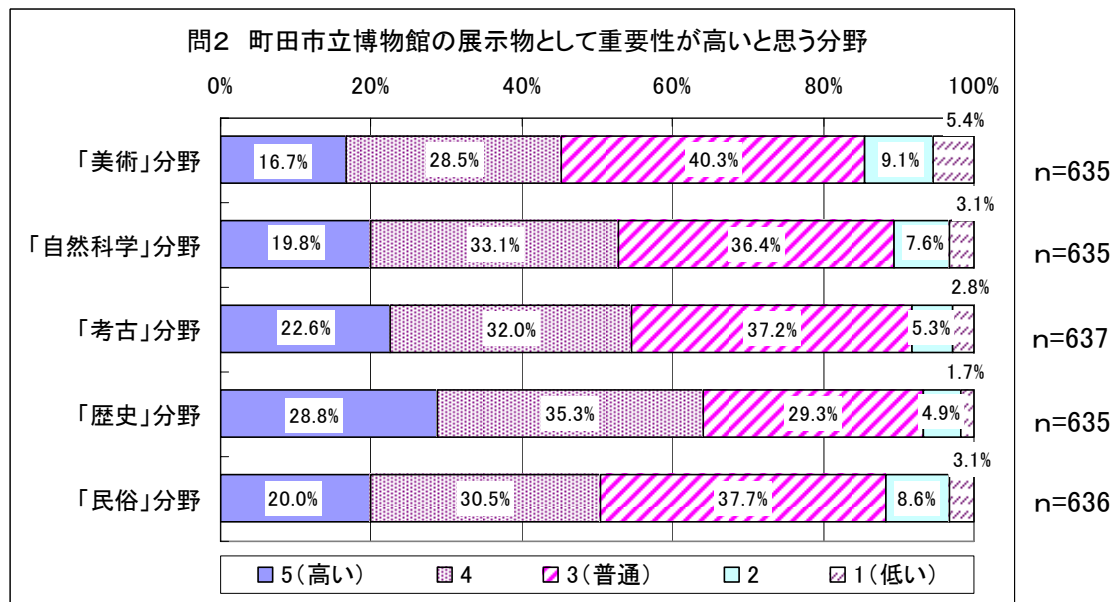


図10 分野別展示物の重要性（5点評価）

性別でみると、女性は男性と比較し「**美術**」の重要性を高く、逆に男性は、「**歴史**」、「**考古**」に関心が高くなっています。

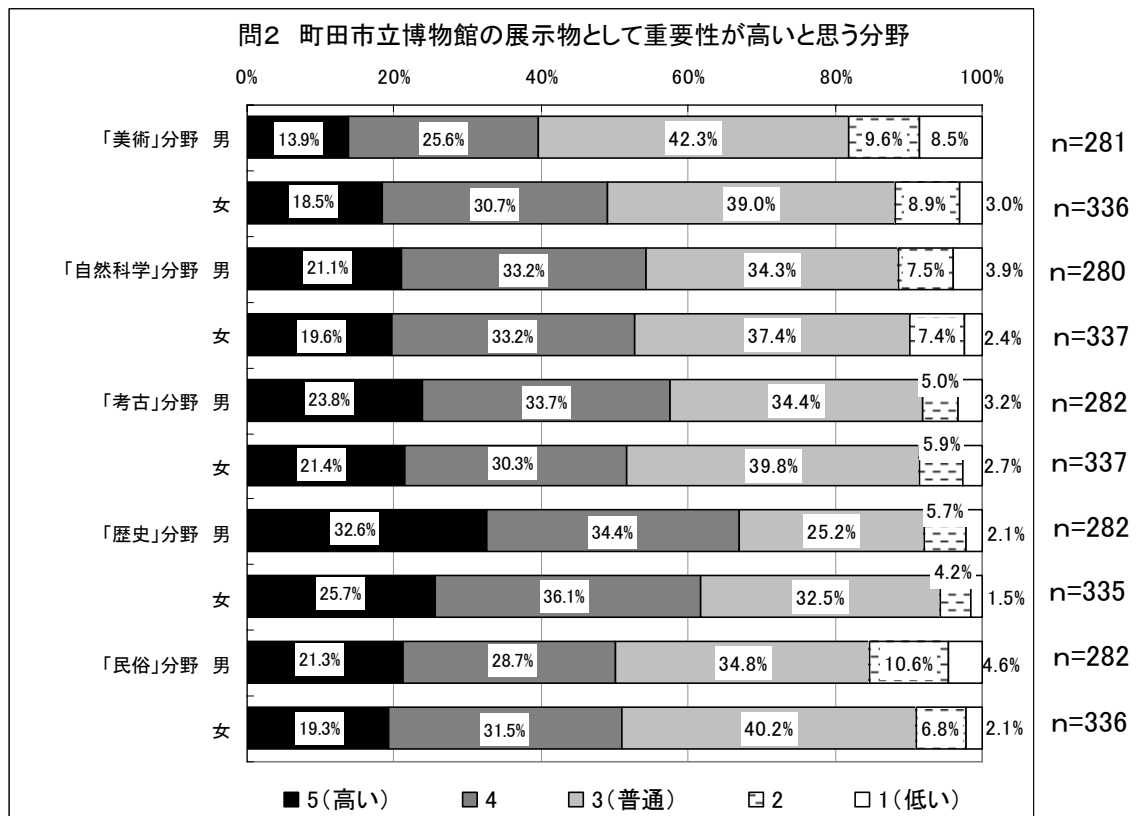


図11 分野別展示物の重要性（性別）

各分野の展示物の重要性について年代別にみると、次のような傾向があります。展示物の重要性を年代別にみると、60 歳代、20 歳代では各分野ともに総じて低く、30 歳代～40 歳代では「美術」分野を除き重要性は総じて高い傾向にあります。

- ・ 「美術」分野では、20 歳代で特に高く、50 歳代が低い
- ・ 「自然科学」分野では、30 歳代で高く、70 歳以上で低い
- ・ 「考古」分野では、30～50 歳代で高く、20 歳代、60 歳代で低い
- ・ 「歴史」分野では、30～50 歳代で高く、20 歳代、60 歳代で非常に低い
- ・ 「民俗分野」では、30～40 歳代が高く、20 歳代、60 歳代で低い

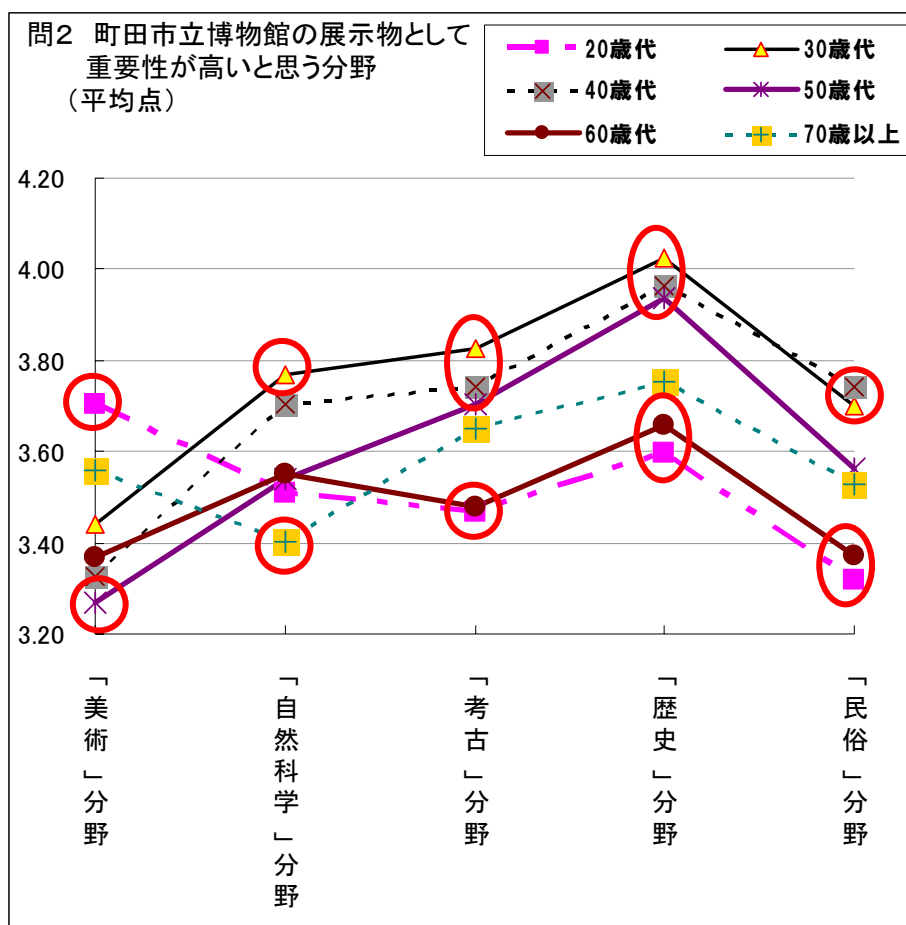


図12 分野別展示物の重要性（年代別）

※図12は、重要性の5段階評価について、重要性の1を1点から重要性の5を5点として、回答者の加重平均をとった数値を、分野ごとに比較しています。

重要と思う分野別に、文化活動に参加してもよいと思っている人の割合をみると、**「自然科学」分野を重要と思う人は、文化活動に参加意向が高い**、といえます。

（「自然科学」分野の「自ら進んで積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」とする人の割合が86.1%と、他の分野よりも高くなっています。）

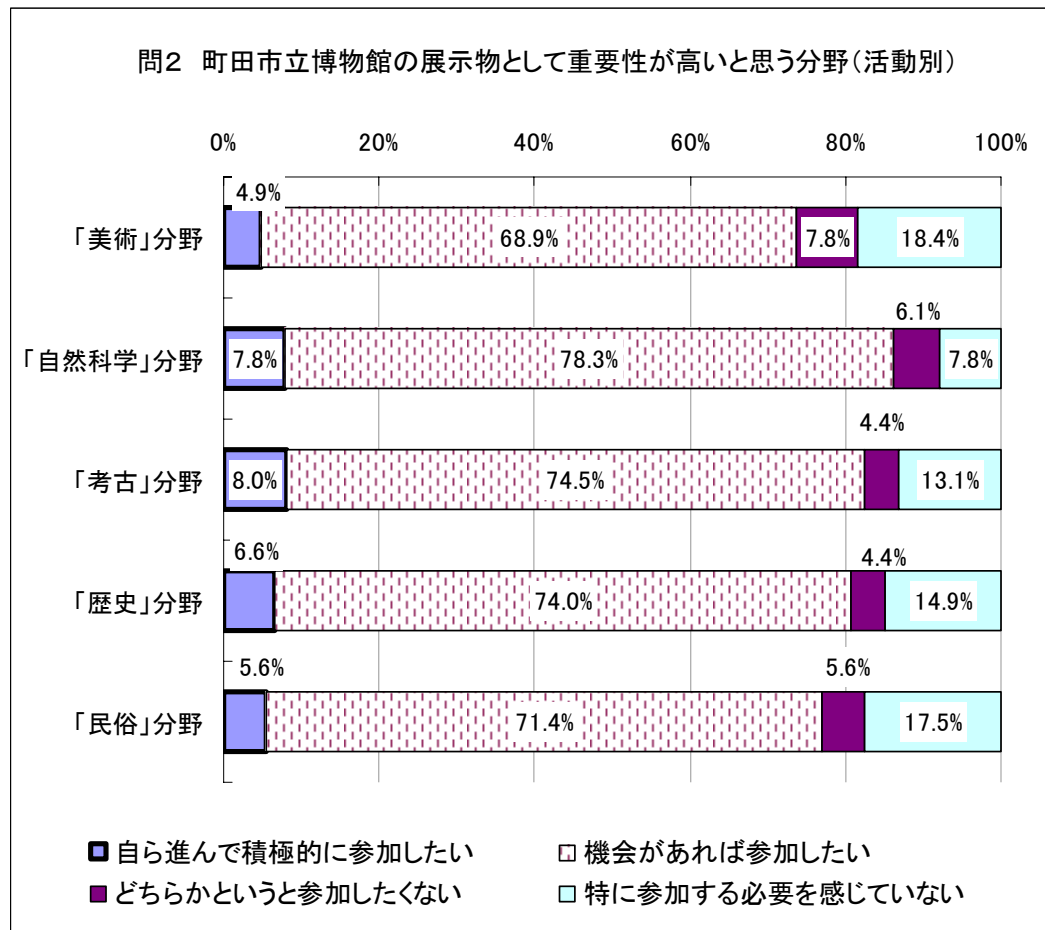


図13 分野別展示物の重要性（活動への参加意向別）

（２）町田市内にある博物館や類似の展示施設について

町田市内にある博物館や類似の展示施設（以降、“博物館等施設”もしくは“施設”と呼びます。）では、国際版画美術館の認知度は 9 割であり、他の施設と比較し特に高くなっています。次いで市立博物館が 7 割弱となっています。

一方で、考古資料館、がにやら自然館は、約 8 割の人が知らないと答えています。

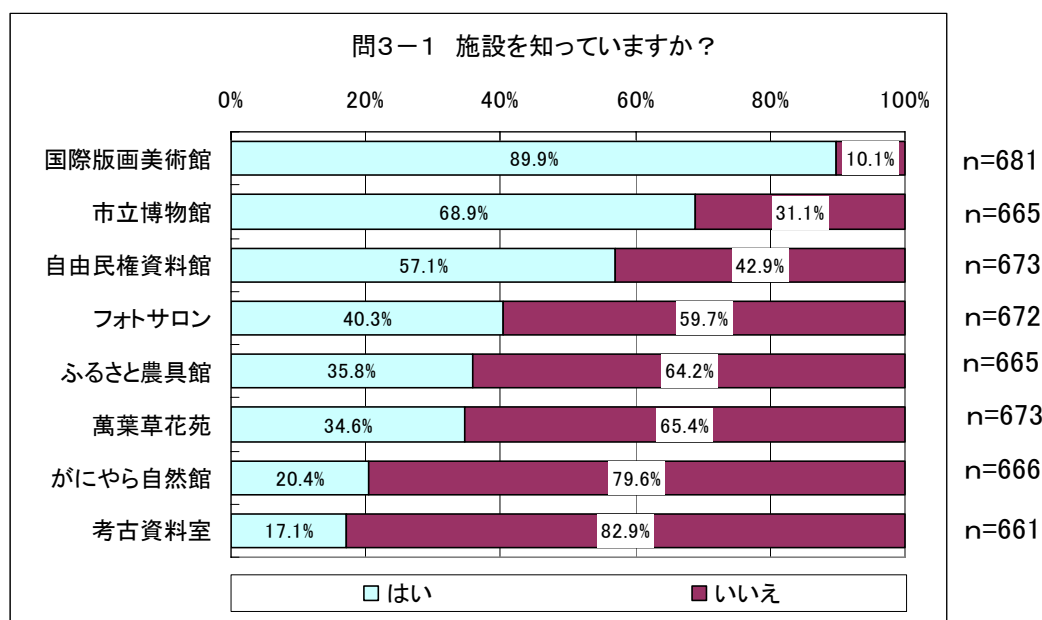


図 1 4 町田市内にある博物館や類似の展示施設の認知度

これまでに博物館等施設に行ったことのある人の割合でも、国際版画美術館が特に高くなっています。自由民権資料館は、知っているが行ったことのない割合が他の施設と比較し、高くなっています。

一方で、考古資料室は認知度も施設に行ったことがある人の割合ともに低くなっています。

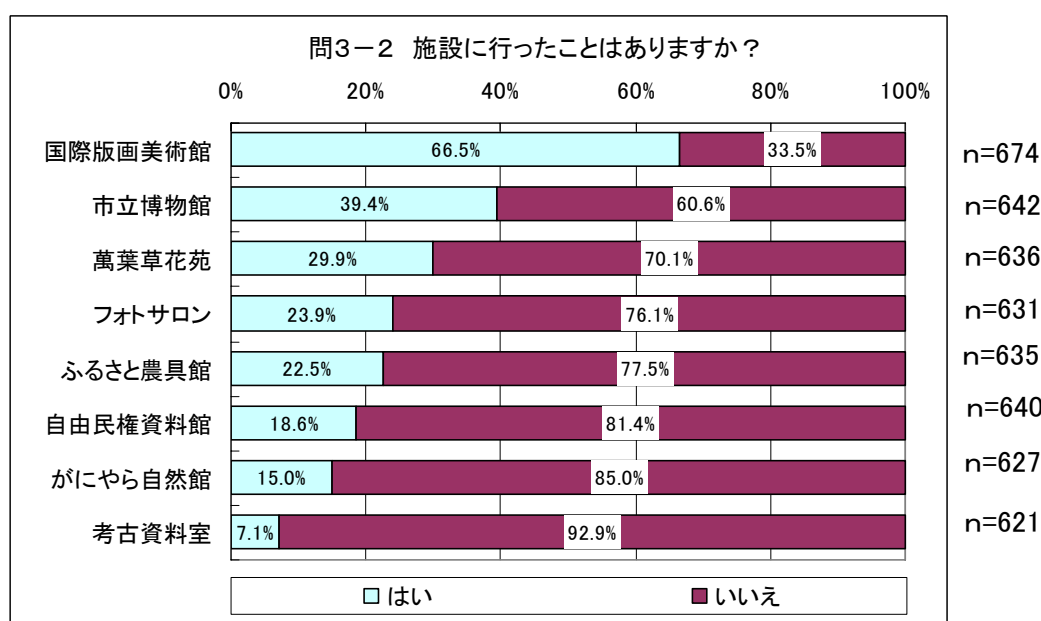


図 1 5 町田市内にある博物館や類似の展示施設への来訪度

これまでに博物館等に行ったことがある人にも行ったことがない人にも、今後行ってみたいかをたずねたところ、国際版画美術館は約 8 割の人が今後行ってみたいとしています。一方で、ふるさと農具館は、今後行ってみたい人は 4 割を切っています。

萬葉草花苑は知名度が 35%と低いものの、今後行ってみたい人が約 6 割います。

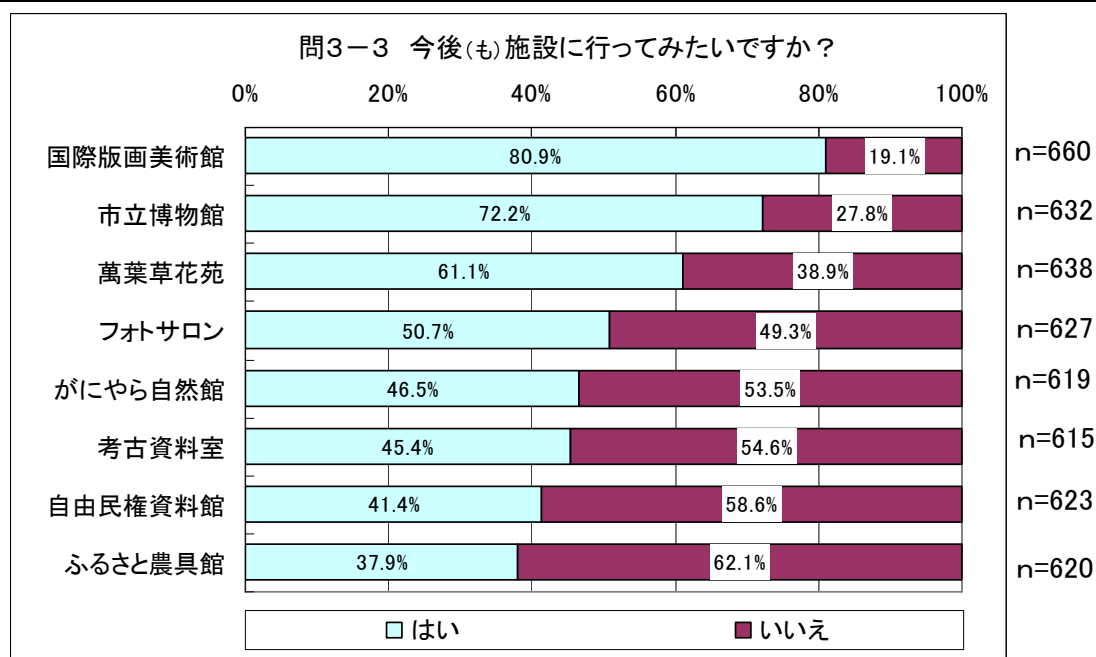


図 1 6 町田市内にある博物館や類いの展示施設への今後の期待度

約 7 割の人は、町田市に縁(ゆかり)のある展示品を展示していると感じており、特に多くなっています。「洗練された」というイメージは少なくなっています。

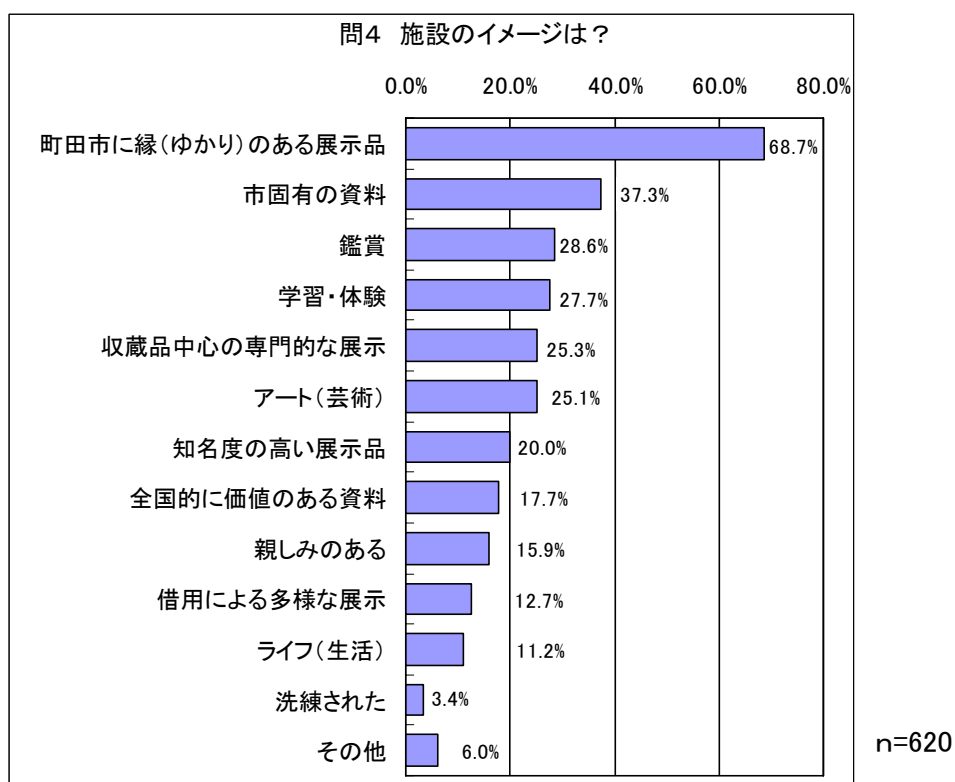


図 1 7 町田市内にある博物館や類いの展示施設の現状のイメージ

年代別に博物館等施設のイメージをみると、70歳代以上では、「全国的に価値のある資料」や「知名度の高い展示物」、「借用による多様な展示」という項目が他の年代よりも高くなっています。

一方、30歳代では、70歳代以上が高い項目は概して低く、「市固有の資料」、「学習・体験」の項目が高くなっています。

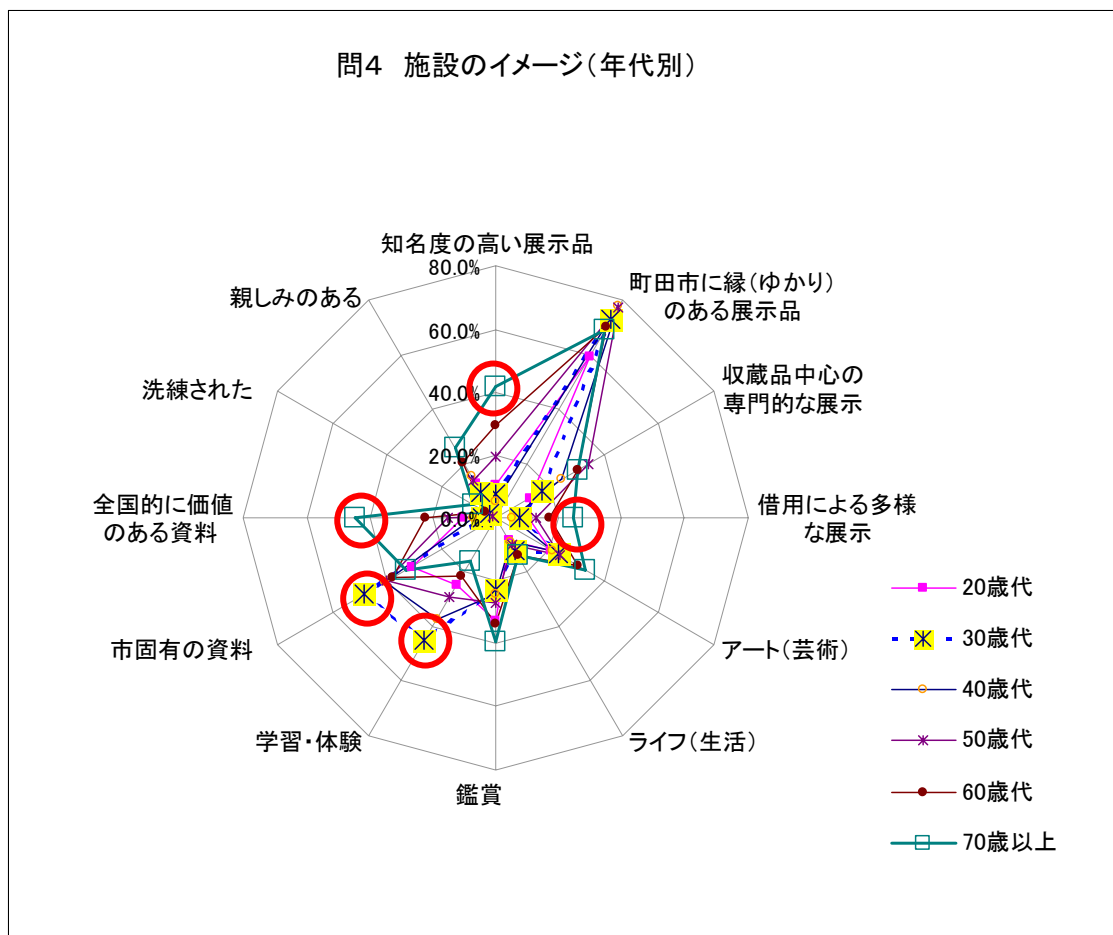


図18 町田市内にある博物館や類似の展示施設の現状のイメージ(年代別)

(3) 今後の博物館のあり方について

博物館施設で見学する以外の利用方法として、「書籍・文献の閲覧」、「講座や体験学習会への参加」、「講演会やフォーラムへの参加」に利用したいと思っている割合が4割を超え相対的に割合が高くなっています。

一方、「資料の収集活動に参加する」、「博物館活動の補助、支援（博物館ボランティアなどの活動）」、「学芸員を直接訪問し質問したりする」は2割を切り、相対的に低い割合となっています。

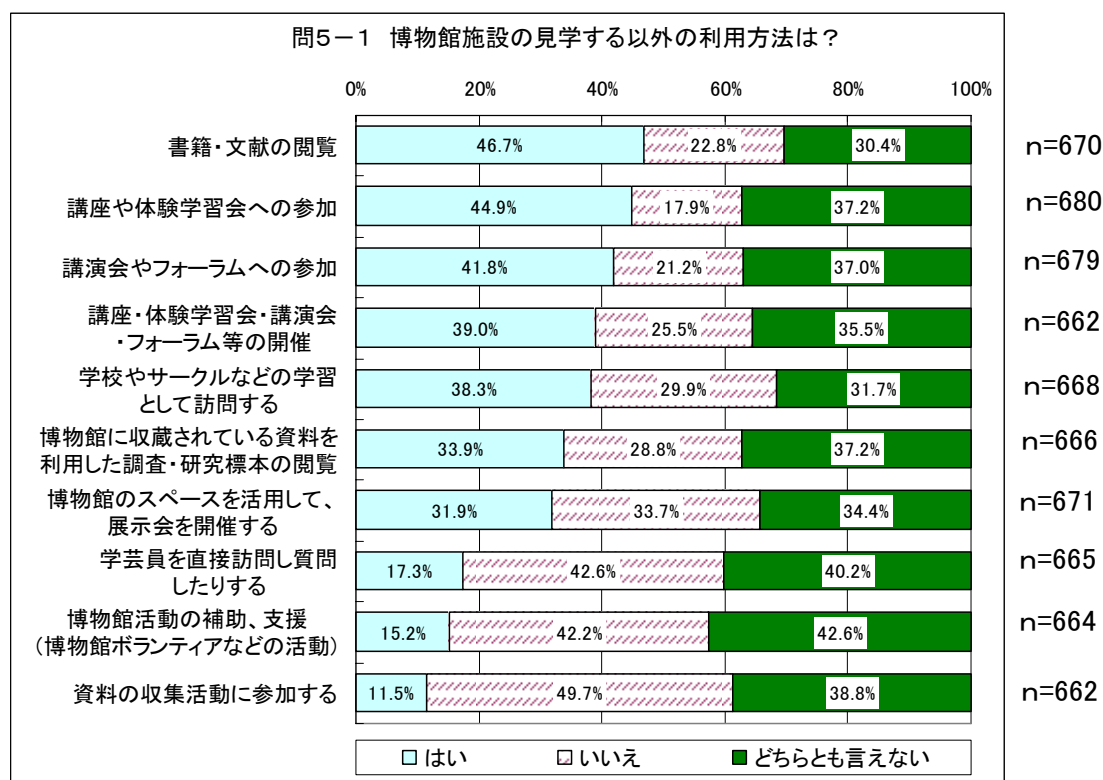


図19 今後、見学する以外の博物館の利用方法

施設を利用したいと思っている人（それぞれに「はい」と回答した人）の項目を年代別の割合でみると、他年代と比較し次のような特徴があります。

- 20 歳代では、「学芸員を直接訪問し質問したりする」が低い
- 30 歳代では、他の年代と比較して相対的に低くなっているが、「講座や体験学習会への参加」や「学校やサークルなどの学習として訪問する」は高い
- 「講座や体験学習会への参加」や「学校やサークルなどの学習として訪問する」は 40 歳代、50 歳代でも高い
- 70 歳以上では、「資料の収集活動に参加する」、「博物館活動の補助、支援（博物館ボランティアなどの活動）」、「学校やサークルなどの学習として訪問する」が低い

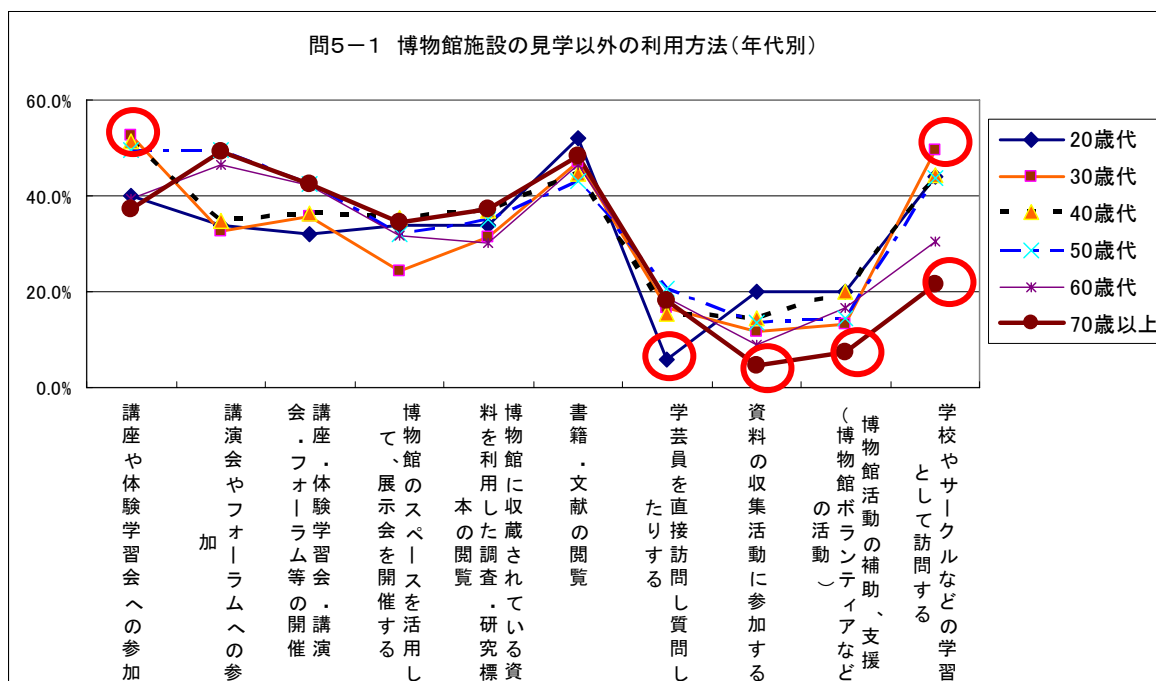


図20 今後、見学する以外の博物館の利用方法（年代別）

今後、博物館として必要な機能をたずねると、前問の問5-1と同様に「書籍・文献の閲覧」の項目の「はい」の割合が高くなっている一方で、問5-1の利用したいで低かった「博物館に収蔵されている資料を利用した調査・研究標本の閲覧」が、博物館として必要では6割と高くなっています。

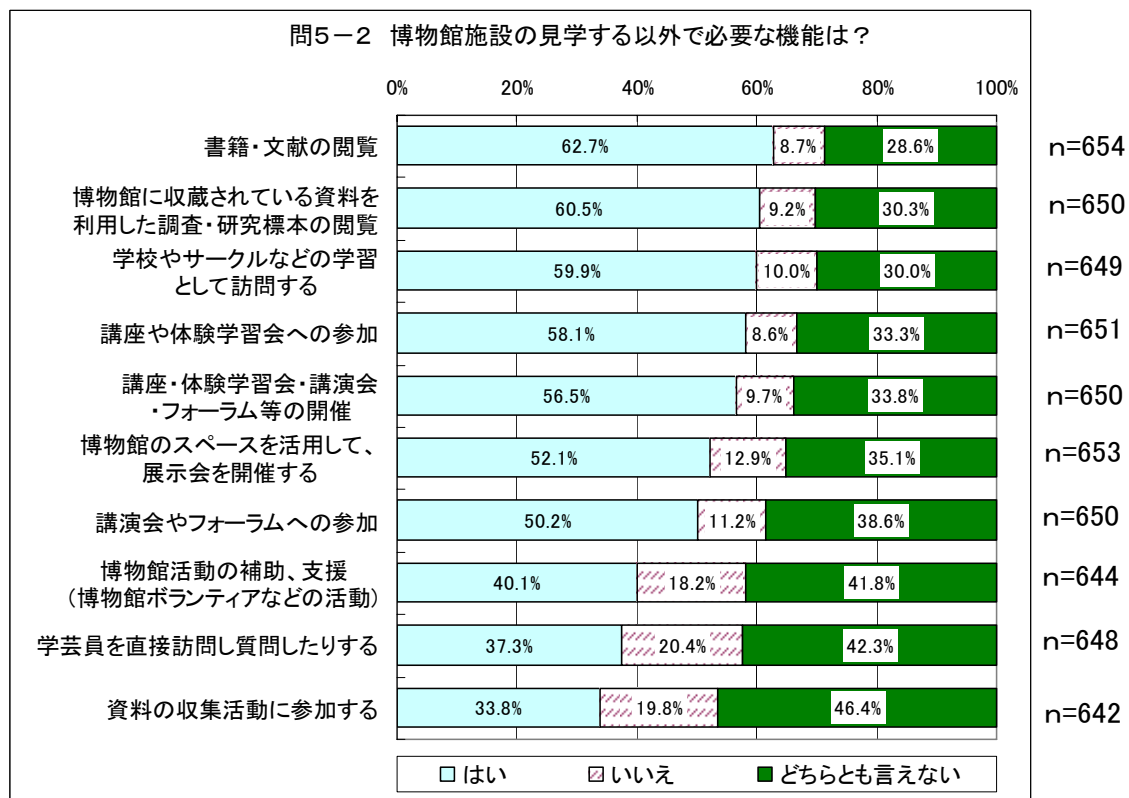


図21 今後、見学する以外で博物館として必要な機能

将来的に博物館がどこに建設されると良いかをたずねたところ、大きな公園の中やそれに隣接する場所が37.4%と最も多くなっています。次いで駅周辺の交通の便が良いところが26.8%となっています。

問6 将来、博物館はどこに建設したらよいか？

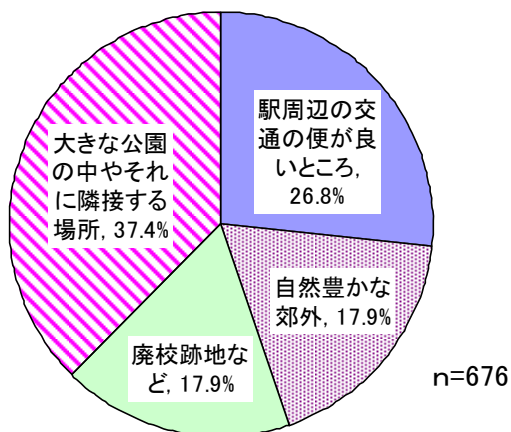


図22 将来的に博物館が建設されるとよい場所

将来、博物館をどこに整備すれば良いかの意向と、文化活動への参加意向の関係をみると、「廃校跡地など」とする人は、相対的に活動への参加意向が低くなっています（64.2%）。一方で、「自然豊かな郊外」とする人の参加意向の割合は、高くなっています（74.6%）。

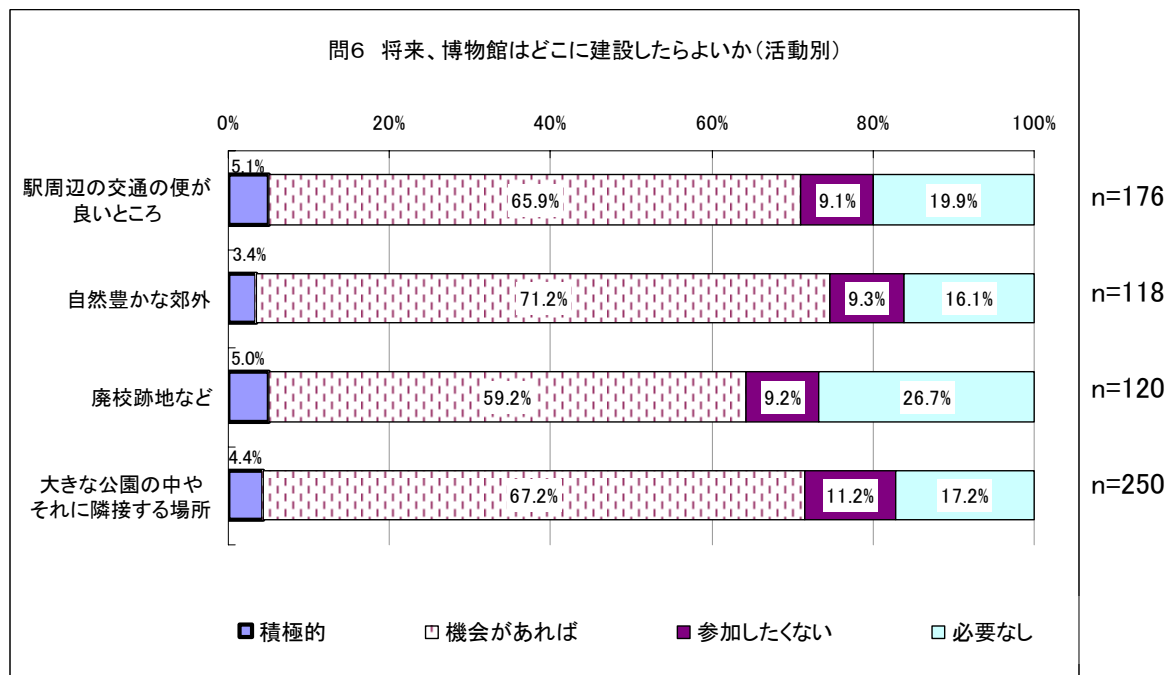


図23 将来的に博物館が建設されるとよい場所（活動への参加意向別）

町田市の博物館の設備などへの希望として、「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」が、約45%で最も割合が高くなっています。次いで「子どもが楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設」、「障がい者や高齢者に配慮したバリアフリーな施設」が、35%強となっています。

「博物館はいらない」とする人は、全体の10%未満です。

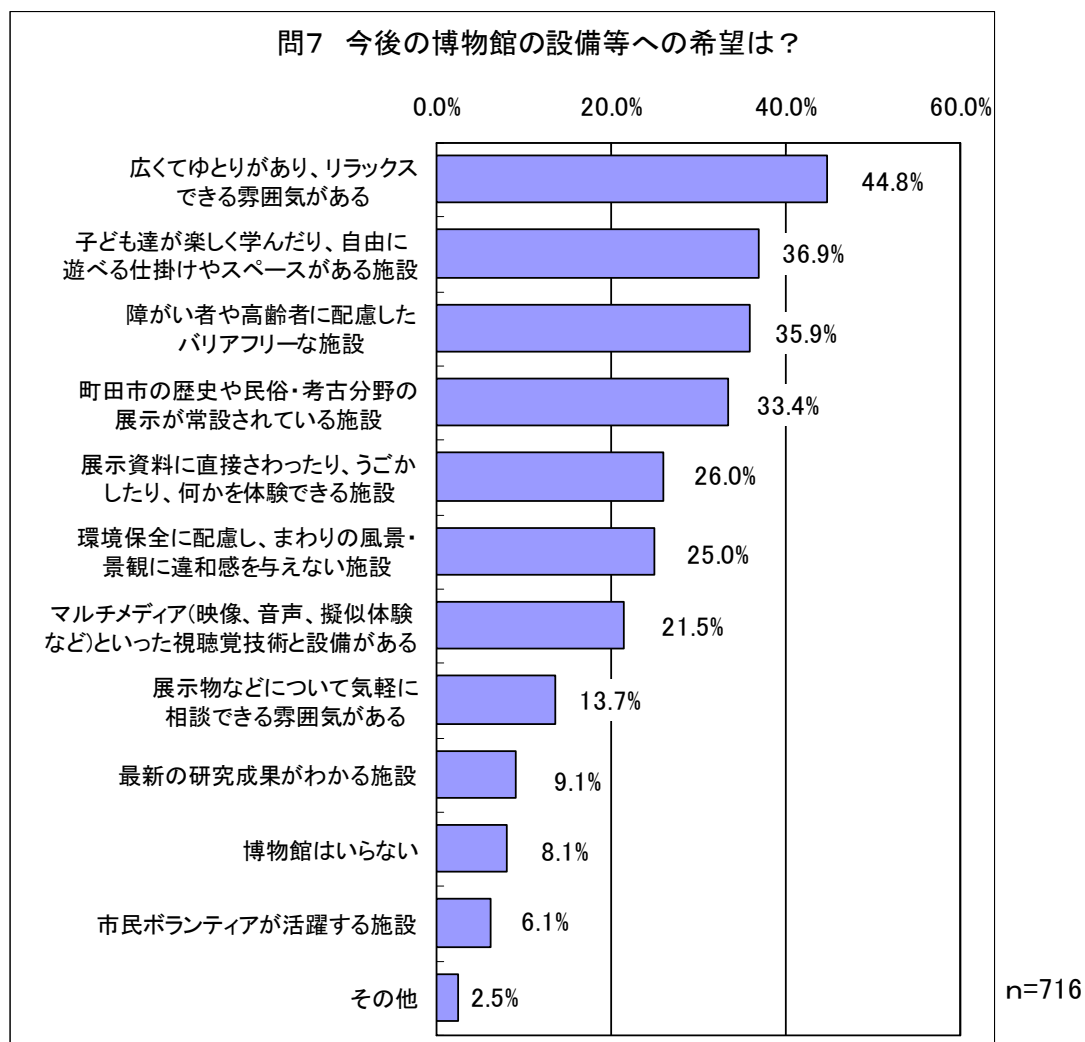


図24 町田市の博物館の設備等への希望

博物館の設備などへの希望について性別に特徴をみると、総じて女性の方が博物館の設備などへの希望が多くなっています。特に「障がい者や高齢者に配慮したバリアフリーな施設」、「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」、「子ども達が楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設」、「展示資料に直接さわったり、うごかしたり、何かを体験できる施設」は顕著な差があります。

一方で、男性の希望が多い項目として、「町田市の歴史や民俗・考古分野の展示が常設されている施設」があります。

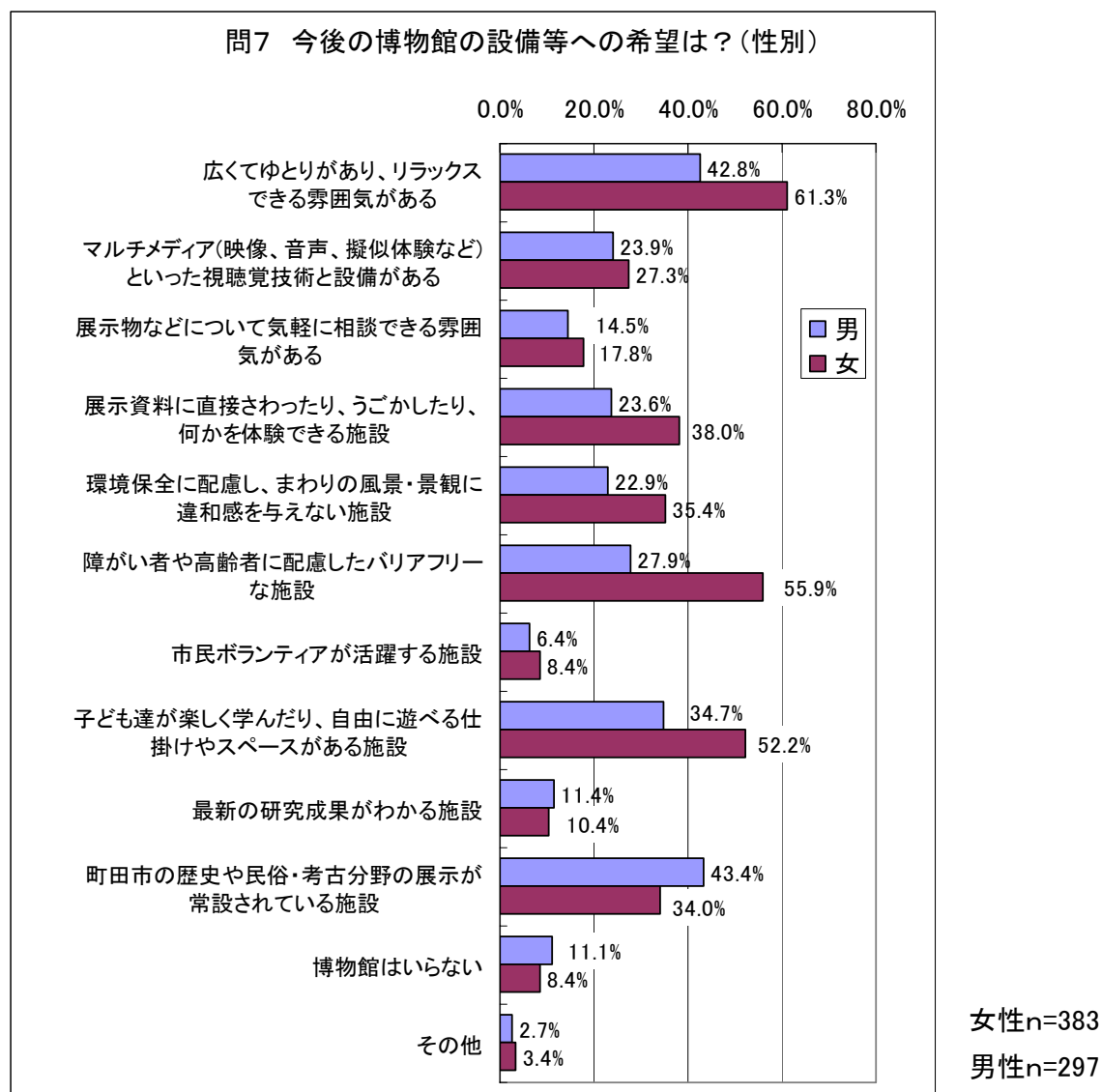


図25 町田市の博物館の設備等への希望（性別）

これを年代別にみると、次のような傾向があります。

- 70 歳以上、20 歳代で「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」が多い
- 20～30 歳代で「展示資料に直接さわったり、うごかしたり、何かを体験できる施設」が多い
- 30 歳代で「子ども達が楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設」が特に多い
- 50 歳代、70 歳以上で「町田市の歴史や民俗・考古分野の展示が常設されている施設」の意見が多い

なお、サンプル数が少ないことから 10 歳代は比較の対象から除きます。

表 町田市の博物館の設備等への希望（年代別）

	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
“広くてゆとりがあり、リラックスできる 雰囲気がある”	44.4%	54.0%	38.8%	37.7%	41.2%	49.0%	58.3%
マルチメディア(映像、音声、擬似体験 など)といった視聴覚技術と設備がある	22.2%	30.0%	19.0%	26.3%	26.9%	16.6%	20.5%
展示物などについて気軽に相談できる 雰囲気がある	11.1%	10.0%	6.6%	8.8%	12.6%	19.1%	22.8%
展示資料に直接さわったり、うごかした り、何かを体験できる施設	55.6%	42.0%	42.1%	34.2%	23.5%	17.8%	11.0%
環境保全に配慮し、まわりの風景・景 観に違和感を与えない施設	33.3%	14.0%	14.9%	29.8%	30.3%	33.1%	22.0%
障がい者や高齢者に配慮したバリアフ リーな施設	0.0%	34.0%	35.5%	36.8%	35.3%	39.5%	39.4%
市民ボランティアが活躍する施設	0.0%	4.0%	1.7%	5.3%	10.9%	8.3%	6.3%
子ども達が楽しく学んだり、自由に遊べ る仕掛けやスペースがある施設	11.1%	50.0%	62.8%	45.6%	31.1%	26.1%	24.4%
最新の研究成果がわかる施設	22.2%	8.0%	9.1%	9.6%	7.6%	7.6%	12.6%
町田市の歴史や民俗・考古分野の展 示が常設されている施設	33.3%	22.0%	27.3%	30.7%	41.2%	30.6%	47.2%
博物館はいらない	11.1%	4.0%	9.1%	6.1%	8.4%	11.5%	7.1%
その他	11.1%	2.0%	2.5%	2.6%	2.5%	2.5%	2.4%
n	9	50	121	114	119	157	127

(4) 自由回答の整理

将来、町田市にどのような博物館が、あったらいいと思いますか。ご意見を聞かせてください。（自由記入）

自由回答に記載された内容について、次のことに着目し整理を行います。

- 1) 今後の博物館のあり方についての設問以外の新たな視点
- 2) 自由回答に記載された主な意見の類型

1) 今後の博物館のあり方についての設問以外の新たな視点

①町田市立博物館の現状に関すること

- 「駿府博物館所蔵、日本画名品展」の様な企画展が大変すばらしく拝見しました。近隣の市・町村の好意で出来たこのような企画が多くあればと思います。（女性、70歳以上）

②町田市内にある博物館や類似の展示施設に関すること

- ボランティアガイドが、いつも居て説明してくれるのも良いと思う。（女性、70歳以上）
- 科学博物館的な体験や実験を解説してくれる学芸員やボランティアがいると楽しいかと思います。（女性、30歳代）
- 名古屋単身赴任中に名古屋博物館と都市センターへ何度か行きました。「名古屋学」といわれる程地元研究が熱心で、「名古屋検定（400年歴史検定）」の勉強に非常に役立ちました。（男性、50歳代）
- 大倉集古館など数は少なくても著名な画家の絵画がゆったりと見られ、クイズ形式の展示品についての問題で、さらに内容についても印象深く心に残った企画でした。（女性、40歳代）
- 携帯電話でその時その時の企画お知らせメールなどがあったら便利で興味をもちそうです。（男性、20歳代）

③今後の博物館のあり方

- 町田市民が作品を創り（プロ、アマ、問わず、作品の種類も問わず）「～賞」をつくり受賞した方の作品をいろいろ見られる様な所があったらおもしろくていいと思います。（女性、30歳代）
- 別のフロアには、音楽や映像に関するショップや、ジャズバー、ダンスホール、楽器屋を入れる。（女性、30歳代）
- 他府県でうらやましいのは金沢市の美術館。公園の中にあり館内の一部を通過でき、展示品の一部が見られるので。（女性、50歳代）

2) 自由回答に記載された主な意見の類型

自由回答をみると、博物館の整備に関しては多くの意見が寄せられていますが、財政状況などを考慮するなど施設整備への慎重派と整備への期待派双方の意見がみられます。期待派の中でご意見が多いのは、交通の便の良いところ、家族などでゆったりできるところ、子どもが楽しめるところといった意見が多くなっています。展示物については、町田の歴史・自然に関することを期待する方が多いようです。

① 博物館の整備について（計131）

【博物館の配置】

- 博物館の必要性に疑問、市域を超え広域で
- 博物館を集約する
- 博物館は現状でよい
- その他
- 〔 散在している施設の連携強化、市庁舎の一角に 〕

【併設施設など】

◎ 自由に過ごせるスペース・ゆったりできるスペース

- プラネタリウム
- その他
- 〔 カフェテリア、喫茶、レストラン、図書館、資料閲覧室、散策コース、
民間商業施設、文化施設、植物園 〕

【整備の条件・イメージ】

- 交通の便がよいところ、駐車場・駐輪場の整備
- その他
- 〔 大きな公園や自然の中、科学博物館、六本木の森美術館のような博
物館、水族館、おもちゃ館、スポーツ博物館、宇宙博物館 〕

② 展示物に関するご意見（計89）

◎町田に関する展示品

- ・ 郷土の歴史、風土、民俗、産業等の変遷
- ・ 町田の自然、環境
- ・ その他町田に関する展示品
- 歴史に関わった資料や文献（世界、中国、町田市周辺など）
- 自然科学に関すること
- その他
- 〔 梶山李之の作品、彫刻、名画・名品、恐竜や虫、海洋生物系、防災、電
車など乗り物、ビジネス系、マンガ、童話、おもちゃ など 〕

③ 博物館の対象者（計74）

◎ 子どもが分かりやすい・興味をもてる・楽しめる

- 子どもから高齢者（大人）まで
- 子どもを連れた人・親子・家族
- その他

（ 失業者、若者、小学生、中学生、高校生、高齢者 ）

④ 博物館として取り組むこと（計81）

◎ 体験型（星空の観察、染色、養蚕、版画製作など）

- 皆で考えるイベント・企画展
- もっとPR・告知
- その他

（ 自由にさわれる展示、目玉となるものを作る、歴史と美術を関連付けた展示、講座や講演会、宿題や自由研究、学習ができる、フィルムコンサート（映画会）や音楽会、授乳室、キッズルーム、施設等が展示出来るスペースを積極的に貸し出し、大学との連携、ボランティア活動、ボランティア指導員、小舞台郷土芸能パフォーマンス、海外の名品と専門員の説明 ）

なお、カッコ内の数値は、自由回答記入者295名中に、各項目に関するご意見をいただいた人数です。なお、1つのアンケート票の記載には、複数の項目を含むことがあり、合計数は回答者数と一致しません。また、これらは統計的な数値ではありません。

特に類似のご意見が多かった項目について「◎」で示しています。ただし、記載の文章の表現はさまざまであり、数値はおおよその目安となります。

アンケート結果

「町田市立博物館」（本町田遺跡公園隣接）について

問 1 あなたは、「町田市立博物館」を知っていますか？（○はひとつ）

行ったことがある	286	39.9%
知っているが、行ったことがない	215	30.0%
知らない	210	29.3%
無回答	5	0.7%
合計	716	100.0%

n = 716

→ 問 1-1 「1. 行ったことがある」と答えた方にうかがいます。いつごろですか？（○はひとつ）

ここ1年間に2回以上	38	13.3%
ここ1年間に1回だけ	56	19.6%
ここ5年間以内	71	24.8%
5年間以上前	119	41.6%
無回答	2	0.7%
合計	286	100.0%

n = 286

→ 問 1-2 ここ1年以内に行ったことがある方にうかがいます。行った理由を教えてください？（○はひとつ）。「その他」の場合には、その理由を（ ）に記入ください。

美術や歴史などが好きだから	34	36.2
興味のある企画展や関連する講演などがあったから	31	33.0
近くに別の用事で行ったので立ち寄った	13	13.8
その他	14	14.9
無回答	2	2.1

n = 94

→ 問 1-3 ここ1年以内に行ったことがある方にうかがいます。次の項目について、あなたの評価を聞かせてください。（各項目で○はひとつずつ）

	大不満	不満	満足	大満足	わからない	n
交通の便	11(9.8%)	55(49.1%)	35(31.3%)	3(2.7%)	8(7.1%)	112
駐車場・駐輪場	5(4.6%)	46(42.2%)	36(33.0%)	1(0.9%)	21(19.3%)	109
展示室の広さ	2(1.8%)	28(25.0%)	72(64.3%)	5(4.5%)	5(4.5%)	112
展示室の雰囲気	1(0.9%)	19(16.8%)	86(76.1%)	5(4.4%)	2(1.8%)	113
展示室の明るさ	3(2.7%)	22(19.6%)	79(70.5%)	4(3.6%)	4(3.6%)	112
館内・設備の状況	1(0.9%)	33(30.0%)	65(59.1%)	2(1.8%)	9(8.2%)	110
展示物の内容	2(1.8%)	24(21.4%)	73(65.2%)	8(7.1%)	5(4.5%)	112
展示物の説明の工夫	2(1.8%)	27(24.3%)	68(61.3%)	6(5.4%)	8(7.2%)	111
職員の対応	0(0.0%)	7(6.2%)	81(71.7%)	9(8.0%)	16(14.2%)	113

（次ページへ）

(※前ページの問 1 より)

→ 問 1－4 「2. 知っているが、行ったことがない」と答えた方にうかがいます。これまで行かなかった理由を教えてください。(○はいくつでも)
「その他」の場合には、その理由を()に記入ください。

興味があるが、きっかけがなかったから	108	50.2%
交通が不便、自宅から遠いから	79	36.7%
展示しているものに興味がわからないから	26	12.1%
美術や歴史などに興味がないから	21	9.8%
その他	38	17.7%
合計	215	99.1%

n=215

問 2 あなたは、「町田市立博物館」の展示物として、どのような分野がより重要性が高いと思いますか？それぞれの分野を5点満点で評価してください。(各項目で○はひとつずつ)

展示物の分野 (展示物の内容)	重要性				
	(低い) 1	2	(普通) 3	4	(高い) 5
①「美術」分野 (芸術的な感性を養う、多様な分野の美術資料を収集・公開・展覧会開催)	n = 635				
	34 (5.4%)	58 (9.1%)	256 (40.3%)	181 (28.5%)	106 (16.7%)
②「自然科学」分野 (地域の生態を知り、科学的視野を育てる資料収集・公開・展示会開催)	n = 635				
	20 (3.1%)	48 (7.6%)	231 (36.4%)	210 (33.1%)	126 (19.8%)
③「考古」分野 (郷土の理解や愛情を育てる、土器や石器など考古資料の収集・公開・展示会開催)	n = 637				
	18 (2.8%)	34 (5.3%)	237 (37.2%)	204 (32.0%)	144 (22.6%)
④「歴史」分野 (郷土の理解や愛情を育てる、古文書など歴史資料の収集・公開・展示会開催)	n = 635				
	11 (1.7%)	31 (4.9%)	186 (29.3%)	224 (35.3%)	183 (28.8%)
⑤「民俗」分野 (郷土の理解や愛情を育てる、民具などの収集・公開・展示会開催)	n = 636				
	20 (3.1%)	55 (8.6%)	240 (37.7%)	194 (30.5%)	127 (20.0%)

町田市内にある博物館や類似の展示施設について

（町田市には、本町田にある市立博物館以外に、自然科学分野、郷土の歴史などに関する資料を展示する施設が複数あります。）

問3 あなたは、町田市内のこれらの施設をどれだけ知っていますか。また、ここ1年間に行ったことはありますか？ 行ってみたいと思いますか？（各項目で○はひとつずつ）

	問3-1 知っている		問3-2 行ったことがある		問3-3 今後（も）行ってみたい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①市立博物館	458(68.9%)	207(31.1%)	253(39.4%)	389(60.6%)	456(72.2%)	176(27.8%)
②国際版画美術館	612(89.9%)	69(10.1%)	448(66.5%)	226(33.5%)	534(80.9%)	126(19.1%)
③考古資料室	113(17.1%)	548(82.9%)	44(7.1%)	577(92.9%)	279(45.4%)	336(54.6%)
④自由民権資料館	384(57.1%)	289(43.9%)	119(18.6%)	521(81.4%)	258(41.4%)	365(58.6%)
⑤ふるさと農具館	238(35.8%)	427(64.2%)	143(22.5%)	492(77.5%)	235(37.9%)	385(62.1%)
⑥がにやら自然館	136(20.4%)	530(79.6%)	94(15.0%)	533(85.0%)	288(46.5%)	331(53.5%)
⑦フォトサロン	271(40.3%)	401(59.7%)	151(23.9%)	480(76.1%)	318(50.7%)	309(49.3%)
⑧萬葉草花苑	233(34.6%)	440(65.4%)	190(29.9%)	446(70.1%)	390(61.1%)	248(38.9%)

n = 681 ~ 661

n = 674 ~ 621

n = 660 ~ 615

問4 あなたは、町田市の博物館や類似の展示施設に対して、現在、どのようなイメージをもっていますか？次に示すキーワードで、あなたの考えに近いものを選んでください。（○はいくつでも）

町田市に縁（ゆかり）のある展示品	492	68.7%
市固有の資料	267	37.3%
鑑賞	205	28.6%
学習・体験	198	27.7%
収蔵品中心の専門的な展示	181	25.3%
アート（芸術）	180	25.1%
知名度の高い展示品	143	20.0%
全国的に価値のある資料	127	17.7%
親しみのある	114	15.9%
借用による多様な展示	91	12.7%
ライフ（生活）	80	11.2%
洗練された	24	3.4%
その他	43	6.0%

n = 716

今後の博物館のあり方について

問5 あなたは、見学する以外にどのように博物館を利用したいと思いますか。また、今後の博物館のあり方として、どのようなことが必要であると思いますか。（各項目で○はひとつずつ）

	問5-1 利用したいと思う			問5-2 博物館として必要		
	はい	いいえ	どちらとも言えない	はい	いいえ	どちらとも言えない
①講座や体験学習会への参加	305 (44.9%)	122 (17.9%)	253 (37.2%)	378 (58.1%)	56 (8.6%)	217 (33.3%)
②講演会やフォーラムへの参加	284 (41.8%)	144 (21.2%)	251 (37.0%)	326 (50.2%)	73 (11.2%)	251 (38.6%)
③講座・体験学習会・講演会・フォーラム等の開催	258 (39.0%)	169 (25.5%)	235 (35.5%)	367 (56.5%)	63 (9.7%)	220 (33.8%)
④博物館のスペースを活用して、展示会を開催する	214 (31.9%)	226 (33.7%)	231 (34.4%)	340 (52.1%)	84 (12.9%)	229 (35.1%)
⑤博物館に収蔵されている資料を利用した調査・研究標本の閲覧	226 (33.9%)	192 (28.8%)	248 (37.2%)	393 (60.5%)	60 (9.2%)	197 (30.3%)
⑥書籍・文献の閲覧	313 (46.7%)	153 (22.8%)	204 (30.4%)	410 (62.7%)	57 (8.7%)	187 (28.6%)
⑦学芸員を直接訪問し質問したりする	115 (17.3%)	283 (42.6%)	267 (40.2%)	242 (37.3%)	132 (20.4%)	274 (42.3%)
⑧資料の収集活動に参加する	76 (11.5%)	329 (49.7%)	257 (38.8%)	217 (33.8%)	127 (19.8%)	298 (46.4%)
⑨博物館活動の補助、支援(博物館ボランティアなどの活動)	101 (15.2%)	280 (42.2%)	283 (42.6%)	258 (40.1%)	117 (18.2%)	269 (41.8%)
⑩学校やサークルなどの学習として訪問する	256 (38.3%)	200 (29.9%)	212 (31.7%)	389 (59.9%)	65 (10.0%)	195 (30.0%)

n=680~662

n=654~642

問6 将来的に博物館が建設されるとしたらどのような場所がよいですか。（○はひとつ）

駅周辺の交通の便が良いところ	181	26.8%
自然豊かな郊外	121	17.9%
廃校跡地など	121	17.9%
大きな公園の中やそれに隣接する場所	253	37.4%

n=676

問7 あなたは、町田市の博物館の設備などについて、どのようなことを希望しますか。

(重要であると思うものに、○は3つまで)

広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある	321	44.8%
子ども達が楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設	264	36.9%
障がい者や高齢者に配慮したバリアフリーな施設	257	35.9%
町田市の歴史や民俗・考古分野の展示が常設されている施設	239	33.4%
展示資料に直接さわったり、うごかしたり、何かを体験できる施設	186	26.0%
環境保全に配慮し、まわりの風景・景観に違和感を与えない施設	179	25.0%
マルチメディア(映像、音声、擬似体験など)といった視聴覚技術と設備がある	154	21.5%
展示物などについて気軽に相談できる雰囲気がある	98	13.7%
最新の研究成果がわかる施設	65	9.1%
博物館はいらない	58	8.1%
市民ボランティアが活躍する施設	44	6.1%
その他	18	2.5%

n=716

自由回答

自由回答（回答者の記載原文）

n = 295

・情報小説のパイオニア、梶山季之の作品や資料などを展示してほしい。麻雀に関する資料を展示し、実際にプレーできる施設も併設する。失業者や起業したい人への資料を提供して、地に足のついた博物館(全国どこにもない)。	男	70代以上
海外の名品にもふれ、専門員の気軽な説明を受けて、町田市民として豊かな感性と人間性を育むことができる博物館を期待します。	男	60歳代
1. ○○博物館、○○美術館等は分散させずに一ヶ所に集中する。2. 世界一流、日本一流をめざし、金と人を集中する(ミレー展示で有名な山梨美術館のようなものをイメージ)。3. 交通は便利な所に設置する。	男	60歳代
失われつつある町田(特に自然関係のもの)に関する展示があり、それについて皆で考えられるようなイベント等が多く行われることを希望します。個人的には動物と人間の共存について深く考えたいと思います。	女	40歳代
さして必要ないんじゃないか。	男	50歳代
考古資料とか興味あります。プラネタリウムとか隣接しているとうれしい。	女	30歳代
問7の8のように、子供に分かりやすく自然にいろいろな分野に興味を持てるように導いてくれる施設、設備があればと思います。子供1人でも楽しく学べれば子供1人1人の個性も伸ばすことができ、将来のためにもなと思います。	女	60歳代
小さい子からお年寄りまでが自由にすごせるスペースがあり、その中に展示されているような博物館。展示がメインではなく、スペースを提供するような場所。	女	30歳代
子ども達が楽しく学べる(体験できる)。市外にも周知される様なアピール性。農業体験が出来る様な施設(親子で)。	男	30歳代
世界の歴史的人物の個展があったら良いと思います。	女	20歳代
小さな子供から大人まで幅広く楽しめる事。	女	30歳代
見学したい企画が現在では少なすぎる。市民の要望を反映した企画を積極的に推進してほしい。	男	60歳代
町田市にこんなにたくさんの施設があるとは知りませんでした。もうすこしアピールをして皆んなが気軽に足を運べるようすべきだと思います	女	50歳代
町田市として博物館を新設した場合、町田市への財政上どうなのか？建物建設費用、建設後の維持管理費用、(建設費○○億円、維持管理費用○○百万円等)、今後、介護費用の増大等、支出費用の増加を考えると、総合的に見て、今博物館等、借金を増加させてまでもしなくてもよいと思います。現、経済状況、町田市新庁舎建物計画もあり…また博物館の建設はがまんすべき時期だと思います。	男	60歳代
小さい子供を連れた人でも、気軽に楽しめる場所であるといいなと思います・子供にとって、遠い存在のような、気がします。家族でもなかなか足を運べないので理解できる年令で学校で団体で行ってもらえたら、いいなと思います。	女	40歳代
私の子供が小さかった時、時々足を運びました なつかしい所です。今は老いた女を看る毎日ですが、町田市で身近かな所であれば、いつか時間が自分の物になった時、訪れたいです。楽しみにしていますどうぞ、皆様がご利用できる。(子供→高齢の方まで)設備の建物を希望致します。	女	50歳代
郷土の歴史、風土、民俗を知ること郷土を愛する気持ちが育つと思います。又郷土のみならず気軽に知的なものに出会える場所として市民の声をよく聞いて頂きながら存続して欲しい。	女	70代以上
町田の良さ(緑、ゆったりとした環境)を生かす。じっくり見られる、半日居れるような空間を作してほしい。	男	50歳代
大人から、子供まで、幅広い年齢の方が、興味を、もてる様な、展示をしてほしいです。	女	30歳代
彫刻(ロダン、ベルニーニ、ミケランジェロetc)があったらうれしい。プラネタリウムがデパートからなくなってしまったので、天体、プラネタリウムもあるとうれしい。町田市民が作品を創り(プロ、アマ、問わず、作品の種類も問わず)「～賞」をつくり受賞した方の作品をいろいろ見られる様な所があったらおもしろくていいなあ…と思います。(絵画部門があったり、彫刻部門があったり、アクセサリー、染物があったりとか…)	女	30歳代
人口規模を考えると…総合的な文化施設がもっと整備されるべきと感じます。現在の博物館の単独での、移設等でなく散在している公的施設との連携・コラボレーションへの発展性のある展開を希望します。(この意識調査のように識意的な内容では多面的な意見の集約は→→)	男	50歳代
今の場所は車でないと坂がきつく私等年配者は行きたくても行けません。交通の便はいいですがそこが遠く思います。	女	70代以上
自然科学	男	30歳代
歴史館. 未来(町田市の将来構想が判る)館	男	40歳代
町田の産業・工業の変遷について	女	40歳代
・いろんな世代に学ぶ、興味やきっかけをあたえる博物館。	女	20歳代
鶴川駅前に市の施設ができるようだが、箱物づくりは止めた方がいい(税金の無駄使い)。中に入っても見るだけのものはすぐ飽きられる。民間施設を見ならって、体験型の施設をつくる必要あり。	男	50歳代
あまり、町田市の歴史・民俗にこだわると集客できないと思う。例えば、町田出身の美術大学を出たアー	女	30歳代

ティスト(絵画、音楽、映像)や学校とタイアップして出展。参加型の作品もあるとベター。但し。素人のような展示とならないようにすべき。第3者からのアドバイスをもらい監修すべき。クラシック、ジャズ、映画(→大勢と一緒に、でも、出入りが自由な環境。クラシカルな木目調の設備品。)が体感できるスペース。ゆったりとしたスペース。別のフロアには、Tsutaya、HMVや、ジャズバー、ダンスホール、楽器屋を入れる。NYor和モダン調。カフェテリアも作る。		
・市民のいこいの場所の中の博物館	女	60歳代
新しい博物館は必要ない。すでにある博物館をもっと利用する事が必要。	女	60歳代
不必要！！	男	50歳代
最先端、若しくはそれ同等の日本全体が目的するようなものがあれば(内容は特に問わない)イメージなど、全体的に活性化しよう！！。例)六本木の森美術館のような博物館。	女	20歳代
町田市出身で社会に貢献した人、または有名人の生いたちなどが分かるものがあるとよい。※町田市立国際版画美術館の招待券、ありがとうございました。有効に活用させていただきます。	女	50歳代
自由に参加出来て、誰れもが喜んで、楽しんで、いこいの場になれるような、そういう場所がほしいですね。勉強にもなれるようなところ、沢山あったらいいなと思います。	女	60歳代
・中国の歴史に関わった資料や文献を展示する博物館・恐竜や虫、海洋生物系の博物館があったらいいなと思います。	男	10歳代
町田市に関する展示物などは必要だと思うが、多くの人(市外も含め)に利用してもらえるように、魅力的な施設になるような工夫があるとよい。企画展などで人(来館者)をよぶのもよいと思う。	男	30歳代
科学博物館、プラネタリウムの様な物があったら夢がある様に思う。	女	40歳代
現在のものを、充実させる必要がある。	男	50歳代
町田の歴史がわかる展示	男	50歳代
町田市スポーツ博物館	男	50歳代
子供の好きな、電車なども展示し、人が集まるような、場所にすることが大事と思う。また、雨の日など、出かけにくいときに、近場でたのしくすごせるとたすかる。そのような場であってほしい。個人的には科学館などもよいと思う。	男	30歳代
子どもの職業選択に影響を与えられるような、多角的な展示等がある博物館	男	40歳代
・ビジネス系、博物館の入門的位置付けの施設。→まず、博物館が魅力的でも、それに目を向けない人が多くいる現状で町田市の博物館に目を向けてもらうためには、博物館という施設自体に興味を向けるよう仕向けるしかない。	男	20歳代
博物館に予算を使うより、市職員の数をへらし、経費を節減すべし。	男	60歳代
国のレベルで博物館を運営するのはよいし、採算がとれるのであればよいが、採算がとれないまま市レベルで運営するのには疑問符がつく。	男	40歳代
プラネタリウム(相模原市でも持っている。)	男	40歳代
・図書館と統合すればよいと思う。・来館者とかのかねあいを考え、再建の是非から問うべきである。・博物館は市に一つでなくてよい。広範囲に(たとえば、多摩地区)に一つ、大きな物があればよい。・図書館を増やして欲しい。移動図書館では利用しづらい。	男	40歳代
交通の便が良く大きな公園の中やそれに隣接する場所にあって、子供たちが楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある博物館	男	40歳代
博物館・版画美術館・考古資料室・自由民権資料館・ふるさと農具館、フォトサロン。計6館を一緒にした大博物館。1ヶ所にまとめる事で、見学、行きやすくなる。	男	60歳代
各自自治体に同じようなものが必要なのか。周辺の自治体と話し合っ、合理的な設置・運営が望まれる。また、バラバラの地区にあるのが、余計に思う。1つの地区にまとめたらいのでは、博物館・美術館モールみたいに	男	60歳代
星空等の観察ができて、講座や講演会があれば。	男	60歳代
博物館の内容には、難かしいものがあると思います。固定的展示物と、限定とかの流動的展示物がポイントになるのではないのでしょうか？(例)科学博物館的内容により、子供も勿論大人も興味を持てるようなものが、活況を得た博物館が見られるのではないか。歴史的なものも充分必要だが、子供達に未来の夢を持たせるものも、必要ではないでしょうか。	男	60歳代
「ハコ」ものをこれ以上増設するのは賛成しかねる。市内にあるこれらの施設を1～2カ所に集約した建物に収容できる内容で充分と考える。	男	60歳代
喫茶コーナーや、資料閲覧室を備えた施設を希望する。	男	70代以上
博物館、国際版画、美術館、自由民権資料館、考古資料室等の事業内容を再検討して、博物館としての内容を充実したらよいと思う。	男	70代以上
・郷土に関係ある考古資料。・郷土に関係ある美術品、古文書。・郷土出身の著名人の作品、遺品など、歴史的、または大系的に紹介しては如何がでしょうか。東京では、足をのばせば、美術館、展覧会など、いくらでも見られるので高価なものを然々集める必要はない。	男	70代以上
入場料が、リーズナブルでゆったりとした気分で、見たりきいたりでき、余り混まない博物館でマイペースで楽しめる博物館があればと思います。館内がいつれかと云うと明るい方が好きです。視力の問題がある	男	70代以上

ので…。		
現在の程度でよいのではないか。	男	70代以上
・常設品＋展示で親める施設・現在のところは場所が悪すぎます	男	60歳代
町田市独自の企画展示を行う博物館、大都市の物真以ではなく、市内在住の子ども達が文化に触れ、教養を深めることができることを希望。	男	30歳代
近隣の方や大人から子どもまでが、何度も気軽に行ける様なスペースも備えた、中に、歴史、考古学の楽しさ、意味のあるもの。身近かなところから、歴史、考古へ導入して行くような“館”。歴史嫌いもけっこう多いのです。学校の歴史の授業の様ではダメです。めざすは、歴史嫌いな方が、大好きになる様なところを作して下さい！もちろん、専門的なスペースも。	女	40歳代
・フィルムコンサート(映画会)やオーケストラコンサート・絹の道にちなんだ織物や染色体験施設	女	60歳代
・恐竜博物館・町田の歴史博物館	女	30歳代
どんな分野のものでも良いのですが、なかなか自分では手に入れないものなど観てみたいです。その中で版画など自分で制作できそうなものは教えていただきながらみんなで参加できるようなイベントがあったらいいと思います。	女	30歳代
公園の中とか隣接している場所にあると、子供連れで行くことができるので、親しみのある博物館になると思います。普段の生活では、なかなか機会がないと行くことはないのも、もっと告知をしていただくと有難いです。	女	50歳代
とりあえず間に合っていると思います。	女	40歳代
町田市の住民構成は近年他地域から移住が多く、博物館があっても単なる知識と受け取り、博物館は税金のむだ使い。	女	70代以上
あまり「しさい」が高くなく、それでいて博物館としての重みを感じさせてくれる様なもの。例えば、有名な展示であつてもただ見物するのではなく、付随する適格な説明と興味をひく様な内容に工夫されている。また建物の外観として、周囲の風景に違和感を感じさせず、親しみのもてるもの。体験型の展示にも期待したい。	女	40歳代
以前、九州に子供達が『くつ』をぬいで入天井高のひくい博物館があると聞きました。小さい時から良い物を見、ふれると良いのではと思いました。	女	30歳代
交通の便がよく、気軽に行ける所	女	70代以上
感心がない人でも、行ってみようかなと思えるような博物館になったら素晴らしいと思います。私は興味がなかったので、町田に8つ(2つは知っていた)の施設があつた事を知りませんでした。でも、こうして、どこに何があるのか分かった今、見に行ってみたくなりました。良い機会をありがとうございます。	女	30歳代
近代設備の整ったモダンな博物館、古代から近未来まで子供から老人まで巾広い内容のある楽しめる博物館。	女	60歳代
博物館や市で收藏している、美術的な收藏品を常設して欲しい。例えば、ガラス細工の工芸品とか、時計のいろいろ、絵画他。しまつて置くだけでは、もったいない物が多々有ると思います。企画展の開催時には講演会、展示解説もしていただけてますが、引続き、お願いしたい。ボランティアガイドが、いつも居て説明してくれるのも良いと思う。横浜の開港記念会館のように…。大きな公園の近くとか、交通の便の良い所に有ると、行く回数が増す。	女	70代以上
レストランやカフェがある博物館があればランチやお茶のついでに博物館に1度は行くはず。博物館を身近に感じると、他県からのお客様が来た時、食事前や食後に立ち寄ると思う。世田谷区の砦にある世田谷美術館はレストランがあつて、とてもよい。	女	40歳代
市内の施設は博物館やホール全てにおいて中途半端な感じがする。文化都市をめざすなら、そうした施設をまず充実させることが第一だと思う。民俗館や資料館等細かい施設はかなりあるが、それをコーナーとして1つの大きな建物にまとめられないか。1ヶ所で見たいコーナーを自分で選んで回るように、海外の大きな博物館は全てそうなので便利。	女	60歳代
・問7の8項と同じですが、体験型(常時でなくても良いので)のイベントがあると良いですネ。	女	30歳代
子供科学館 プラネタリウム 水族館	女	70代以上
八施設あれば充分だと思います。	女	70代以上
現在の博物館と遺跡公園が隣接しているので遺跡公園から発掘された土器などの常設展示をしてであると子供を連れて行った時間関連して説明できるのでよいと思います。小学生の孫を(遺跡公園に連れて行った時に思いました。	女	70代以上
境川や鶴見川の生態系が見れる水族館があれば行ってみたいです。料金は小額ならば払っても良い。	女	30歳代
自然科学博物館のような親子で楽しみながら体験・学習できる所が幾つかあつてもよいのではないかなと思う。	女	30歳代
現在ので十分	女	50歳代
町田市の事。歴史。生活等が。もっと身近に体験して。子どもから大人まで学べたら良いと思う。見てまわるだけでは一度だけになってしまう。	女	40歳代
・カフェやレストランで休憩できたり授乳室やキッズルームの様な。子供が楽しめる施設が敷地内にあれば良い。・季節が楽しめるような庭園がある博物館。	女	30歳代

子供達に聞いたら、乗り物博物館(電車や自動車等)が人気でした。あとは、マンガ博物館や手に入りにくい童話等のお話し博物館だったらすごく楽しそうですね。	女	50歳代
まず、35年経ったから即建て替えの必要があるのかどうか、要再検討。他府県でうらやましいのは金沢市の美術館。公園の中にあり館内の一部を通過でき、展示品の一部が見られるので。	女	50歳代
「駿府博物館所蔵、日本画名品展」の様な企画展が大変すばらしく拝見しました。近隣の市・町村の好意で出来たこのような企画が多くあればと思います。その際の解説書等「こんなところに注目して作品をみてみよう」、これは大変良かったです。購入して帰り再度見なおしております。今の博物館の立地条件がもう一つというところですよ。バスを降りてから急な坂道は年寄りには少々きついです。	女	70代以上
日本中の各市に博物館や美術館があるようです。そんなに必要か疑問です。文化の向上は大切だと思いますが、なんでもないよりあった方が良いというものではないと思います。もっと市民の生活が豊かになる他のことに税金を使った方が良くと思います。	女	50歳代
親せきの子供が来た時や、ちょっと町田を散策したい時など(だんなや、母と)	女	40歳代
小学生と中学生の子供がおります。上野の国立科学博物館やお台場の日本科学未来館や江戸東京博物館などは何度でもくりかえして行きたい場事ですが、町田市に同様の内容を求めるのは無理(財政的にも)だと思います。中途半端な物にお金をかけるよりも、東京都内にはすばらしい施設があるので町田市立博物館にはあまり行こうと思いませんでした。伊勢原の子供科学館(?)や八王子の同様の施設には町田市内の小学生が遠足で行きますよね。博物館のめざす方向はそちらにあるのではないのでしょうか？	女	40歳代
町田市の中にこのような施設があることは初めて知りました。文化的には必要だと思いますが、建物が多すぎても運営、維持費etc支出が多くなると思います。(国の補正予算で問題になっていることと同じです)今後は、集約、統合し、必要最低限のものでいいと思います。子供達が社会科見学で参考になるようなものは必要だと思います。	女	30歳代
町田市の博物館を知りませんでした。どのように役目をもっている館であってほしいという明確なイメージがつかめません。ただ、「行きたい」と思わせる施設であってほしいと思います。そういう意味では他にも「行きたい」と思わせる施設がないです。	女	50歳代
子どもが楽しめ地域を楽しく理解できる様な博物館	女	30歳代
・昔の道具(複製でOK)を体験できる(昔といっても明治～昭和中期くらいのもの)・科学博物館的な実験ができる(お台場の科学未来館のイメージで…)←で、こういう体験や実験を解説してくれる学芸員やボランティアがいると楽しいかと思います。子どもから大人まで「わくわく」するような施設があれば良いかと。映像(プラネタリウム等)は良さそうですが費用を考えると…？ですね。	女	30歳代
子供達が興味を持ち、度々訪ずれたくなる様な。	男	70代以上
町田市全体の歴史。各、学校の周りの歴史。身近な地域の歴史や、移り変わりなど、店、商店街、住まい(家、団地)などの歴史。	女	30歳代
町田市は、近くに美大がたくさんあるにも関わらずギャラリー等、アート支援活動が少ないと思う。なので、施設等が展示出来るスペースを積極的に貸し出しを行う等すれば人の回転もいいと思う。	女	20歳代
これ以上いらない	男	30歳代
町田市には開発していない自然豊かな地域が残っていますが、いずれは開発等により失われてゆくことでしょう。これらの自然を資料として残す必要があります。そのためには、自然史(年)博物館があつたらいいと思います。	男	50歳代
博物館の特性を生かしてほしい。	男	30歳代
博物館、展示館も大切であることは認識したうえで意見を述べさせていただきます。とかく建築物(俗に言う箱物)に偏りがちな昨今ですが、むしろこれからは人間の精神的な方面(メンタルヘルス)にお金を使い力点を置くべき時代に來たと思っています。・ギスギスした社会のうっぷんは案外こういう建築物に向けられて來たと言えるでしょう。・ハッキリ言って若者の多くが展示物に興味を持って心がやすまるとは到底思えないからです(次世代に残しておくべきものは必要ですが)、(作品を見て美しいものが美しい、展示物を見て心がやすまるとは精神的にも安定していなければならないと思います)。・米百俵ではありませんが、将来若者たちが精神的に安定し、社会を考え地域を考え人が好きだ、と言える人間、自分を取り巻く環境に関心を持つような人間育成にもっとお金を使ってほしいと思います。・アイデアはいくらでもあります、本当にイッパイあります、(箱物の中にもあります)。・職員がダルそうに座って対応する展示館は必要ありません。	男	60歳代
町田市以外の人を大勢呼べるような施設。施設の運営、維持費が赤字になるようななら施設のそんぞくを考える必要があると思う。	男	30歳代
現在の博物館で充分である。市民への広報活動の活発化と展示品の充実を計ることが先決である。	男	70代以上
実生活上それ程関心はありませんが新たに建設するのであれば(1)気楽に行けること。(2)若者中心に考えること(3)建物はまわりの景観と調和していること。など	男	60歳代
博物館の展示物をもっと広く知らしめて、又、どのようなものの展示が必要かあつたらよいかの意見をもとめたらよいのではないかと、ギャマンでも非常に良いものがある。非常におもしろかった(自分の趣味にあつたからかもしれない。家族でいきました)	男	60歳代

上野にある美術館のように、名画・名品を展示する美術館があるといいと思います(小さくてもいいので)子供達が気軽に行ける博物館も、教育の為に必要だと思います。日本には、そういった施設が少ないと思うので是非町田に！！	男	40歳代
博物館は考古学、歴史的遺物、美術品など多方面に渡り、しぼり込みが困難で魅力自な施設を造るのがむずかしいと思われる。利用者側から見ると、他の施設と併設されていれば利用する機会も増えるのではないかと又美術館や・考古館、などと併設していれば学芸員の交流が出来研究等に有利であり運営上も合理的に行なえると思われる。この施設を子供達の学習の場として利用出来る移動教室として学校のカリキュラムに組入れるのも良いのではないかと。＊箱物施設を作る場合は、長いスパンを見渡して計画するべきだ。少なくとも35年ばかりで老朽化してしまうようなものは、作るべきではない100年の先を見つめておくべきである。	男	60歳代
各市で博物館を所有する意義があるかどうか疑問である。博物館の建物及び土地の管理など…継持費の見合うだけの価値があるかどうか。各市で必ず一博物館が必要だろうか。三多摩地区総合の博物館でいいのではないかと。町田市だけの博物館は本当に必要だろうか。三多摩総合の博物館を設け経費等の削減が出来るのではないかと。利便性のある場所を一ヶ所確保し、共同(三多摩)で出資すれば、やすく運営出来るのではないかと。	男	60歳代
町田市の移り変わり(年を追うごとに)がわかる様な、町田の独自製のある博物館や、資料館	男	30歳代
子どもが一日遊べる様な(科学館みたいな…)施設があると良い。	男	40歳代
緑豊かな公園の中にゆったりとしたスペースがあり展示品(物)も有名人物の作品で他の地域からも見学に来るような特殊なマルチメディアが常設されて夢を与えるような博物館があると、利用する人も増え、収益もあがるのではないのでしょうか。もっと明るい方が良いですね。(芹ヶ谷公園の中が良いのでは、有料にして)	男	60歳代
今、市の単位で博物館など、とんでもないことと思う。利益を生まない施設は、市、地域、都の単位で存続を見直すべきではないかと！原町田に市民フォーラムとすぐ近くの“109”に似たような施設があるが何故なのか？	男	60歳代
点在している各種展示館を1ヶ所にまとめられると良い博物館になり、行きやすくなります。新しく作るのなら、郊外のゆったりしたスペースに自然公園の中などが良いですね。交通は基本はバスで入口付近に駐車場があり、駐車がほしいですね。・美術品、芸術品は博物館と分けたいですね。美術、芸術は各地で活発なようで、私も見に行きますが、各地へ足をこぼすのはなかなか大変です。西洋、日本の多様な分野の美術資料を収集するのは市では大変だと思います。例えば、本物と同等の複製で良いので(それでも大変ですが)それをきちんと説明されて展示して頂けると有難いと思います。町田市出身の多くの芸術家の作品(複製)、現在活躍中の方も含めて展示されると興味深いですね。	男	70代以上
町田市に生まれ育って37年。学生の頃は足を運ぶ機会も多く学校での企画としてや個人的に多くの勉強を町田市の各施設でさせて頂きました。これからも子供達に町田市を多く知ってもらえる為の施設であってほしいと共に私たち家族が休日に楽しめるようなゆったりとした空間であることを望みます。応援しています。	男	30歳代
郷土町田のなり立ち自然等、体験、参加型のものがよい。	男	60歳代
妻は駅から歩いてゆける博物館を希望しているようですが、私はバス便の詳しい情報がすぐ手に入るようになっていれば問題ないだろうと思っています。家族連れで休憩してお弁当を広げられるような場所と、小学生の夏休みの宿題の自由研究のテーマになるような“何か”があると嬉しい方は多いのではないかと感じます。	男	50歳代
「町田市の個性」あるものが必要だと思います。その個性を如何に作るか、PRするかが重要な課題とは思いますがー。	男	70代以上
個人収集物展示(一般の募集)等のブースのある博物館	男	40歳代
名古屋単身赴任中に名古屋博物館と都市センターへ何度か行きました。「名古屋学」といわれる程地元研究が熱心で、「名古屋検定(400年歴史検定)」の勉強に非常に役立ちました。地元多度の歴史文化を通覧できる資料館が欲しいと思います。特に、1、河川、丘陵地、谷戸が住宅地へと変化する様子。(区画整理の前後など)2、都県境の入り組みの変遷…民権運動時代、なぜ都県境線は長く引かれたのか…3、街づくりに成功した自治会・町内会の活動記録など	男	50歳代
・問7ー10に関する様なものですが、町田市を囲む地域もふくめた広い範囲について	男	70代以上
活動が広く公開されているかどうか検討すべきである。利用者を多くする為にもイベントが必要である。	男	50歳代
市立の博物館が老朽化のために建てなおすというのは反対。町田市の歴史や民俗の展示する博物館も必要とは思いますが高齢化している社会、今必要なのは、福祉充実や子育て支援だと思います。	男	20歳代
今の博物館はわかりにくい場所にあり、市民でも知らない人が多いと思う。私も散歩の途中無料なので数回入館した位である。博物館としてそれなりに企画して展示されているのは良いが今は方々に類似の施設がありお客さんを沢山呼ぶには、建物、展示品に多額なお金がかかる。現在として今後ますます市の財政状況はきびしくなるのは確実なのでこの際、閉館してすっきりした方が良く考える。	男	70代以上
武蔵相模地域の郷土史、民俗史、政治活動史etcに対し、キチンとした史料、その他を保存し、私達の住んでいるところがどんな地域だったのか、今どうなのか、を総合的に郷土愛を込めて発信出来る場所が1	男	60歳代

つ丈あった方がいいと思います。現在は部分部分として、あちこちにいろんな施設があり、かなり、無駄のことがあるのではと、思いすぎとは思いますがそう考えてしまいます。		
・版画美術館、フォトサロンの様に、公園に隣接していると展示物の見学だけでなく、公園内の散策もできるので、老若男女が楽しめるのではないかと思います。・町田駅から徒歩で往復できる様な距離にあると誰もがわかり易く、行き易いのではないのでしょうか？（バス利用は行き難い。特に高令者には。）	女	50歳代
市民にとって必要なのでしょうか？今ある施設で充分ではないでしょうか	女	50歳代
大人がじっくり博物館見学できるよう、子供の遊び場などあったらいいです。子供の遊び場も、科学や歴史などをもりこんで、子供も大人も博物館を楽しめるようになると思います。（行ってみたいですが、子供が飽きて騒いだりすると周囲に迷惑がかかるので今は行けないです）	女	30歳代
・宇宙博物館 プラネタリウムや3Dシアターを牧設する。・絹の道博物館 養蚕体験が出来るような。	女	60歳代
いわゆる「こども科学館」と呼ばれるような、子供たちにもわかりやすく、親しまれるような存在であってほしい。結果として、親だけではない大人も楽しめるはず。「自然科学」をメインテーマにし、例えば太古の者の町田の気象状況を映像化してみるとか。現在の北海道ぐらいの寒さだったとか、あるいは海に近かった、などを知ると子供だけでなく、大人も実に興味をそそられます。子供にせがまれるような施設に博物館が加わる事を願います。	女	30歳代
3月まで福島県郡山市に住んでいました。そこにある美術館では「円谷プロ展」とか「ブルーナー展」という子供も興味を示すような展示がありました。万人の人が足をはこべるような作品展があるといいと思いました。	女	40歳代
東急のプラネタリウムがなくなり天文的設備のあるものがほしい。	女	40歳代
今まで通り。あまり分野にこだわらず幅広い分野での企画展を開催してほしいと思います。大倉基古展など数は少なくとも著名な画家の絵画がゆったりと見られ、クイズ形式の展示品についての問題で、さらに内容についても印象深く心に残った企画でした。家が近く、車で行き駐車場を利用させていただいていましたが、駐車場の数は少なく、徒歩だと坂なので公共機関を使ってわざわざ足を運ぶには不便な所もあったので、たくさんの方に来ていただくには交通の利便性も重要と思います。あと駅前などにもポスター（企画展など）を貼るなどもう少しアピールした方がよいと思います。	女	40歳代
親しみのある施設であってほしいと思います。	女	60歳代
子供が楽しみながら学べる様な親しみのある博物館であってほしいと思います。	女	40歳代
展示だけだとリピーターがなくなるので上記の2・4を希望しました。子供から高齢者まで広く楽しめるように工夫された博物館を希望します	女	50歳代
子供達が町田市に限らず、日本の歴史について（世界の歴史）興味が沸いてくるような博物館。自分が生まれ育つこの世界の色々な事に興味を持てるような博物館。	女	30歳代
今、ピーアル活動不足	女	60歳代
博物館に住民がかかわれる施設。・展示物と同じものを作ったり。・コンサートホールに行く通路に興味をひくような展示物があったり←・（フリーマーケットなどを行なうなどのホールでもいい）	女	50歳代
・一寸町田から出て振り返ると、全体にじみである。・何かワンポイントがないか知る。歴史や民俗学などは紙芝居的にでもしてみるとよい。それが必ずしも市の職員にと思わないでほしい。何故なら市の職員はウイトがないから面白くない。町田の少し気にかかるところを絵にして展示会をしてみるとよいのでは…	女	70代以上
昔の料理を再現したメニューがあるカフェが館内にあるなど、展示物を見る以外にも色々体験できる工夫がされた博物館があるといいと思います。	女	30歳代
江戸時代以降の庶民の暮らしを体感できる博物館。それぞれの時代の実物大の建物をつくり、調度品を置き、直接さわったり、動かしたりできる施設があれば楽しみながら学べるのではないと思う。	女	30歳代
今の様な博物館であるならいいと思う。	女	40歳代
1. バス停から近いこと。2. 喫茶、軽食施設の併設。3. 公園に隣接。	男	60歳代
・市の歴史や発展のプロセスが解かる所。近隣市町村との関連性などもプロセス、時代を追って解かる所。・どんな資料があるか容易に検索でき、必要に応じてその資料を入手できる。・利用頻度は少なくとも、これらの資料等は、行けば必ずそこに在るという所。	男	60歳代
希望としては、博物館よりも、生の絵画が鑑賞出来る、美術館が是非とも欲しい。（版画美術館ではなく）新しく作るのではなく、今ある施設を改良してよりよい施設にしていってほしい。	男	60歳代
行って観て誰もが興味を持てる様な面白いものがあれば良い。私は古いもので当時の生活がしのばれる様なものの様に現代のものと比べられるか古代人のロマンと知恵を偲ばれるものが良いと思う。	男	70代以上
自然を生かした川や野山をイメージした、屋内外両方のエリアのある博物館。	男	30歳代
現代生活に合った重要な市民一般の関心の高い防災に関する展示、体験等が出来る施設など	男	70代以上
・大人になってからなかなか博物館に行く機会がありませんでしたが2、3年前に上野の国立科学博物館に行き、とても感動しました。博物館があんなに楽しめる所だとは思いませんでした。子供だけではなく大人も楽しめる、ワクワクできる博物館を期待します。	女	40歳代
子供も大人も体験しながら楽しめる博物館。子供の好奇心を刺激し、夢を膨らませられる場所。日本でも有数な博物館といわれるような施設にしたい。	女	20歳代
子供が興味を持って歴史的なこと、地理的なことを学べるように（町田に限定しない）。美術（鎌画・彫刻）	女	70代以上

の変遷などシリーズで展示。		
(1)全国的な歴史・民俗・考古の中で、町田市がどのような位置を占めるかの位置づけが基本としてある。(2)考古資料室とできれば小島資料館、自由民権資料館との関係も体系づけて、町田市全体を把握できるような総括的な施設として博物館があって欲しい。(3)古い物から順に近代のもの現代のものまで広く「町田市の目次」のようなわかり易い体系をしめして欲しい。その上でスポットを当てた特別企画を豊富に開催してほしい。	女	40歳代
目玉になるもの1つあると良いと思う。定期的に展示物を入れ替え、リピーターを増やす。結果的に高齢者がしばしば訪れることができるような施設がよいと思う(高齢者と子供、ボランティアの交流ができるのも大事)。	女	30歳代
町田市等に古くから生息していた動植物を多く展示して欲しい。	女	30歳代
町田市の文化施設は、散らばり過ぎている。これはしかたがない事だとは思ふ。そこに住んだ人々が残した物であるからその地で保存するのは必然であろう。高齢者が多くなるこの先、交通の便の良い場所で町田の歴史・文化が一目で分かる場所が欲しい。そして各自選んでその地に出かけて行く。歴史を知った上でその場所に立つことがより分かりやすい学び方であると思う。自分に興味のある所ならなおさらである。町田市はとても不便で交通手段にも配慮が必要である。	女	60歳代
町田市には博物館をはじめ、考古資料室、自由民権資料館など、町田の歴史を知ることのできる施設がたくさんありますが、もし1ヶ所で(それぞれの施設のダイジェスト版のような形で)見られる大きな博物館があればいいと思います。	女	30歳代
町田市の開発史(写真記録、模型など)、江戸・明治・大正・昭和・平成と駅前や住宅街の写真が見たいです。原町田駅があったので、その資料や写真など。	女	40歳代
・日本・世界的に有名な芸術、仏像、歴史等の展示物のある。または、定期的に展示するような博物館。・駅や、町のいたるところでもっと博物館の存在をアピールする広告やポスターを増やしてほしい。もっと、積極的に市民に博物館を知らしめてほしい。	女	30歳代
☆相模原博物館のようにプラネタリウムを併設して下さると嬉しいです。☆六都科学館のような雨の日に施設内で十分楽しめるような施設にして欲しいです。「博物館」でありながらも、巾の広い分野での施設づくりをお願いしたいです。	女	40歳代
高令の為、行って見たい気持は一杯ありますが歩行も不自由、治療等で時間も余程便利な場所でないければ仲々行かなくなりました。	女	70代以上
・問7のような要件を満たし、そこに行けば町田市の歴史や文化などが、わかる博物館。・ただ見るだけでなく、直接、ふれたり、体験したりできる施設。	男	30歳代
以前から気にかかっていた。どんな物が展示されてるのだろうと。このアンケートが背中を押してくれました。感謝です。本日の展示は“お皿”でした。普段はあまり興味がなかったけど明治、大正、昭和初期の風俗が反映していて、面白かった。各地の町内会の回覧板などを利用(相乗りして)し、展示内容などのスケジュールを広報すべきと思います。わざわざ市のホームページをのぞいたり、しないものですヨ。また企画展示物がすべて占拠しているので驚きました。もっと町田市に関係するものが常設されていたら良いと思います。まさに、問7-10の充実が必要ではないでしょうか？	男	50歳代
・現在の車社会(含、自転車)では駐車場が欠かせない。広い場所が必要ではないか。・町田に住みながら町田のことをほとんど知らなかった、50周年を迎えた昨年は、いろいろ展示、発表があったが、今後も時々やってほしい。	男	70代以上
似た様な版画館はあるが、出来れば美術館があれば良いと思いますが…	男	70代以上
交通の便が良く散歩がてらに寄れるような博物館があったらと思います。	男	70代以上
私自身場所は知っていても行く機会がなかったので、みなさんあまり行ったことのある人は少ないと思います。大きな公園の中など人が集まりそうな所にあれば来やすくなると思います。	男	30歳代
正直どのような博物館があったらいいかと尋ねられても浮かびません。但し、美術や歴史などを大切にする市であって欲しいと思います。	男	30歳代
町田市独自で運営するならば負担も大きいと思う。本格的に博物館らしくする費用は多額になるものと予想されるので、一旦白紙にもどしてはどうか。	男	50歳代
特別な建物の必要は感じない。市役所の一角にでもあればいいのでは。敢えてつくるのであれば自然緑地の片隅にでも小さなものを作ればいいと思う。ハードよりソフトが大事です！	男	60歳代
不要	男	60歳代
町田市の一変せんが全ての分野で分かる総合的なもの。必要があれば集約して欲しい。博物館経営は1度行けば2度と行きたくないという現実をふまえる必要がある。特に特別展などでつなぐことも必要かも知れないが、以上に大事なことは旭川動物園の様なケースを学芸員の方、市役所の方は真しに受け取ってもらいたい。そのような人材なくてはすべて絵にかいたもちと思っています。期待して見えています。	男	60歳代
若者が興味を持つような企画や展示があったらおもしろいと思います。また、携帯電話でその時その時の企画お知らせメールなどがあったら便利で興味をもちそうです。	男	20歳代
国際的な美術品を展示できる大規模な美術館など。	女	40歳代
あちこちに分散配置でなく、ひとつの場所に集め建物は別にし各施設の独自性を出した展示をした方が	男	60歳代

良いと思うが、市の財政を考えると、このままやるのがベターなような気がします。		
・子供大人が自然を知り、環境のことを考えるきっかけになるような自然のことを学べる博物館。・少し刺激があり、見る人が驚くような展示物のある博物館。・体験することができる科学の展示品がある、博物館（静電気のボールみたいなやつ）	女	10歳代
子ども達が興味をもつような博物館 勉強や学習に役にたつような施設。箱根ちょうこくの森や、未来科学館のような、など。	女	30歳代
皆が行きやすく、くつろぎやすく、いこえる場。ゆったりしている事。	女	40歳代
歴史を学べるような博物館が良いと思います。町田市のみではなく、地球の歴史みたいなものを体験できると楽しいでしょう。今、上野で阿修羅展を開催していますが、容易には見ることのできないものを、ぜひ身近で見たいと思います。また館内には休憩スペースをたくさん設けてほしいです。私は病気のため足が痛くて長く立ってられないので…	女	50歳代
子供が楽しめる体験型の博物館があれば、ぜひ行きたいです。	女	30歳代
主旨とはちがいますが…以前萬葉草花苑にでかけたとき、おちた花びらで草笛をしていたら「花をとるな！」と注意されたことがあります。ボランティアの人だったと思います。花をとる心ない人もいるのでしょうが、落ちた花びらをひろっただけなのに盗人のように非難されて、それ以来萬葉草花苑には行っていません。	女	50歳代
問7では、1～10は、それぞれ大切な内容で総合的に配慮された、博物館であってほしいと思います。また「5」は郊外や公園内などに建設された時には、重視すべき事とします。町田市民はもちろん、外の地域や県外の人々にもたくさん来ていただけるようにやはり町田駅の近くであれば、交通の便がよい所に建設されると良いと思います。町の中であつてもリラックスが出来て、年齢に関係なく楽しめる場所になれば良いと思います。	女	50歳代
高齢者などが気軽に足を運べる博物館を希望する。		70代以上
町田市の川に飛んでくる又は住んでいる鳥や動物をもっと知りたいと思います。映像又はフォト等で出来れば季節、場所等も知りたいのでそれらも加えた博物館があつたら楽しいと思っています。鳴き声も同様に聞かせていただける設備（ボタン式）があればもっとよいなあと思います。		70代以上
1. 交通の便のよい所にあり、誰れでも行きやすい（解りやすい）事、地図等の案内板等を見て、一寸と寄って見たくなる様な場所、建物であつたら！！問7の10番の様な施設でありたい。	女	70代以上
・交通の便が良く気軽に足が運べる場所。・堅苦しくなく易しく町田の歴史が学べる・専門分野は別に一室設ける・全つの素人が学べるフォーラム	女	50歳代
私も知らない場所ものつていたのですがやはり認知度をあげるためにも誰にでも興味をもってもらえるような博物館ができたらいいなあと思います。	女	20歳代
町田市内にある大学の学生がそこでコンテストを開いたりするような企画のあるところ	女	30歳代
版画美術館は収蔵品も豊か目的がはっきりしている。博物館は、何を中心とすればいいのか判らないのですが、布、陶器やガラス、磁器などの古い物見せて頂ければ幸せです。やっぱり交通の便が良く、又緑に囲まれた良い環境で静かに鑑賞できればと思います。	女	60歳代
チョコチョコ小まめにあっちこちと…。不必要と思う。(1つだけ)美術館、博物館、色々、一つにまとめたものにして、みんなが行きやすい所、又、興味関心、あるようなものに取り組んでほしい。もの凄く感じるのは、みんな職員がヒマそうに見える、カッキがない。税金のムダさを感じます。	女	50歳代
・箱物ばかり立派な施設はいりません。・市(役所)の文化に対しての意識が低い様に思う、文化に対しての知識勉強不足ではないのですか、他の市、23区等まわり町田と比べてみて、良い町づくりを希望します。・施設等ものすごい豪華のものが、片寄った施設が多すぎもう少し一般市民が集える様な、もう一度足を運んでみたいと思う博物館があつたらいいと思います。市、職員、博物館にたずさわってられる方あなた達は2、3度と(御家族等)興味を持って見学に行っていますか？市の財政の苦しい中、その所を良く考えて設備投資を強く望みます。	女	60歳代
先ずは取り付き易い名画の企画展を催しながら、企画的に価値のある展示品を見せていただきたい。	女	70代以上
「武相荘」のようなオリジナリティがあり、町田市民だけではなく、他県からも訪れる人が多い施設。	女	40歳代
交通の便の良さは、気軽に行く為に重要だと思います。自由に触れる展示にも魅力を感じます。	女	30歳代
もういらない。	女	30歳代
どちらかと言えなば美術館に興味がありますので国際版画美術館のような、雰囲気は好きです…。子供たちの勉強のためにも博物館は必要だと思います。授業の中に見学を取り入れて、体験したり見学させたりすれば、良いと思います。子供は成人しますが、なかなか、親(私)が連れて行けなかったため…	女	40歳代
旭町の体育館の近くに住んでいるのですが、グラウンドのまわりは、中高年の人のウォーキングやジョギングの場所となっています。又、障がいのある人の歩行訓練の場所ともなっているようですが、最近あまり見かけないのは、道が狭く、介添人のいない人は危険だからでしょうか。私の母も歩かなくては行けないのですが、一人で安全な場所は家のまわりだけなので出たがりません。もっと幼児や障がいのある人でも危険でないようなスペースを作って欲しいです。現在世界中のすばらしいものがテレビやインターネットを通して鑑賞できるので他の事に予算をまわして欲しい。	女	60歳代
町田の博物館は、専門分野ごとの施設が、各地域に分散して設置されているため、町田市の全体像を総	女	20歳代

合的につかみにくい形態になっている。町田市を、人文学、自然科学の双方から学べる総合博物館のような施設があるとよい。		
直接ふれたり作ったり遊んだりできる展示。	女	20歳代
私は絵画は描くのも鑑賞する事も好きですし、日本古来の骨董的な焼物やそして仕事柄古い日本の布や染にも大変に興味があり、町田博物館は散歩がてら行ける距離にある事から楽しみに拝見しており、そうした環境にある事を幸福に思っております。現在の雰囲気はほんと出来て嬉しく思っていますが、少しスペース的に狭いかしら…とは思っています。今後とも楽しみにしております。有難うございました。	女	60歳代
市立博物館も版画美術館も交通の便の良い場所ではありません。駅の近くとは言えないまでも、バス便の良い場所とか、土・日曜は駅(町田や玉川学園前)からのバス便をふやすとか、もう少し何とかありませんか？。もう1つは、大金をかけるのではなくてもっとニュース性のある特別展(考古学掘出し史料など)を開いて人が集まるようにするといい。動植物(昆虫も)標本の展示、エコロジー、環境保護をテーマにした総合展示などもやってほしい。常設か否かはその内容によりますが…。追伸、鶴川の図書館は狭過ぎます。何とかして下さい。	女	70代以上
ギネスブックの内容。マンガ・アニメの内容(ジブリ美術館のような)。	女	20歳代
「がにやら自然館」や「ふるさと農具館」など規模が小さな施設は、展示内容が乏しくリピーターは少ないのでは？。1ヵ所に集めて博物館の規模を大きくし、何度も足を運びたいような魅力的なものがあればいいと思う。ただ莫大なお金をかけて博物館を建てるのであれば、博物館自体特に必要を感じない。	女	40歳代
直接さわったり動かしたり体験できる事が楽しさを与えてくれると思う。ただ、見るだけの博物館はもういい。	女	60歳代
町田市や箱根などの町田市を中心としてその周辺の地層や断層(地質など)の歴史・成り立ちや、町田市の各地区の地質特長など。	女	30歳代
子供が楽しみながら体験実験できる博物館。町田市には有力な化学・科学系の企業が多いので、企業の協力を得て子供の理数離れを何とかくい止めたい。	男	30歳代
おもちゃ博物館！！できたら子供つれて行きます！！(四ッ谷のおもちゃ博物館まで行くのは大変)。雨でも子供が思いっきり遊べ五感を働かせられるようなステキな博物館、待っています。	女	30歳代
(1)小さい子どもが、展示品に触れることが出来、親子で学習できるオープンな博物館。(2)定年退職をされた方や、年配の方が気軽に参加できる講座や体験学習を積極的に行う施設としての博物館。	女	40歳代
・市の歴史が一目でわかるもの。・市を将来どのようにして行くかその展望など。	女	70代以上
若い方が子供連れで来られるような。子供の遊び場の有る。楽しい博物館、そして来られた方々とお話し合いが出来る場も有ったらと思います(国際版画美術館には度々参ります)。	女	70代以上
・プラネタリウム併設 ・子供にわかりやすい施設	女	30歳代
子供が、実際に体験でき、遊びながら、学習できるような博物館があったら嬉しいです。	女	30歳代
今の博物館は、駅から遠いし、車でも行けないのでせっかくの設備が生かされてないのもったいない！駅の近くに新しい博物館を作してほしい。私は、玉川学園に住んでいるので散歩に行きます。そんな人だけでは、町田市民は、かわいそうです。一部の人だけでは…	女	60歳代
絵画を展示している美術館が欲しい。子供達やお年寄りが気軽に利用出来る博物館	女	40歳代
存在するだけの施設であればいいと思う。市民が繰り返し「行きたい、観たい」と思えるものでなければ意味はあまりないだろう。(例えば、現存するもので、[ことばランド]のような常に閑散としているようなもの)。費用は税金であると考えればどうぞんのことと思う。	女	40歳代
現在、博物館は入館料をとらないで、しかし、大変貴重なものを見学出来、とても気に入っています。新しい博物館になっても、是非、この姿勢を続けてほしいものです。落ち着いた建築物が出来るとよいですね。	女	60歳代
現在の方向性を大きく変える必要はないと思います。歴史と美術とを関連づけて展示するという現在の重点をより発展させてくれることを望みます。	女	40歳代
歴史的に価値のある所蔵品のある何度も行きたくなるような博物館。恐竜の化石があったり、見るものが多すぎない子供から大人や高齢者まで楽しめる博物館。予算がなかったら一点だけ目玉を購入するといのでは。	女	20歳代
美しいものが集まっている博物館。たとえば、日本人形、西洋、東洋の人形、オルゴール	女	60歳代
博物館があることをもっとアピールした方がいいと思います。(知らない人が多いので)	女	30歳代
4ページの間3を見てずいぶんいろいろな施設が市内にあると知った。これらは全て常時スタッフがいるのでしょうか？どのような博物館があったら？というのは更に新しく建築する計画があるということですか？全てにおいて税金が使われるのだから利用者の少ない施設は無人で説明のパネルを増やすとか、新たに作るのではなく今あるものをうまく活用しながら変えるべきところを変える{改装するなどした方が良く思う。税金のムダ使いはやめて欲しい。→利用者が少ない施設の状況を建物の老朽化のせいにするのはおかしい。	女	30歳代
農家の人々が使ってきた農機具を現在の子供達に使用させて頂く機会があったと思います。特にお米{作りなどの仕事を通して必要な農機具を伝えていって欲しいと思います。	女	50歳代
興味がある時には出かけています。	女	70代以上

博物館、資料館といったものは固苦しいイメージと、興味が無いと行ってもつまらないというイメージが強い。やはり常設以外の人の目を引く展示。それにともなう宣伝。子供を連れて行ってもチョコッと遊んでくれる楽しい施設(版画美術館の前の水の流れる子供達大好きですから)。	女	60歳代
子どもが夏休みの課題や体験学習が出来ると良いと思う。	女	30歳代
市財政が豊かなら良いが、現況では不要と思います。	女	70代以上
開催されている物を常時知らせる事が必要。	女	70代以上
特色のある美術館や博物館があったら良いとは思いますが、1市町村で展示品を収集etcするには費用がかかり過ぎる。大都市周辺には類似の更に立派な博物館etcがあるので、利用はそれに任せ、市としては予算をもっと必要なものに使うべき。この種の施設作っても利用はほんと近隣の住民に限られる。	男	60歳代
もっと気軽に立ちよれる様な作りも大切だと思います。子供の頃の見学(学校での)しか記憶にありません。	男	20歳代
小・中学生が行きたがるようなマルチメディアを活用した博物館。	男	40歳代
(1)町田市. もしくは町田市を含む地域の社会科の教科書の代りになる理科の教科書の代りになる. 歴史・考古学の教科書の代りになる. 展示ある(総合的博物館. 小さいのがあちこちに点在しているより. 1ヵ所にまとめ・隣もついでに観られるよう工夫してほしい。(2)本アンケートに同封されてきた「おでかけください」ちらしを交通の便←(略図・駅からの位置)・休館日・入場料・等を記載して(カラーで)市役所・駅などに置いてほしい。	男	70代以上
折角、選ばれたものは、10年来住ませていますけれど身体が病弱故、入・退院を繰り返しておりますので協力出来ず、あまり関心を持ち合せて居りませんのでご免下さい。	男	70代以上
1. 不必要. 1. 天下り先反対. 1. 箱物を作るな	男	70代以上
常設の施設は必要ないと思う。企画展等が出来るホールがあればいいのではないかな。そういったホールは当然バリアフリーでゆったりとくつろげるスペースと、駐車場、及び駐車場。ホール間の移動が楽なようにしてほしい。	男	50歳代
不要。・レベルの低い博物館はいらない。・市から天行った役に立たない年寄りに高い給料を払う必要はない。・博物館に勤めている人は資格を持っているのですか。学芸員らしい知識があるんですか。・素人を使うのはやめてほしい。・団塊の世代の失業対策なんか利用しないでほしい。	男	60歳代
交通、物産、産業史の展示・研究(交通のメッカ、農業／工事物産、戦争史料etc) 自然生態・植生図の展示・研究(宮脇先生・横田大の作った) 音楽活動ではどうなのでしょう、各大学との連携も必要ではないか	男	60歳代
町田市民として町田市を誇りに思え、好きになれるような。知的好奇心を満足させてくれる、貧弱でない博物館。(現在のは幻滅)	男	70代以上
税金を使わないで欲しい。	男	70代以上
美術、芸術、政治運動、思想の今約の方向性等、地区の大学とタイアップ 講演会の実施	男	60歳代
・私は、都心に通うサラリーマン、休日は地元でのんびりしたり、買い物をしたり、楽しく過ごしている。町田市存住には充分満足。・博物館は、1日、半日、その場所で勉強したり、遊んだり、食べたりして過せる市民の“いいいの場”となるものが望まれる。(緑の多い公園的雰囲気の中にあるのがいい)・駐車場は絶対必要条件。	男	60歳代
芹ヶ谷公園の中に展示施設を集約して、効率的運営をし、市民ボランティアが活躍する施設とする。せっかく集めた文化財や資料を捨てることなく後世に残すことが必要です。	男	50歳代
全国に沢山の博物館がありますので似たようなものは必要ないと思います。予算を考えなければ出来ないことなので、無理のないもので良いと思います。私は当館の美術の収蔵品や、今あちこちでやっている全国の美術館がもっているものを借りて、質の高い企画展をすることを望んでいます。(それはとても～狭いです。今の博物館は)以前津市立美術館の学芸員の方が津絵の講演(超満員でかなり長時間立って聴きました。皆真剣でした。もっと広いところが必要だと思いました。)がとても興味深かったです。		70代以上
一般市民が気軽に自由に参加出来るような施設が良いと思います。		60歳代
文学館は大変気に入ってます 利用させてもらっています	男	60歳代
絵本、電車(乗り物)、歴史がよく分かる	女	30歳代
大正生れの年令なので特に記入することはありませんが、音楽が好きなので市民会館よりもっと大きな立派な劇場があったらと都内まで出掛けて行くときいつも思います。	女	70代以上
町田市も高齢化の傾向だと思いますので、博物館は、年配者にも、交通の便利な誰にも親しみやすい施設であって欲しいと思います。又、子供達も共に明るく、楽しく学んだり出来ると良いと思います。又、広くて、リラックスできる雰囲気も望みたいと思います。	女	60歳代
子どもが遊べるような、体験できるような施設	女	40代
・現在の場所は不便です。・公的施設はできるだけまとまってあった方が、一度にあれこれ見ることが出来ます。国際版画館と隣接する。又は、増築して、その中に博物館も入れるなど。	女	60歳代
・歴史写真資料館。・町田市内の植物(花など)を季節毎に鑑賞するもの。	女	40歳代
今は、新しいはこ物はいいません。現在ある、施設の充実をはかり魅力のある施設をめざして下さい。現	女	40歳代

在る。はこ物でも、無駄な物が多いと思います。文学館だって、図書館や、フォーラムの一部としてでよかったと思います。税金のムダ使いはやめていただきたいです。		
交通便の良いところであれば高齢者にとって利用価値が多いと思います。	女	70代以上
小さい施設が不便な場所にちこちあるより集約して、広いスペースを、様々に使う企画展示をした方が来場したい気になるのでは？町田市は広いので、仕方ないが、バスばかりは不便。	女	40歳代
・広くて誰でも利用できる・安価・カフェ(美味しく安い)施設。有・バラエティに富んだ展示	女	40歳代
自分たちが住んでいるこの町田市の歴史・文化等をもっともっと知りたいという気持ちを起こさせるような魅力のある博物館があったらいいと思います。	女	50歳代
駅から遠い場所であっても、広い公園など、博物館以外の施設や、親子で体験できるコーナーなど、多様な目的で行けると、文化や、美術などに触れることが自然になると思います。	女	30歳代
小学校、中学校位までの理科の実験器具、自由に使えるように。ボランティアの指導員が欲しい。学校では時間がなく、予算もない。	女	60歳代
同じような展示内容の施設があるようなので、整理した方がよいのではと思います。(維持費もかかるのでは)市立博物館はどんなものが展示されているのかよくわからないのでもっと特長ある博物館になると良いと思います。	女	30歳代
・町田市に生存している生物(動物、鳥、昆虫etc...)など、また移動して行ったりしていなくなった生物などを展示紹介したりと歴史の流れを展示(子供にもわかりやすいアニメ(マンガ)表示も含んで...)・土、日、祝日に家族でこれる様に小動物を飼ったりお年寄りも散歩コースとしてこれる様きっさコーナーを設置したりして足を運べる場所があると良いと思います。今後も頑張って運営(管理)して下さい。	女	40歳代
上記の10番のようなものがあれば十分だと思います。幸いにも都心に近く、都内の美術館や博物館に行けば見られるものも多いので、これから人を呼ぶ為の位置付けはしない方がよいと思います。	女	50歳代
・名前自体が堅苦しく敬遠される雰囲気がある。(町田ミュージアムとか)・もっと体感型の楽しい雰囲気にする(鉄道博や化学博etcを参考に)・子連れの保護者や、シニアの方々もホッとするスペースを作る。単に静かな場所というより、パラソルやウッドデッキでお茶できて、植物が鑑賞できるように。・市内あちこちにある〇〇館やらを1つの敷地内にまとめる。・小ステージを作り、郷土芸能パフォーマーを募る。それを催し、ミュージアムに足を向けさせる。・土、日は普段役所や郵便局に行かれない人用に、出張所設ける。・本来の博物館の目的とは違いますが、人寄せにはコラボが必要かと思いましたが。失礼しました。	女	50歳代
自然豊かな街、町田なので、自然にふれあうことができる博物館。	女	20歳代
収蔵品だけではなく、様々な展示をしてほしい。全国から人が見に来るような目玉の作品がある博物館が町田市にあったらいいなと思います。	女	20歳代
子供達が楽しんで見学出来る、わかりやすいのが一番だと思います。	女	60歳代
現在、様々な博物館がありますが、建物・敷地を分ける必要がありますか？。土地や人件費を考えると1ヶ所にまとめて、テーマごとに区分しておけば済むことのように思います。実際、小中学生の芸術・美術の勉強にはなと思いますので、なくすのはいけないと思います。年に何回かの見学のためにであれば、1ヶ所で充実した1日にしてあげればよいからです。いずれにしても時代に逆行して経費や博物館を増やすのは反対です。	男	30歳代
1. 場所が遠くて不便である。1. 芹ヶ谷公園に移設して版画美術館の近くにあると相乗効果があるのではないか。この場所は緑豊かであり、近い内にコミュニティバスが通行する予定になっているのでぜひ移転してほしい。3. 博物館は無料なのにあまり人がこない。このことを深く考えてほしい。	男	60歳代
気軽に利用でき、他では鑑賞することができない様な展示物を展示し、海外の資料等も鑑賞できたらよい。	男	70代以上
町田市の歴史がわかる、その一方で最新の物がわかる博物館が良い。施設がどこにあるのかわからない。	男	50歳代
子供が遊べて(色々な乗物、遊び道具がある)、大人は図書館等の利用出来る施設があったらいいと思います。	男	50歳代
子供達が行きたいと思うような科学・化石を中心とした遊びのあるものがあつたらよいと思う。	男	40歳代
(1)地域の自然史博物館 (2)展示専門会社にたよるため、全国一律の展示形式です。外国の博物館を調査し、町田独自の展示空間を目指して下さい。	男	60歳代
美術館があればよい	男	70代以上
町田は都心や上野などへのアクセスが良いので、独自性を持つことが重要と思います。博物館を町田市として持つことは大変重要だと思っています。思いつくことを以下に列挙します。・町田市の中、高校あるいは町田在住の中高生が通学する範囲の中、高との交流を増やして(あるいは積極的に進めて)いただきたい。小学校との交流は子供にあまり残らないと思う。ある程度専門性のある内容の中、高生に興味をもってもらうのがよい。・地域の歴史は重要と思うが町田市に限定したのでは多くの人の関心はよばない。多摩、横浜、鎌倉などとの関連の中で考えられるとよいと思う。・文化の中心拠点という考え方で博物館を位置付けるということも必要ではないかと思う。例えば、すでに取り組まれていると思うが、音楽会を博物館で定期的で開催する。特色のある植物園が併設されている。など、おそまつです。上野などは、まち全体としてこれが成立していると思います。	男	40歳代

・知名度の高い展示品や全国的に価値のある資料があったらいいと思う。	男	50歳代
特にありません。個人的には、国際版画美術館が好きで、何回も行っていきます。	女	40歳代
町田市の歴史や民俗、知名度のある絵画等、ゆったりとした気分で鑑賞が出来、又、名もない人の身近な絵、手紙、等(他にいろいろある)展示したものを見て爽やかな気持ちになれば最高です。博物館は、其の時々展示物を見る事でそれぞれの想いを馳せる場所でもあると思います。広くて、明るい雰囲気、博物館を是非誕生させて下さい。	女	60歳代
美術物作りその他体験学習が出来楽しく過せる場の提供。サークルが展示出来る場所「気軽に」		70代以上
施設が全て離ればなれで行きにくい。また展示が中途半端な印象。できればワシントンDCのように。1ヶ所に集中させて、ゆっくり滞在しながら、いろいろな体験も鑑賞もできるような集中型の博物館や美術館にしてほしい。駅から遠いなら、バス便をスムーズにしてほしい。(友人、知人に、博物館、版画美術館は「もより駅から遠い」と大変不評です。)		40歳代
地域の特性を踏まえ、テーマをある程度しばって展示内容を考える。又学芸機能も備えること。	男	70代以上
学校の授業とかでも使えて遊園地よりおもしろい博物館	男	10歳代
自然科学系の博物館があれば楽しい。プラネタリウムが付いていたり。	男	50歳代
資料を見ましたが、町田市が運営している施設(博物館)が多数あることに、びっくりしています。各市には、特徴の異った施設が、いろいろとあるとは思いますが、同じような(同類)施設が、あるのであれば、必要ないと思います。例として、町田市の歴史や自然、特徴を1ヶ所に集約し、又、集客や知名度を目的とした博物館など。	男	30歳代
・工場見学みたいに、子供がものづくりに興味・関心を示してワクワクするような施設。・キッズニアみたいに、ちょっと大人になったような職人体験ができる気分になれる施設。	男	30歳代
版画美術館のように唯一無二のもの。でないとな人が集まらない。	男	20歳代
・六本木や上野に行かなくても良い様に世界、日本において有名な絵画等の展示を主催出来る様に博物館。たとえ利用者が少なくても、歴史的、芸術的に価値ある展示物を置いてある博物館	男	40歳代
特にありませんが、強いて言えば、海外よりも国内のしかも、ぐっと視野が狭いと考えられるが、多摩地区の太古から現代迄といった、細かいものがあればと思います。	男	70代以上
どのようなものというより、市内の人々が自由にかつ低料金で行けること。又、歴史的に残していけるような会館期待する。	男	50歳代
現在の博物館では狭ますぎて、何をするにも中途半端な規模である。お金は掛ってもある程度の規模の博物館があっても良いのでは。	男	50歳代
問6はまよいました。場所としては私の家から近いのでいいのですが…ただ少し駅から遠くてという人、いると思います。私は車博や先日西洋美術館等よく行きますが、図版ゆっくり見たいんですが重いし高いし、ぜひ、図版買って下さい。お願いします。二階を映像と図書室(今まで通り時には講演の場所)にしてくださいとうれしいですが。…	女	70代以上
建物を作るのではなく今ある建物で内容を充実させるべきだと思う。税金のむだ使いにならない様に、借りてきて展示する事や、独自の視点で作品を集める(かわなくてよいので)etc. 町田は箱物が多すぎるイメージがある。	女	40歳代
・タマ地域の収蔵品を集収した自然系博物館(地学、生物学)←必要であれば協力できます。・科学体験館、今の施設が人文系に偏っているのもとても残念です。	女	30歳代
各展示会期の予告日が一覧表として有れば計画がたてやすいですがね	女	70代以上
子供のために、明るく楽しく学べる博物館・町田の歴史や、昔のくらし・天文、科学技術 等	女	40歳代
視聴覚(バーチャル)的なものより、本物の美術品、民具でも、民俗でも、それをどう(見えない部分を)みせたら、豊かな背景を知り、人間の手や暮らし等々の素晴らしさが感じられるのかを追求した、楽しい発見と学びのある博物館にしてほしいと思います。箱もの！という感じの建物ばかり立派で空間のあまっているような、どこか他と似たような展示の博物館ではない、町田にしかない(地域を生かした)博物館がいいなあと思います。養蚕についてや炭焼き、豊かな自然(良きもの)が身近であった町田市の昔の姿や、市が立っていた町田という場所的な位置等・・・展示やコーナーを作って欲しいものが思い浮かびます。又スペースを市民の文化活動や学習にも使えるようにしておくとういと思います。(多くの人が利用できるような)	女	30歳代
町田市独自の展示物を収集してください。高価な美術品はいりません。	男	40歳代

町田市立博物館に関する意識調査

詳細分析

【分析・検証項目】

- (1) 追加分析：「リピートに関する市民の意向」より
- (2) 追加分析：「市立博物館に行ったことがある人はどういう人か」より
- (3) 追加分析「市民は博物館に対してどのようなイメージを持っているか？」より
- (4) 追加分析「博物館がいない人の属性」より
- (5) 「検証：博物館は高齢者によって支えられているか？」より
- (6) 「検証：ずっと町田に住んでいると、郷土より新しいものに興味を持つのでは？」より
- (7) 「検証：市民は博物館を肯定的にとらえているのではないか？」より
- (8) 「検証：女性、親という潜在的なニーズがあるのではないか？」より
- (9) 「検証：子どもの観点が期待されているのではないか？」より

【追加分析・仮説の検討の項目のまとめ】

今回の追加分析に関しては、本編の統計的な客観的な数値に、アンケート結果やこれまでの調査結果等により推察される主観的な分析を加えた“仮説”です。（今後、関係者による仮説の十分な検討と客観的な手法による検証が期待されます。）

（１）追加分析：「リピートに関する市民の意向」より

①町田市内にある博物館や類似の展示施設へのリピート意向を対象施設ごとに考察

- 「国際版画美術館」は、認知度、満足度も高い施設である。
- 「市立博物館」は、潜在的なリピート意向は相当高い。
- 来館者数は多くないものの「萬葉草花苑」や「フォトサロン」は、これまで行ったことがある人のリピート意向は高い。
- 「ふるさと農具館」は、現状では他の施設と比較し、市民にとって相対的に興味や展示物などの魅力が低い施設と考えられる。
- 「自由民権資料館」は、来館者の数値は低いもののコアなファンがいる。
- 新たな仮説として、「萬葉草花苑」のような取り組みは現在のトレンドと合致しており、町田市のブランドとして育てていく魅力があるテーマである可能性がある。

②リピートを向上するには、

- 現在の傾向として“自然とのふれあい”に関する市民のニーズは高いと推察できる。
- 現在、博物館等に行くことの少ない 30 歳代ならびに 40 歳代で「自然科学」分野の感心が高い。この分野に関心の高い人は、文化活動に参加したいと考える人の割合も高い。
- 「萬葉草花苑」を知っている人の 86.3% は、ここ 1 年間に施設に行ったことがある。認知度は 34.6% と低いことから、「萬葉草花苑」は知名度が上がることによってより多くの来館者が期待できると考えられる。

（２）追加分析：「市立博物館に行ったことがある人はどういう人か」より

①市立博物館の認知度と居住年数の関係

- 市外から転入した市民は、市立博物館そのものを認識する機会が少ないと思われる。
- ここ 10 年は、市民が興味を持つ話題の提供が徐々に減少してきたとともに、PR の不足が原因であると推察できる。
- 運営レベルの改善ではなく、市として新たな博物館のあり方を模索し、再構築しないと今後、一層、市民にとって市立博物館の魅力が薄れていく。

②市立博物館に行ったことの「ある人」と年代の関係

- 少なくとも 10 年以上前には、年代に係わらず多くの人が市立博物館を訪れていたようであるが、現在では、主たる来館者は高齢者である。
- 現在、若い年代の博物館への興味は少ない。居住年数の長い、30 歳代以下の市民には、現状の市立博物館は興味を引かない施設へとなっているようである。

（３）追加分析「市民は博物館に対してどのようなイメージを持っているか？」より

①市立博物館に行ったことの「ある人」と「ない人」の現状の博物館のイメージ

- 市立博物館行ったことの「ある人」は「ない人」に比較し、博物館等には「全国的に価値のある資料」があると感じる。行ったことの「ない人」には、博物館等が借方で多様な展示をしていることが知られていない。
- 市立博物館に行ったことが「ある人」は、博物館等を鑑賞する場所と捉える一方、「ない人」はむしろ「学習・体験」ができる場所であると考えている。
- 市立博物館に行ったことが「ない人」が考えている以上に、町田市内にある博物館等には知名度や価値のある展示品がある。一方で、行ったことが「ない人」が考えているほど、町田市に関連する展示物や市民が参加する機会は少ない。
- 文化に興味を持つ人を増やすために、博物館等に来る人には参加型のプログラムを提案、来ていない人には、多様な活動についてのPRが必要。

②居住年数と現状の博物館のイメージ

- 居住年数が「２０年以上」の市民は、博物館等ではさまざまな企画展など知名度の高い展示品が展示されていて、町田市に関することや学習や体験ができる“町田市密着型”の展示は、短い人と比較し相対的に少ないものと感じていると考えられる。
- ただし、「２０年以上」の市民の多くは、５年以上前に来館した割合が高いことから、過去の博物館等のイメージである可能性がある。

（４）追加分析「博物館がいない人の属性」より

- 博物館をいらないとする人は、「市立博物館を知らない」、「行ったことがない」人が約８割となっている。行かない理由の半数は、展示物に興味がないであるが、文化・美術に興味がない人も一定割合いる。
- 必要性を理解してもらうには、先ず博物館を知ってもらうことが先決である。

（５）「検証：博物館は高齢者によって支えられているか？」より

- 新たな仮説として、企画展などの内容によっては、特定のターゲット（４０歳代のように）が博物館を訪れる可能性があると考えられる。また、小さな子どもを持つ２０歳代～３０歳代のお母さんが比較的訪れていることが考えられる。
- 来館者数、ここ１年のリピート数からみると、現状は、６０歳代以上、特に７０歳以上の高齢者が、主に博物館を支えていると考えることができるが、潜在的な利用者として、“文化、美術（企画展）に興味のある働きざかりの人”、“小さな子どもを持つ親”の掘り起こしの可能性がある。

（６）「検証：ずっと町田に住んでいると、郷土より新しいものに興味を持つのでは？」より

- 分野面からは「ずっと町田に住んでいると、郷土より新しいものに興味を持つのでは？」の仮説は、検証されなかった。しかし、居住年数の長い人の分野の重要性の点数が全体的に低いことから、興味を引くための新しいものを提供することを考える必要がある。

(7) 「検証：市民は博物館を肯定的にとらえているのではないか？」より

①博物館で見学以外に利用したいと思うことは？

- 博物館を訪れていない人は、体験学習会等の参加や開催を求めている人が少なくない。行かなかった理由として最も多い、「興味があるが、きっかけがない」を考えると、体験学習会等の参加はきっかけづくりになる可能性もある。

②将来の博物館の設備などについて、どのようなことを希望するか？

- 市立博物館に行ったことが「ある人」は、「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」、「町田市歴史や民俗・考古分野の展示が常設されている施設」、一方で、「ない人」は、「子ども達が楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設」の機能について割合が相対的に高くなっている。

③将来の博物館の立地はどのようなところがよいのか？

- 市立博物館に行ったことの「ある人」は、交通が不便であると感じたことのある人が少なからずいると推測できる。
- 一般的には、博物館は「大きな公園の中やそれに隣接する場所」というイメージがあり、市民は文化とともにくつろぎの空間を求めている。

④博物館の利用方法と今後の博物館の必要な機能の関係

- 博物館への期待は、そこにどのような種類の情報が集積しているかが明確であり、関連する情報が適正に整理され、閲覧できることにある。そのような情報について、児童・生徒を含む学習する人が広く学べる受け入れ体制を整える必要である。
- 市民は、資料を収集し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする博物館のあり方については理解している。

(8) 「検証：女性、親という潜在的なニーズがあるのではないか？」 } より
(9) 「検証：子どもの観点が期待されているのではないか？」 }

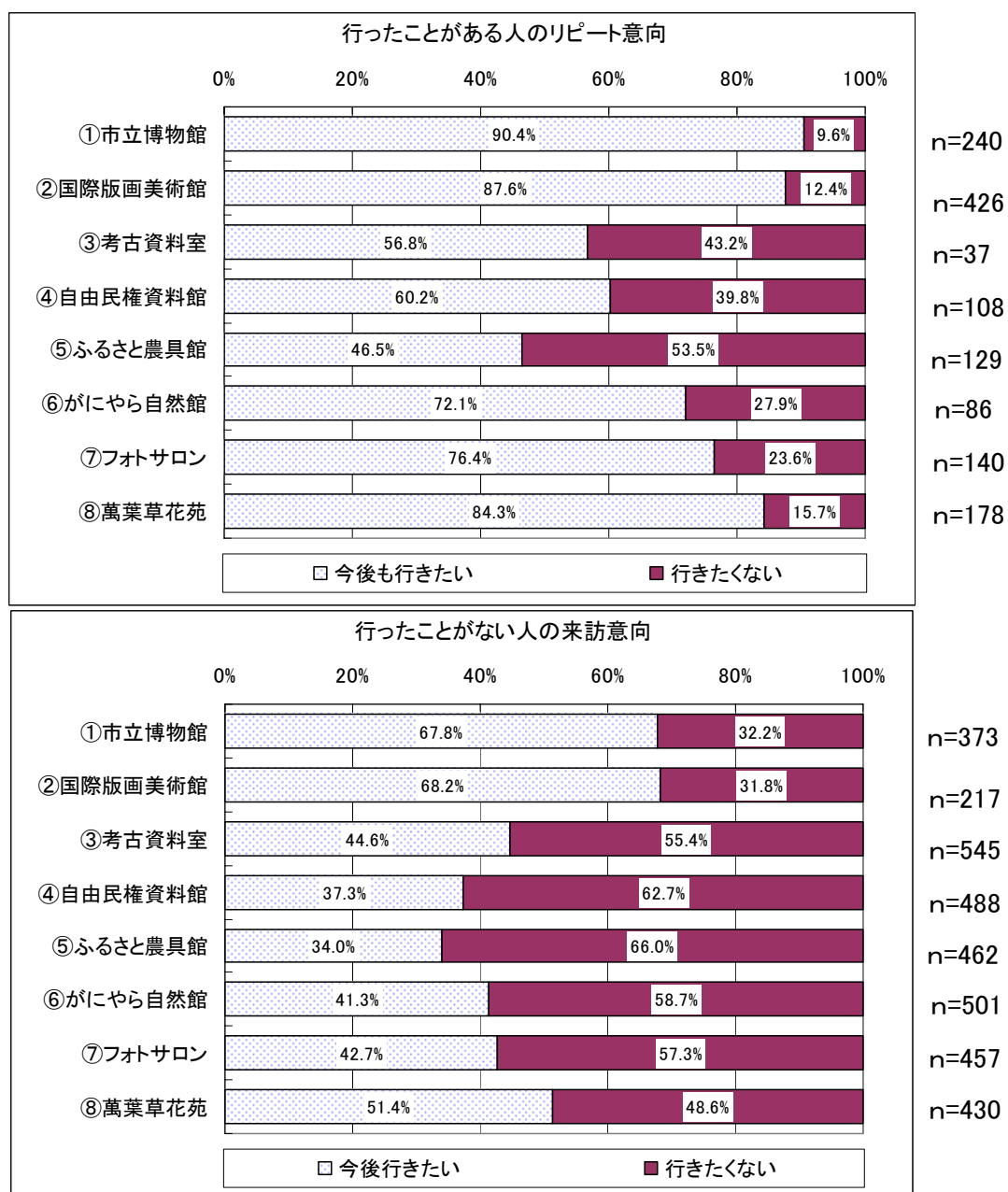
- 「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」、「子どもが楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設」など子育て世代をサポートする意見が強く出ている。
- 市民は、自身の利用とは別に博物館本来の資料収集や活用といった価値を認めつつ、そのあり方として“ゆとり”や“くつろぎ”を博物館に求めている。
- “大人が子どもと一緒に”は、1つのキーワードとなる、考えられる。潜在的な利用者として、文化、美術（企画展）に興味のある働きざかりの人、小さな子どもを持つ親の可能性をあげている。
- (5)の分析において、潜在的な利用者として、文化、美術に興味のある働きざかりの人、小さな子どもを持つ親の可能性をあげている。

(1) 市内にある博物館や類似の展示施設のリピートに関する市民の意向

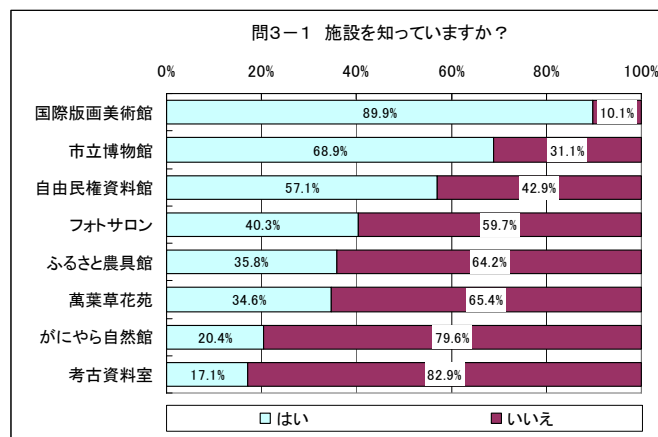
町田市内にある博物館や類似の展示施設（＝博物館等）について、ここ 1 年間に行ったことが「ある人」と「ない人」を比較して、今後（も）行ってみたい人（リピーター）の傾向と、その中から読み取れることについて考察します。

(1)－1 市立博物館・国際版画美術館

- それぞれの施設に行ったことが「ある人」は、「ない人」と比べて、すべての施設において、今後（も）訪れたい人の割合が高くなっている。
- 特に、「市立博物館」、「国際版画美術館」に行ったことの「ある人」の 9 割前後の人は、今後も行きたいと答えている。
- 行ったことがない人も、「市立博物館」、「国際版画美術館」に行ってみたい人の割合は相対的に高く、7 割弱の人が行きたいとしている。



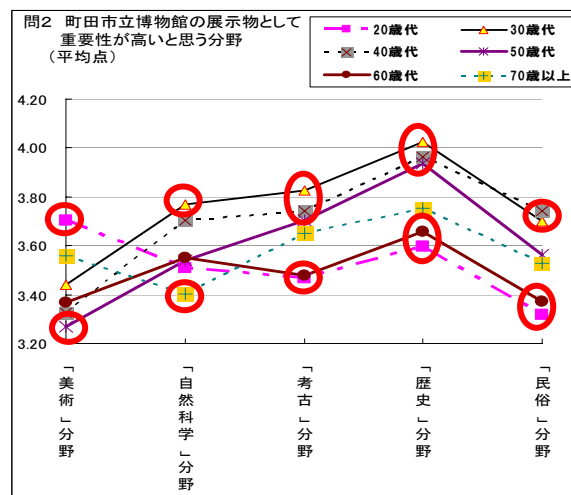
- 「市立博物館」の来館者数は、「国際版画美術館」の6割弱だが、行ったことの「ある人」のリピート意向は2.8ポイント高くなっている。
- また、「国際版画美術館」の認知度が9割程度、「市立博物館」が7割弱である。



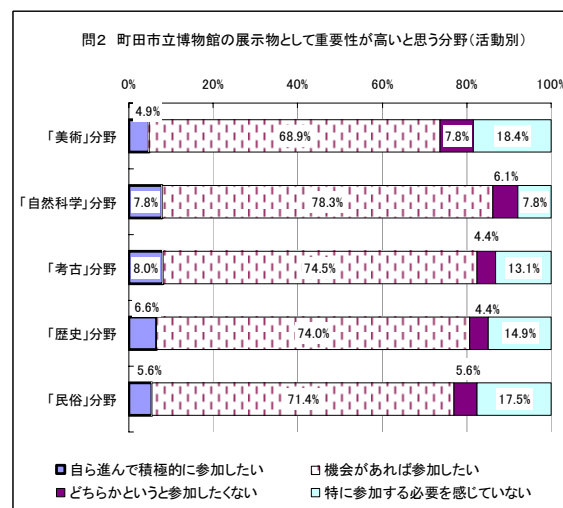
- 「国際版画美術館」は、市内施設の中では特に認知度が高く、また、行ったことの「ある人」のリピート意向が高いことから、満足度も高い施設といえる。
- 「市立博物館」は、国際版画美術館と比較し、行ったことが「ある人」が少なく、認知度も低いにも係わらず、リピート意向が高いことから、市民の「市立博物館」の潜在的なリピート意向は高いものと推測できる。

(1) -2 「萬葉草花苑」や「フォトサロン」

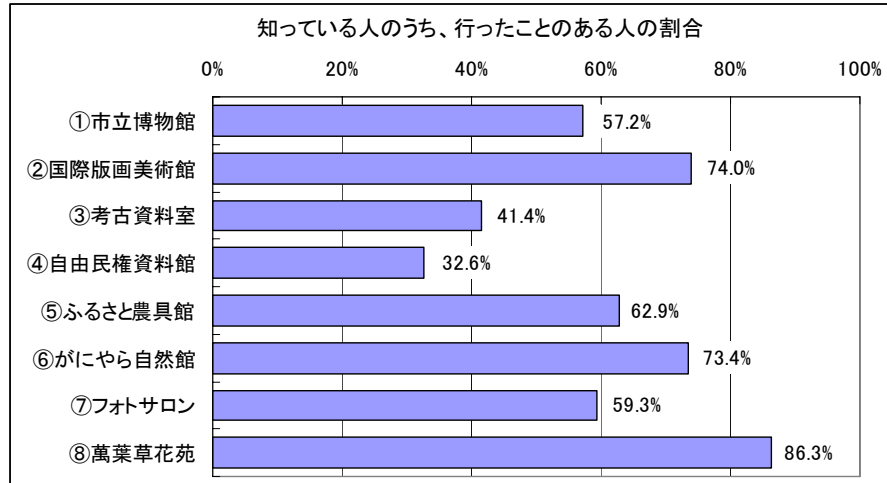
- 「萬葉草花苑」や「フォトサロン」も行ったことが「ある人」のリピート意向が高く、8割前後の人が今後も行きたいと答えている。
- 特に、「萬葉草花苑」は、行ったことが「ない人」の過半数が、今後行ってみたいと答えており、「フォトサロン」よりも9ポイント近く高くなっている。



- このことから、現在の傾向として、“自然とのふれあい”に関する市民の興味が高くなっているのではないかと推測される。
- 「自然科学」分野に関する興味の傾向は、30歳代、40歳代で高く、また、この分野に興味の高い人は、自ら進んで文化活動に参加したい人の割合が高くなっている。



- 「萬葉草花苑」を知っている人の86.3%は、ここ1年間に施設に行ったことがある。



- 認知度は34.6%と低いことから、「萬葉草花苑」は知名度が上がることによってより多くの来館者が期待できると考えられる。
- さらに、新たな仮説として、「萬葉草花苑」のような取り組みは現在のトレンドと合致しており、町田市のブランドとして育てていく魅力があるテーマである可能性があると考えられる。

(1)－3 「ふるさと農具館」

- 「ふるさと農具館」に行ったことが「ある人」で、今後も行きたい人の割合は、5割を切って相当低くなっている。
- このことから、「ふるさと農具館」は、現状では、他の施設と比較し、市民にとって相対的に興味や展示物などの魅力が低い施設の可能性があると考えられる。

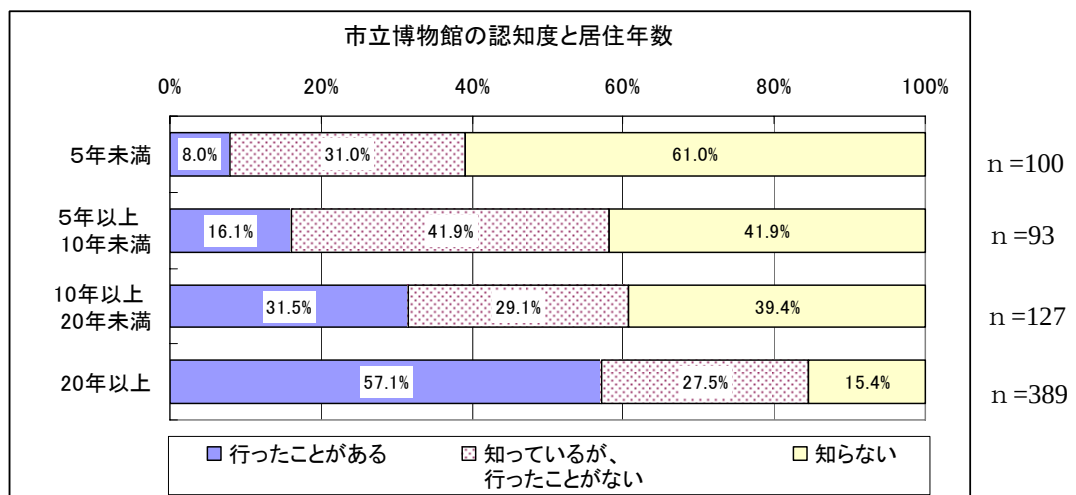
(1)－4 「考古資料館」、「自由民権資料館」

- 「考古資料館」は、認知度(17%)、来訪度(7%)でともに割合が低いとともに、施設を認知していながら来館者の割合(41%)も相対的に低くなっている。
- 「自由民権資料館」は、行ったことが「ない人」のうち、今後行ってみたい人の割合は37.3%と少ないが、行ったことの「ある人」のリピー特意向が「ふるさと農具館」よりも13.7ポイント高くなっている。
- 一方で、「自由民権資料館」の認知度は57%あるにも関わらず、行ったことの「ある人」の割合は18.6%と、認知度に対する来館者の割合(32.6%)と、他の施設と比較しても特に低くなっている。
- このことから、「自由民権資料館」は来館者の数値は低いものの、コアなファンがいると推測できる。

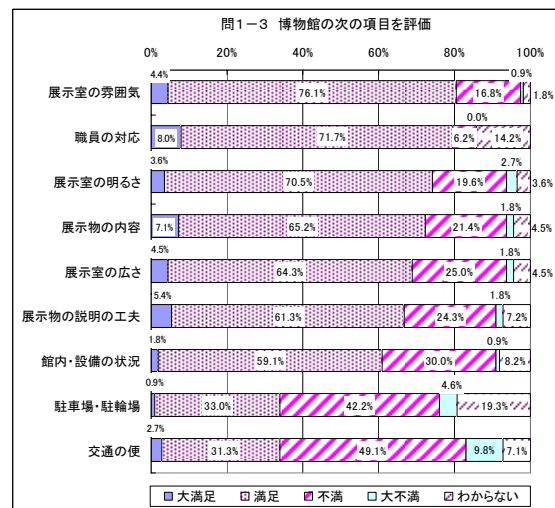
(2) 市立博物館に行ったことのある人はどんな人か？

(2)－1 市立博物館の認知度と居住年数の関係

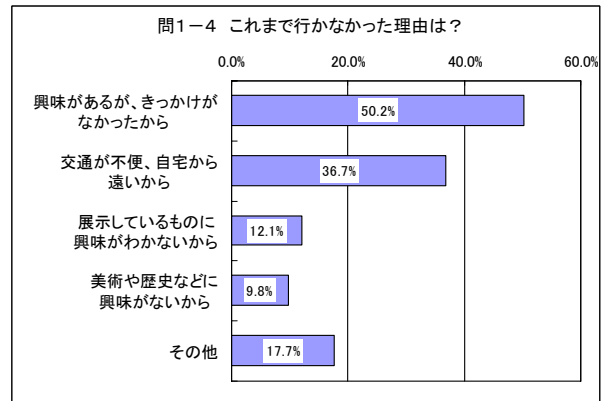
- 居住年数が 20 年以上のおおよそ 85% の人が市立博物館を知っており、6 割弱の人が実際に行ったことがある。
 - 5 年以上 20 年未満の人の約 6 割は市立博物館を知っているものの、実際に行ったことのある人は、5 年以上 10 年未満で 16% 程度であるのに対して、10 年以上 20 年未満では、31.5% となっている。
 - 5 年未満で市立博物館を知っている人は 4 割を切っており、さらに、行ったことがある人は、8% に留まっている。
 - 「20 年以上」の人で、市立博物館を知っている人の 7 割弱が博物館を訪れているが、「10 年以上 20 年未満」では 5 割強、「5 年以上 10 年未満」で 3 割弱、5 年未満で 2 割となっている。
- 市外から転入した市民は、市立博物館そのものを認識する機会が少ないと思われる。
 - ここ 10 年は、市民が興味を持つ話題の提供が徐々に減少してきたとともに、PR の不足が原因であると推察できる。



- 市立博物館の雰囲気や職員の対応など、訪れた市民の満足度が高く、前問にあったように、来館者のリピート意向も高くなっている。
- このことから、運営レベルの改善ではなく、市として新たな博物館のあり方を模索し、再構築しないと今後、一層、市民にとって市立博物館の魅力が薄れていくものと考えられる。



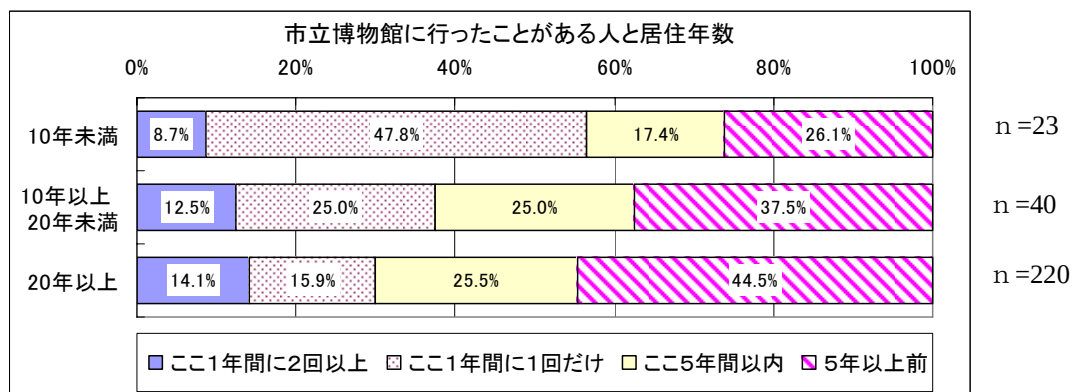
- 博物館にこれまで来ていない人の半数は、興味がないわけではなく、「きっかけがなかったから」としている。
- 今回のアンケート実施において、無料の招待券（2,000 通送付）を同封した結果、送付後約 2 ヶ月で 25 組の市民が招待券を持って国際版画美術館を訪れている。



- このことから、きっかけがあると来館する市民が少なからずいることは間違いない。無料招待券ではなく、市民のいう興味を引くことは何であるかを考察する必要がある。

（２）－２ 市立博物館に行ったことの「ある人」と居住年数の関係

- 居住年数が短いほど、ここ 1 年間の来館者割合が高くなっている。ただし、年に 2 回以上行く人の割合は、居住年数が長くなると増加する。
- 市立博物館に行ったことの「ある人」のうち、居住年数 20 年以上の人の実に 44.5% は 5 年以上前、約 7 割は 2 年以上前に行ったと答えている。

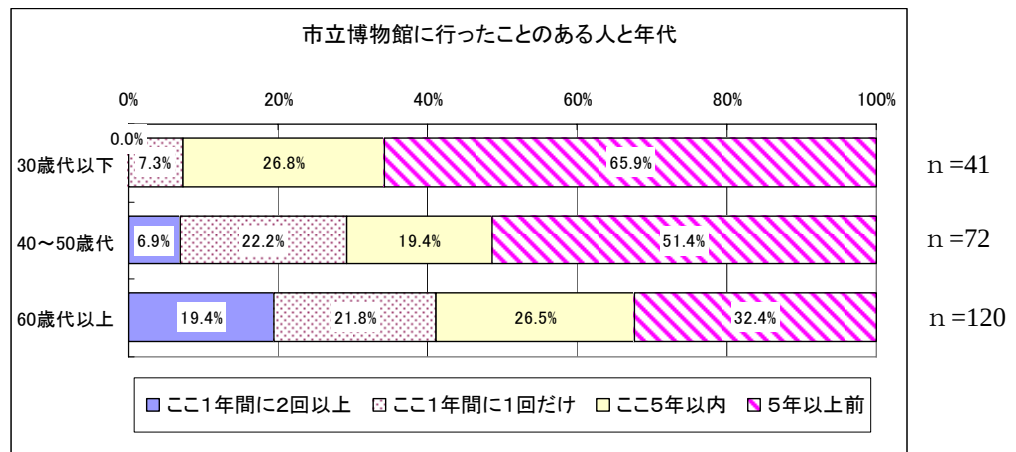


サンプル数が少ないため数値（%）は参考。

（２）－３ 市立博物館に行ったことのある人と年代の関係

- 市立博物館に行ったことが「ある人」をみた場合、居住年数が長いほど「5 年以上前」に行ったとする人が多かったが、年代別にみると、むしろ若い年代で「5 年以上前」とする人の割合が高くなっている。
- 30 歳代以下で、ここ 1 年間で 2 回以上行ったことの「ある人」は、0%である。

- 少なくとも 10 年以上前には、年代に係わらず多くの人が市立博物館を訪れていたようであるが、現在では、主たる来館者は高齢者である。
- 現在、特に、若い年代の博物館への興味は少ないようである。（２）－２の結果を踏まえると、居住年数の長い 30 歳代以下の市民には、現状の市立博物館は興味を引かない施設へとなっているようである。

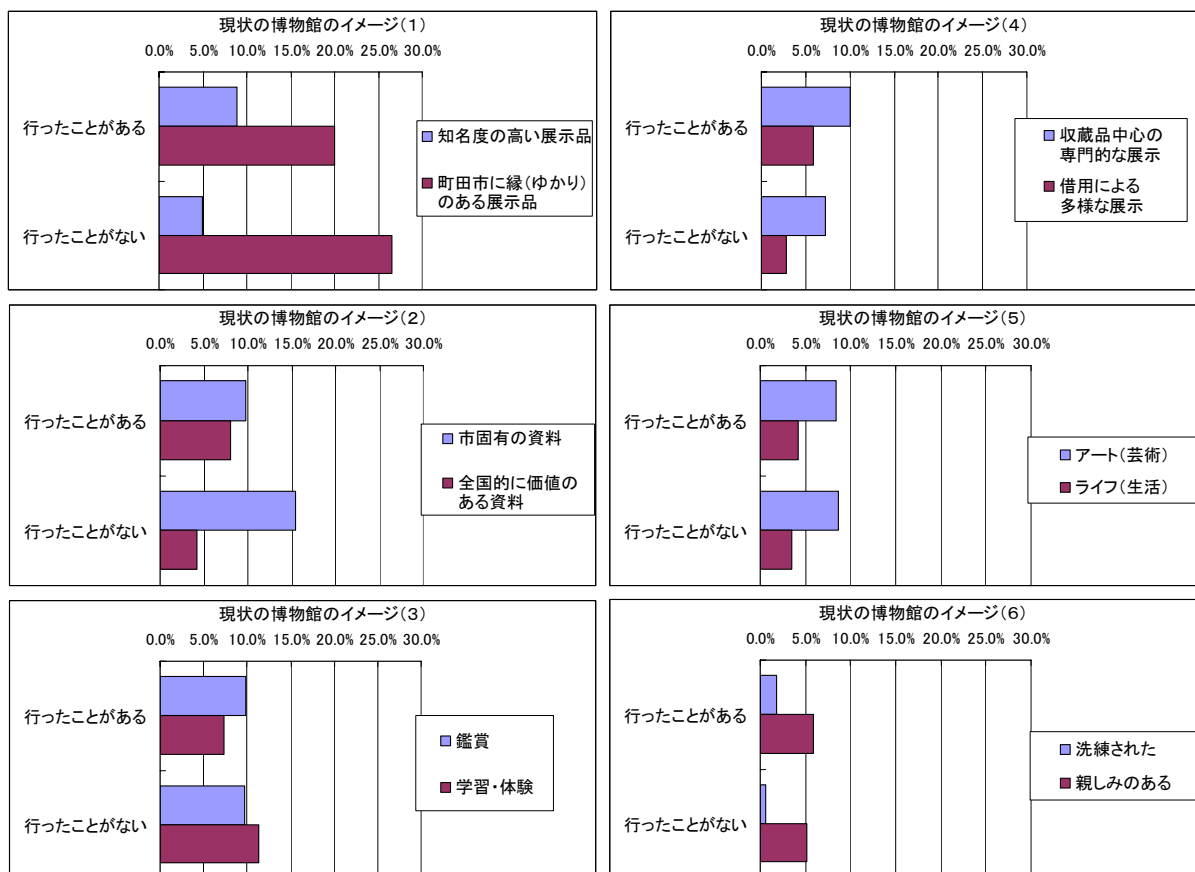


(3) 市民は博物館に対してどのようなイメージを持っているか？

(3)－1 市立博物館に行ったことの「ある人」と「ない人」の博物館のイメージ

市民が町田市の博物館や類似の展示施設（＝博物館等）に対してどのようなイメージを持っているか、いくつかの軸を設定し確認しました。この際に、市立博物館に行ったことの「ある人」の意見と、行ったことの「ない人」の意見を分けて考えます。

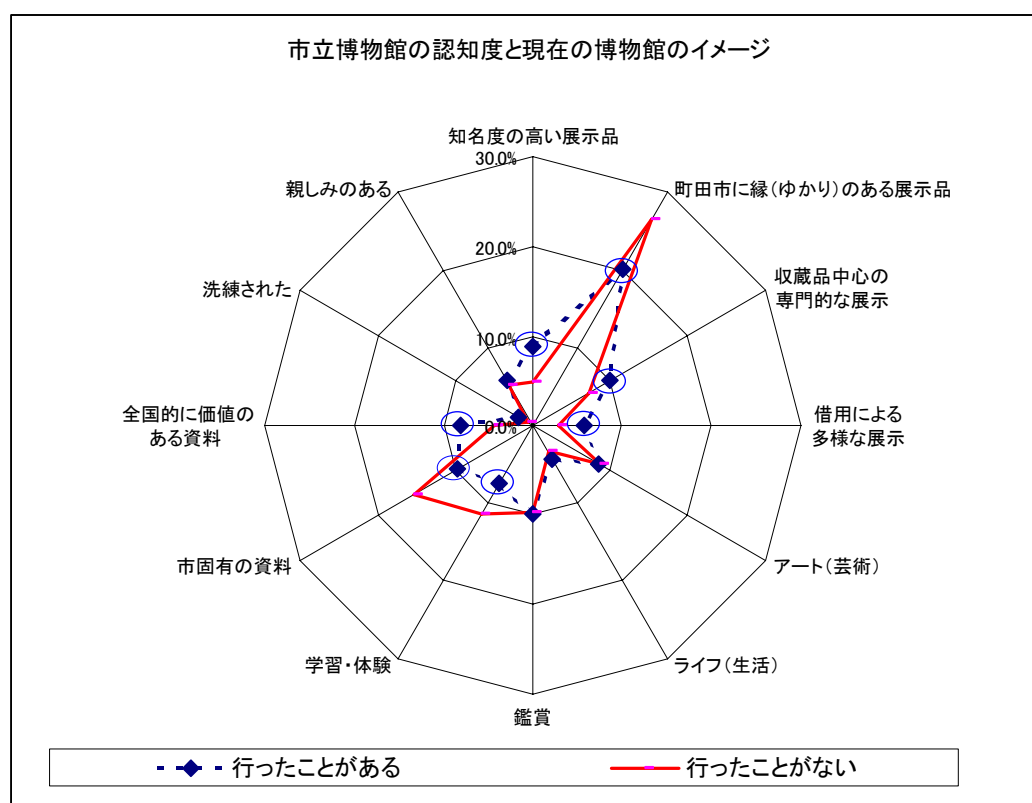
- 町田市の博物館等に対する最も強いイメージは、市立博物館に行ったことが「ある人」も「ない人」も「町田市に縁（ゆかり）にある展示品」である。
- 個別の要素でみていくと、市民が現状の博物館等のイメージとして、「知名度の高い展示品」よりは、圧倒的に「町田市に縁（ゆかり）のある展示品」と考えている。
- 全般として「全国的に価値のある資料」よりは、「市固有の資料」が展示されていると考えている。ただし、市立博物館に行ったことの「ある人」は「ない人」に比較し、「全国的に価値のある資料」があると感じるようである。
- 市立博物館に行ったことが「ある人」は、博物館等を鑑賞する場所と捉える一方、「ない人」はむしろ「学習・体験」ができる場所であると考えている。
- 「借用による多様な展示」というよりは、「収蔵品中心の専門的な展示」であると考えている。ここで、行ったことの「ない人」に、博物館等が借用で多様な展示をしていることが知られていないことが分かる。
- 市民は、町田市内にある博物館等には「ライフ（生活）」よりも「アート（芸術）」というイメージが強い。また、「洗練された」イメージよりは、「親しみのある施設」であると感じている。



- 市立博物館に行ったことが「ある人」と「ない人」の町田市の博物館等に対するイメージで差が出ている項目は、次のとおりである。

行ったことの「ある人」が高い項目	行ったことの「ない人」が高い項目
○ 知名度の高い展示品 ○ 全国的に価値のある資料 ○ 収蔵品中心の専門的な展示 ○ 借用による多様な展示	○ 町田市に縁（ゆかり）のある展示品 ○ 市固有の資料 ○ 学習・体験

- 市立博物館に行ったことが「ない人」が考えている以上に、町田市の博物館等には知名度や価値のある展示品があると推察できる。
- 一方で、行ったことが「ない人」が考えているほど、町田市の博物館等には町田市に関連する展示物や市民が参加する機会は少ないと思われる。
- 文化に興味を持つ人を増やすために、博物館に来る人には参加型のプログラムを提案、来ていない人には、多様な活動についてのPRが必要と考えられる。



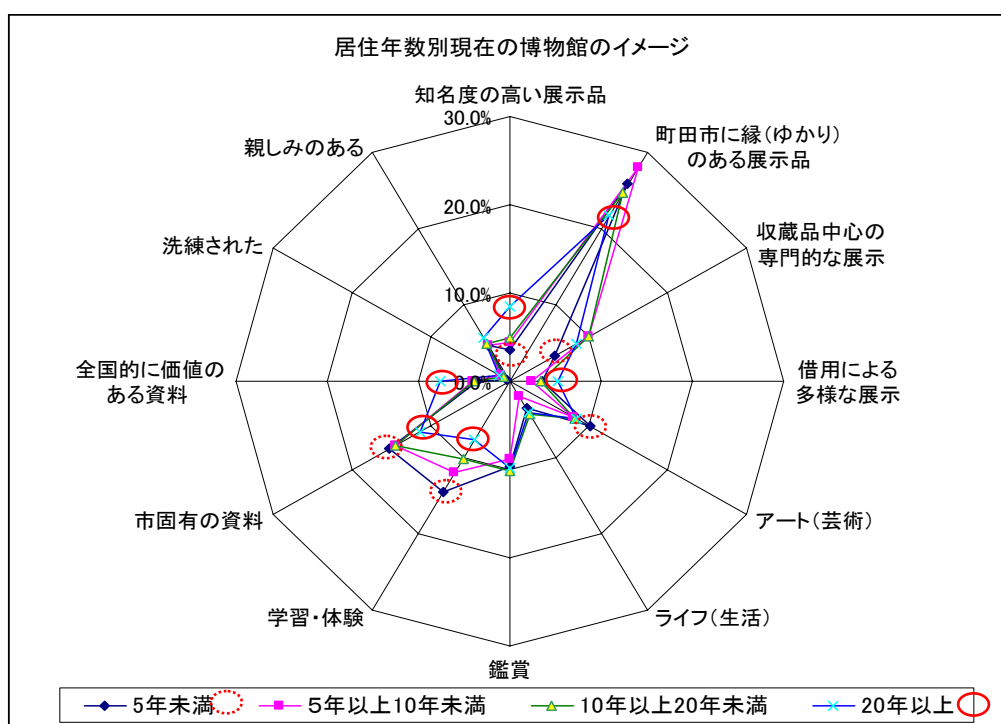
(グラフの見方)

問1で、市立博物館に行ったことが「ある人」と、行ったことが「ない人（「知っているが行ったことがない」と「知らない」の合計）」で、現在の博物館のイメージについて、複数回答の回答数の合計を100として各項目ごとの百分率を計算しています。

(3)－2 居住年数と現状の博物館のイメージ

居住年数別に現状の博物館等のイメージを確認しました。なお、居住年数5年未満の回答者が少なかったため、5年未満の3つの区分を1つにして表示しています。

- 全体として、現状の博物館等を「町田市にゆかりのある展示品」の展示、「市固有の資料」の収集する施設であるとイメージしている。
 - 居住年数にかかわらず同様の傾向がみられるが、居住年数「20年以上」は他の区分と比較し次の特徴がある。
 - ・「知名度の高い展示品」、「借用による多様な展示」、「全国的に価値のある資料」は相対的に高くなっている。
 - ・一方で、「町田市に縁(ゆかり)のある展示品」、「学習・体験」、「市固有の資料」は相対的に低くなっている。
 - 逆に、居住年数が「5年未満」の市民は、他の区分と比較し、相対的に「アート(芸術)」、「学習・体験」、「市固有の資料」が高く、「収蔵品中心の専門的な展示」、「知名度の高い展示品」、「全国的に価値のある資料」が低くなっている。
- 居住年数が「20年以上」の市民は、博物館等ではさまざまな企画展など知名度の高い展示品が展示されていて、町田市に関することや学習や体験ができる“町田市密着型”の展示は、短い人と比較し相対的に少ないものと感じていると考えられる。
 - 「20年以上」の市民の多くは、5年以上前に来館した割合が高いことから、過去の博物館等のイメージである可能性がある。
 - 「5年未満」の市民の相対的に割合が高くなっている「アート(芸術)」、「学習・体験」、「市固有の資料」は、10数年前と比較した場合の博物館等のわずかな変遷を示す差であるかもしれない。



(4) 博物館がいない人の属性

本編より、博物館がいないとする人は全体の8.1%でした。性別でみると、男性11.1%、女性8.4%となっています。年代別では、次のとおりです。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
博物館はいない	11.1%	4.0%	9.1%	6.1%	8.4%	11.5%	7.1%

その他、博物館をいないとする人の属性は次のとおりです。

(4) - 1 居住年数別・職業別

- 居住年数「5年以上10年未満」で、博物館がいないとする人の割合が高くなっている。
- 小サンプルであるため明確な判断はできないものの、「無職」ならびに比較的所得の高いと考えられる「会社経営者・役員」、医師・弁護士といった「自由業」で博物館をいないとする割合が高そうである。

(居住年数)

	全体	いない人	割合
1年未満	21	0	0%
1年以上～3年未満	36	3	8.3%
3年以上～5年未満	44	4	9.1%
5年以上～10年未満	94	11	11.7%
10年以上～20年未満	128	10	7.8%
20年以上	391	30	7.7%

(職種)

	全体	いない人	割合
会社経営者・役員	33	6	18.2%
自営業（農林漁業、商工業自営など）	25	1	4.0%
自由業（医師・弁護士・会計士・税理士、作家・画家など）	18	3	16.7%
自由業の手伝い	6	0	0%
会社員・公務員、団体職員	207	16	7.7%
パート・アルバイト	90	8	8.9%
専業家事従事者（主婦など）	148	7	4.7%
学生	20	1	5.0%
無職（年金生活含む）	152	16	10.5%
その他	14	0	0%

(4)－2 文化活動への参加との関係

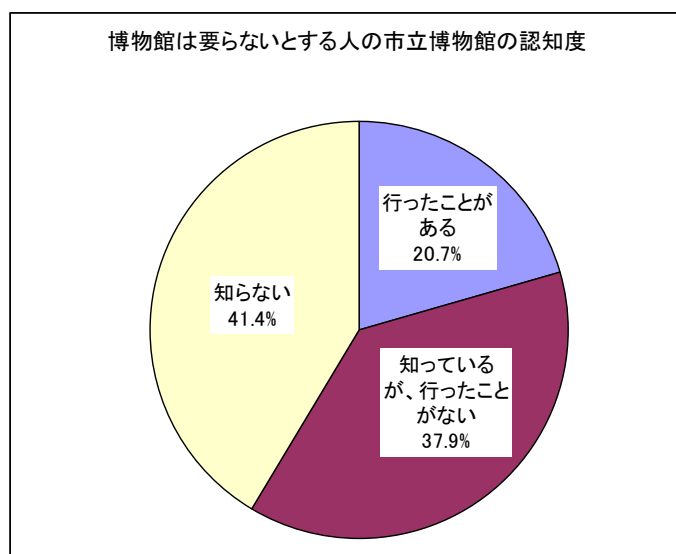
- 明らかに「特に参加する必要を感じていない」人の博物館がいないとする割合が高くなっている。

(文化活動への参加)

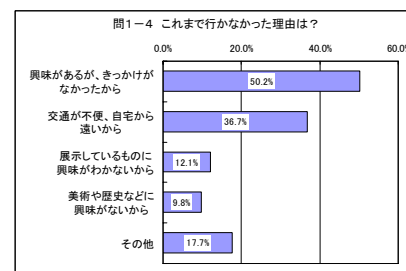
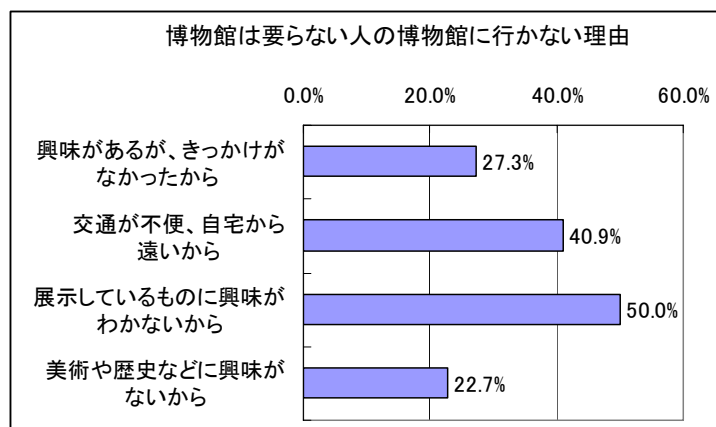
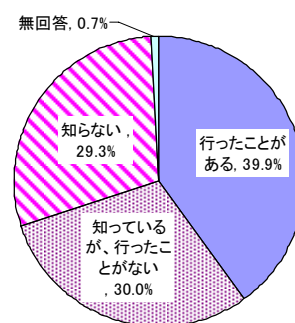
	全体	いない人	割合
自ら進んで積極的に参加したい	33	1	3.0%
機会があれば参加したい	454	26	5.7%
どちらかというに参加したくない	71	4	5.6%
特に参加する必要を感じていない	145	27	18.6%

(4)－3 博物館の認知度との関係

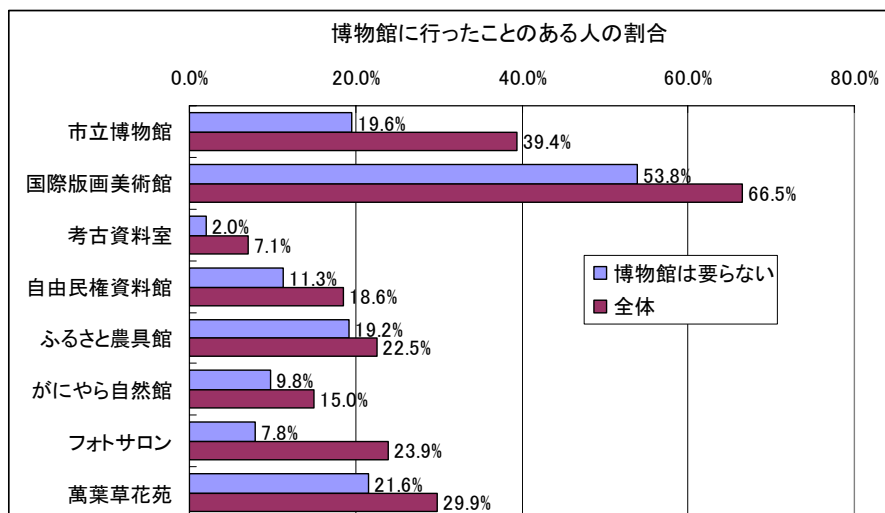
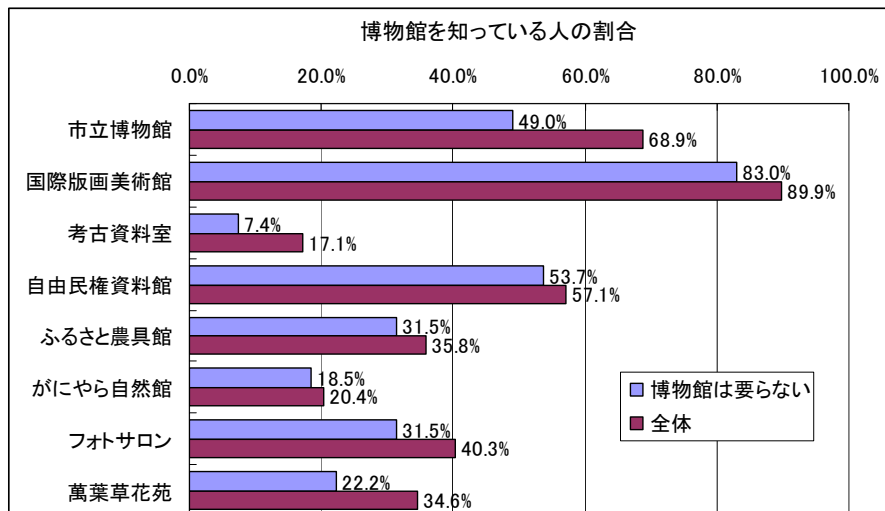
- 博物館はいないとする人は、市立博物館を「知らない」または「知っているが行ったことがない」人の割合が8割と高くなっている。
- 博物館はいないとする人は、展示物に興味がないという理由が最も多い。
- 文化・美術に興味がない人も一定割合いるものの、その必要性を理解してもらうには、博物館を知ってもらうことが先決であると考えられる。



問1「町田市立博物館」を知っていますか？

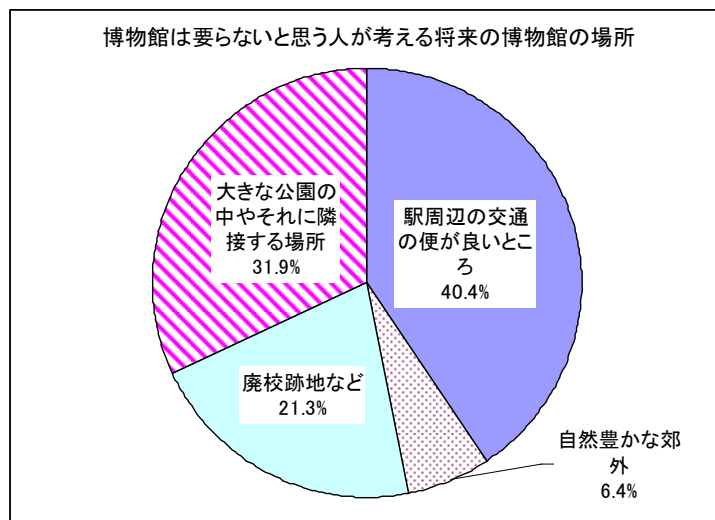


- 全体と博物館はいらないとする人の博物館等の認知度や行ったことの「ある人」の割合の違いをみると、博物館はいらないとする人は、博物館等を知らない、またはあ、行ったことのない人の割合が高くなっている。

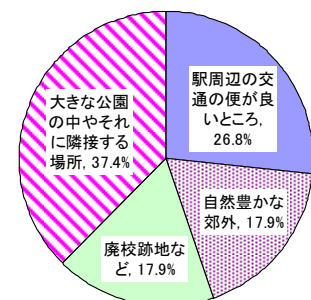


(4)－4 将来の博物館の建設場所との関係

- 博物館はいらないとする人は、全体の割合と比較し「駅周辺の交通の便が良いところ」が多くなっている。



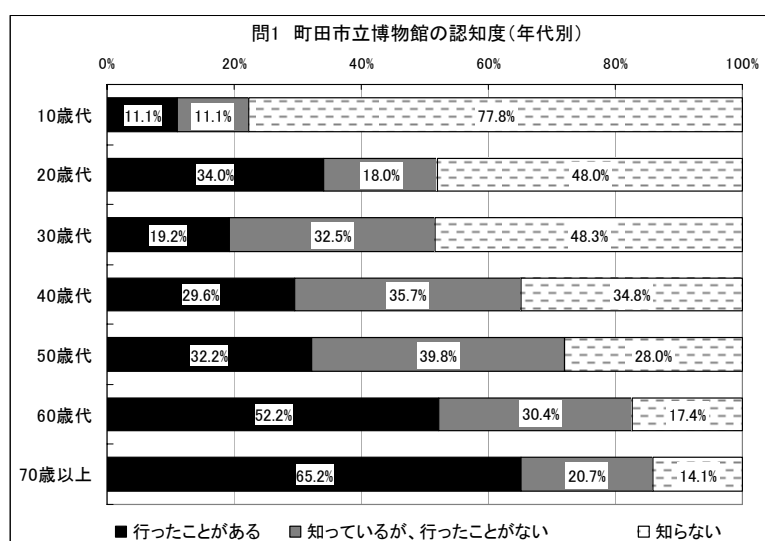
問6 将来、博物館はどこに建設したらよいか？



(5) 検証：博物館は高齢者によって支えられているか？

問1で市立博物館に行ったことがある人の割合をみると、60歳代、70歳代が圧倒的に多くなっている。

そこで、ここ1年間に2回以上、ここ1年間で1回、ここ5年以内に行った人について、それぞれ年代別に人数をみてる。



回答者のうち、ここ1年に2回以上いったことのある年代別の人数は、下表のとおりである。

- ここ1年間に2回以上行ったことのある38人のリピーターのうち、33人は60歳以上である。
- ここ1年間の人数をみると、60歳代以上の高齢者のほか、40歳代の人数も多くなっている。94人中、60歳以上は70人、40歳代は15人、その他の年代9人。

【年代別、訪れた時期別、市立博物館に行った人の人数】

年代	人数		
	ここ1年2回以上	ここ1年1回	ここ5年以内
10～20歳代	0人	1人	4人
30歳代	0人	2人	7人
40歳代	3人	12人	3人
50歳代	2人	4人	11人
60歳代	16人	18人	21人
70歳代以上	17人	19人	24人
計	38人	56人	70人

- 新たな仮説として、企画展などの内容によっては（40歳代のように）、特定のターゲットが博物館を訪れる可能性があると考えられる。

⇒企画展の開催に際しては、どのような方が来館しているかアンケートを実施することもあると考えられる。

- 昨夏、版画美術館でも来館者アンケートを実施しており、回答数は100件程度であったが、来館者の中で60、70歳代が4割近かった。
- ここ1年以内に1回行ったことのある20歳代～30歳代の3名はすべて女性であり、ここ5年以内の14名中、11名が女性である。
- 新たな仮説として、小さな子どもを持つ20歳代～30歳代のお母さんが比較的多く市立博物館を訪れていると考えられる。

これらのことから、

- 来館者数、ここ1年のリピート数からみると、現状は、60歳代以上、特に70歳以上の高齢者が、主に博物館を支えていると考えることができる。

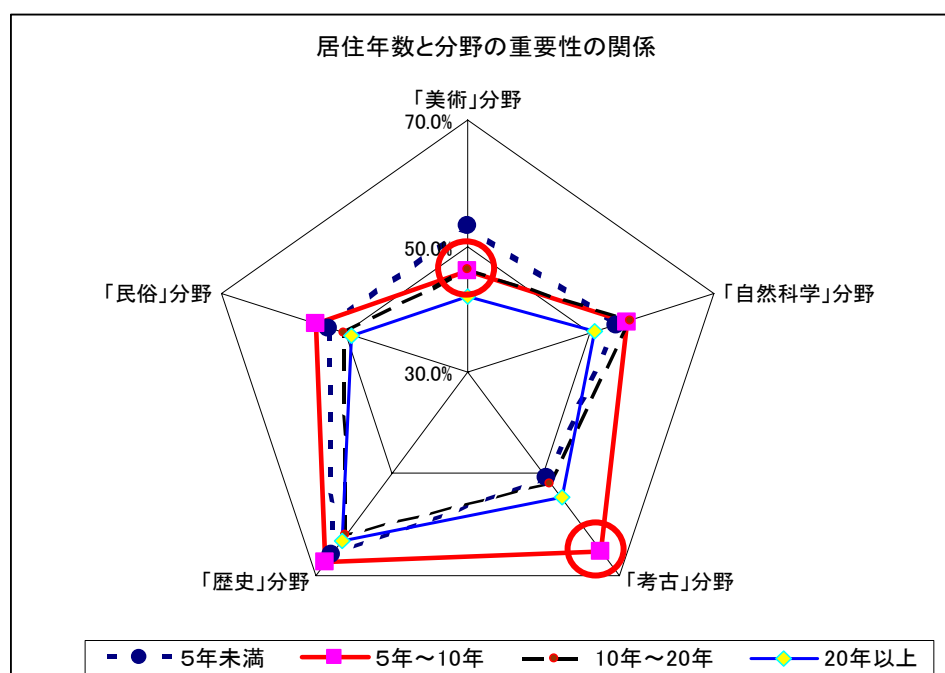
しかしながら、

- 潜在的な利用者として、次の市民の掘り起こしの可能性があります。
 - ・ 文化、美術（企画展）に興味のある働きざかりの人
 - ・ 小さな子どもを持つ親

(6) 検証：ずっと町田に住んでいると、郷土より新しいものに興味を持つのでは？

居住年数と重要と感じる分野の間に関係があるかを検証します。なお、居住年数の短いサンプル数が少ないことから、5年未満の3つの選択肢を統合して算定します。

- 問2で各分野の重要性について4ないし5を選択した割合を居住年数別にプロットすると、居住年数が「5年以上10年未満」で「考古」分野、5年未満で「美術」分野が高くなっていることが分かる。



さらに、問2で確認した各分野の重要性1～5について、それぞれ1～5点の配点をして、分野別、居住年数別に平均点を求めたものが下表です。ここで、下表の平均点の後ろの丸のついた数字は、居住年数別の重要性の順位です。

居住年数 \ 分野	「美術」	「自然科学」	「考古」	「歴史」	「民俗」
20年以上	3.36 ⑤	3.51 ④	3.64 ②	3.81 ①	3.54 ③
10年以上 20年未満	3.43 ⑤	3.66 ②	3.59 ③	3.81 ①	3.47 ④
5年以上 10年未満	3.45 ⑤	3.64 ③	3.86 ②	3.91 ①	3.64 ③
5年未満	3.60 ⑤	3.71 ②	3.63 ③	3.95 ①	3.62 ④

特徴をみると、

- 居住年数が長くなるほど、重要性に対して平均点が低くなる傾向がある。
- 「美術」分野、「自然科学」分野では、5年未満で特に高くなっている。
- 「考古」分野では、5年以上10年未満で特に高くなっている。また、全体的に平均点の低くなっている20年以上で、比較的点数が高くなっている。

- 「歴史」分野、「民俗」分野は、5 年以上 10 年未満、5 年未満で高くなっている。
- 居住年数「20 年以上」の人は、全体的に点数が低く、むしろ「美術」分野、「自然科学」分野の平均点が、他の年数と比較しさらに低い傾向がある。
- このことから、分野という面からは「ずっと町田に住んでいると、郷土より新しいものに興味を持つのでは？」という仮説は、検証されなかった。
- しかしながら、居住年数の長い人の点数が全体的に低いことから、興味を引くための新しいものを提供することを考えることは必要であると考えられる。

(7) 検証：市民は博物館を肯定的にとらえているのではないか？

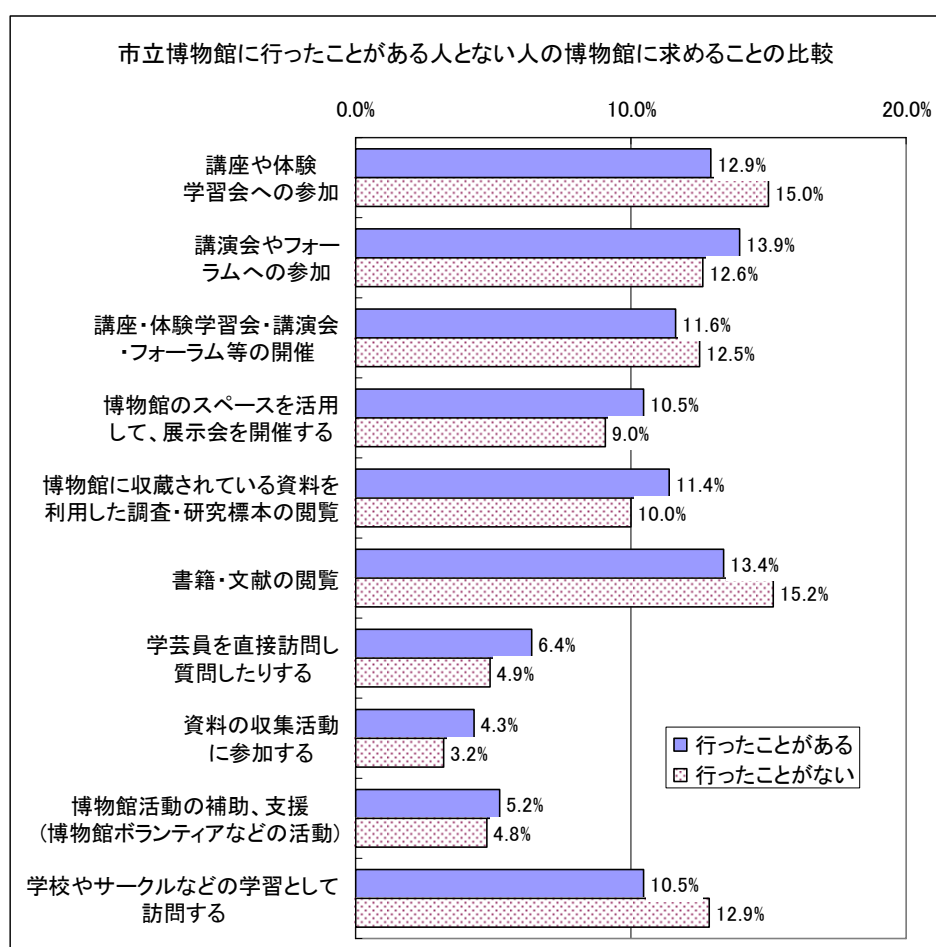
博物館に対して市民が肯定的に捉えていることについては、新しく博物館を建てる場合の立地として「廃校跡地など」は約18%と高いことや問7の「博物館はいらない」とする人が全体の約8%と低くなっていること、また、問5で収蔵や研究に対する理解があることも「利用したい」と「博物館としての機能」のギャップから推測されます。ここでは、現状や将来の博物館についてこうあってほしいという思いをもう少し分析してみます。

(7)－1 博物館で見学以外に利用したいと思うことは？

市立博物館に行ったことが「ある人」と「ない人」について、博物館を見学以外にどのように利用したいかについて、回答数を100として、各項目の割合をみました。

○ 両者には、「講座や体験学習会への参加」、「書籍・文献の閲覧」、「学校やサークルなどの学習として訪問する」、「講座・体験学習会・講演会・フォーラム等の開催」で大きな差が出ている。

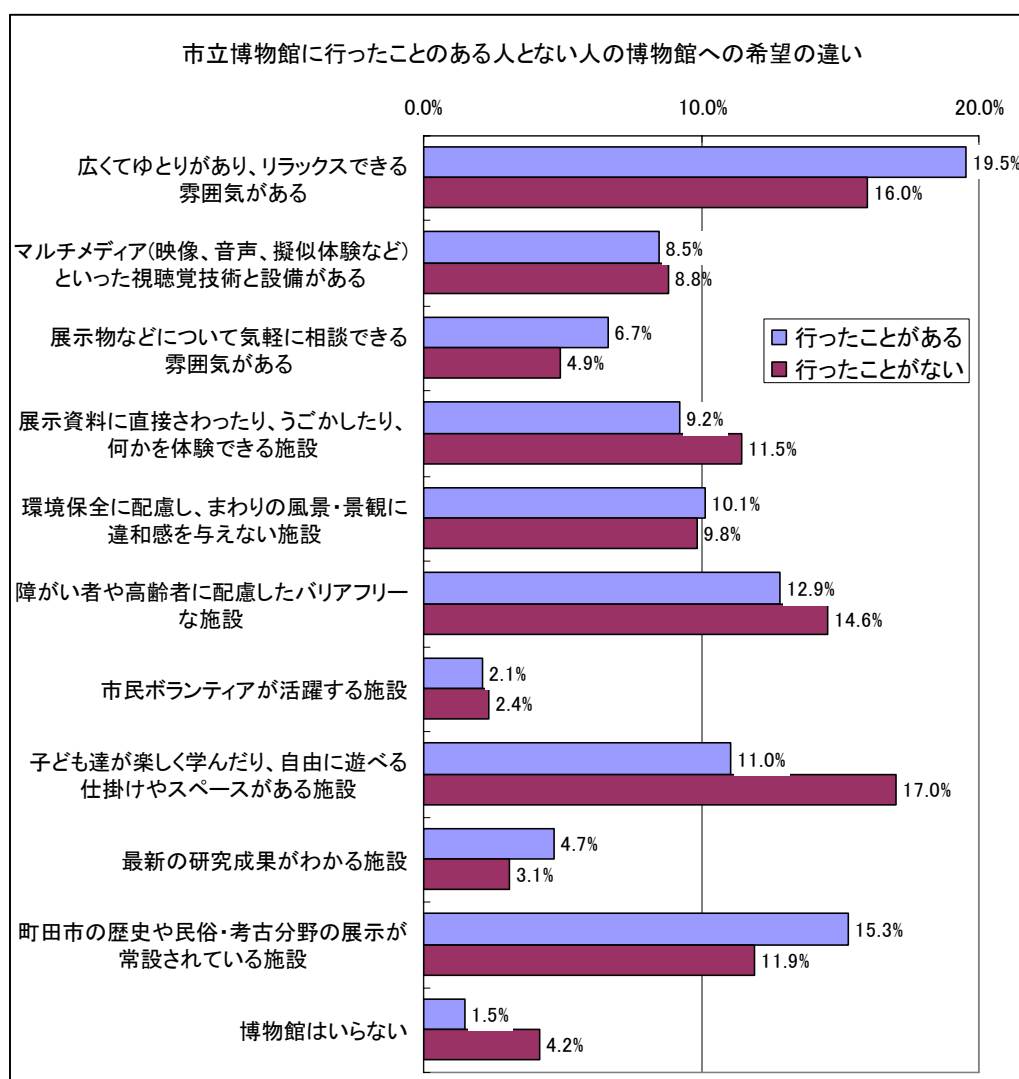
- 市立博物館を訪れていない人は、博物館に対して体験学習会等の参加、開催などの利用を求めている人が少なくないと考えられる。
- 市立博物館に行かない理由として最も多い、「興味があるが、きっかけがない」ことを考えると、体験学習会等の参加、開催はきっかけづくりになる可能性もある。



(7)－2 将来の博物館の設備などについて、どのようなことを希望するか？

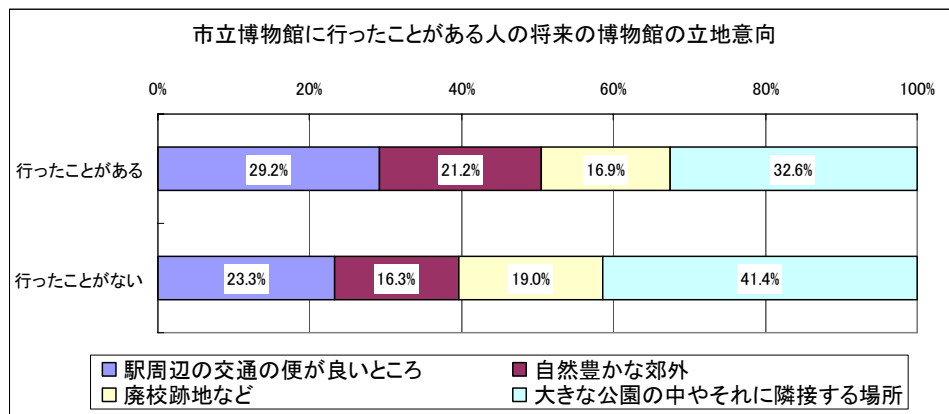
市立博物館に行ったことが「ある人」と「ない人」について、将来の博物館の設備などに、どのような希望をもっているかを確認した。回答数全体を100として、各項目の割合をみました。

- 市立博物館に行ったことが「ある人」は、「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」、「町田市歴史や民俗・考古分野の展示が常設されている施設」という機能について、「ない」人と比べ割合が高くなっている。
- 一方で、行ったことの「ない人」は、「子ども達が楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設」の割合が、「ある人」と比較し高くなっている。



(7)－3 将来の博物館の立地はどのようなところがよいか？

- 全体としては、「大きな公園の中やそれに隣接する場所」の割合が最も大きい。
- 市立博物館に行ったことが「ある人」は「ない人」と比較し、「駅周辺の交通の便が良いところ」が6ポイントほど高くなっている。
- このことから、博物館に行ったことの「ある人」は、交通が不便であると感じたことのある人が少なからずいると推測できる。
- 一般的には、博物館は「大きな公園の中やそれに隣接する場所」というイメージがあり、市民は文化とともに、くつろぎの空間を求めているのではないかと推察される。



(7)－4 博物館の利用方法と今後の博物館の必要な機能の関係

問5において、見学以外に市民が博物館等をどのように利用したいか、同時に、どのような機能を備える必要があるかを確認しました。

- 博物館等の利用方法としては、体験や参加が上位を占めている。ただし、博物館ボランティアなどの活動は、順位が低くなっている。
- 利用方法で3位の「講演会やフォーラムへの参加」が、必要な機能では7位と大幅に低くなっているほか、現在は上位の体験・参加型は、「今後の博物館の必要な機能」では順位を下げています。
- 「今後の博物館に必要な機能」として、「書籍・文献の閲覧」、「博物館に収蔵されている資料を利用した調査・研究標本の閲覧」、また、それらを活用した「学校やサークルなどの学習として訪問する」が上位となった。
- 市民は、町田市歴史や民俗など博物館が収集し、閲覧できる場所として捉えている。
- 博物館への期待は、そこにどのような種類の情報が集積しているかが明確であり、関連する情報が適正に整理され、閲覧できることにある、といえる。
- そのような情報について、児童・生徒を含む学習する人が広く学べる受け入れ体制を整える必要があると考えられる。
- 市民は、“資料を収集し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必

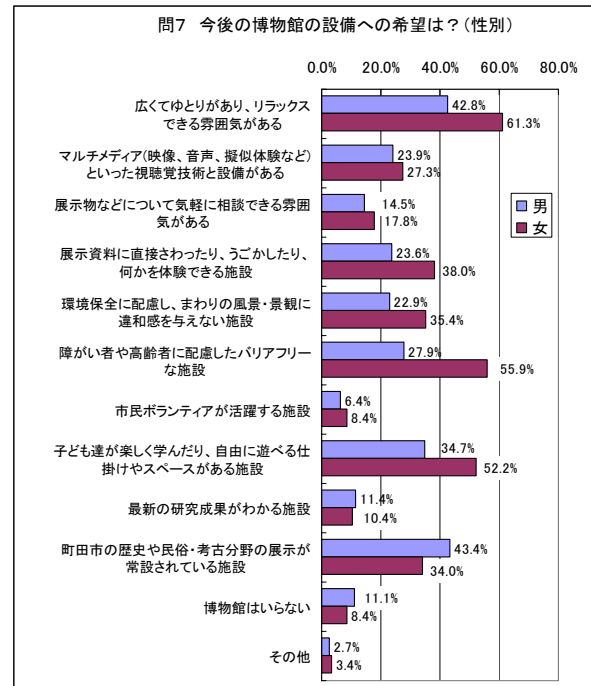
要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする”博物館のあり方については、比較的理解されているものと考えられる。

順位	利用方法	今後の博物館に必要な機能
①	書籍・文献の閲覧	書籍・文献の閲覧
②	講座や体験学習会への参加	博物館に収蔵されている資料を利用した調査・研究標本の閲覧
③	講演会やフォーラムへの参加	学校やサークルなどの学習として訪問する
④	講座・体験学習会・講演会・フォーラム等の開催	講座や体験学習会への参加
⑤	学校やサークルなどの学習として訪問する	講座・体験学習会・講演会・フォーラム等の開催
⑥	博物館に収蔵されている資料を利用した調査・研究標本の閲覧	博物館のスペースを活用して、展示会を開催する
⑦	博物館のスペースを活用して、展示会を開催する	講演会やフォーラムへの参加
⑧	学芸員を直接訪問し質問したりする	博物館活動の補助、支援(博物館ボランティアなどの活動)
⑨	博物館活動の補助、支援(博物館ボランティアなどの活動)	学芸員を直接訪問し質問したりする
⑩	資料の収集活動に参加する	資料の収集活動に参加する

- (8) 検証：女性、親という潜在的なニーズがあるのではないか？
 (9) 検証：子どもの観点が期待されているのではないか？

今回のアンケート調査では、どのような人を主な対象として施設をイメージするかについては設問を設けていません。ただし、問7において、今後の博物館の設備等への希望を聞いています。また、自由回答においても市民のニーズに関する多くの意見が寄せられています。

- 将来の博物館の設備などへの希望として、「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」が、最も割合が高く、次いで「子どもが楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設」が高くなっている。
- 性別でみると、上位のこの2つは、男性よりも女性の割合が高くなっており、女性の意向が強く反映されている。
- 年代別では「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」は20歳代と70歳以上、「子どもが楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設」は30歳代が特に高くなっており、70歳代は別の理由も考えられるが、子育て世代の意見と考えられる。



- 自由回答の意見をみると、博物館に対する要望として次の意見が際立って多い。
 - ・ アンケート本体でも「広くてゆとりがあり、リラックスできる雰囲気がある」が最も市民が博物館への希望として多かったが、自由回答でも改めて「自由に過ごせるスペース・ゆったりできるスペース」を求める意見が多かった。
 - ・ これもアンケート本体で、市立博物館に行ったことが「ない人」の意見として、「子どもが楽しく学んだり、自由に遊べる仕掛けやスペースがある施設」さらに博物館の今後必要な機能として「学校やサークルなどの学習として訪問する」に対する希望が多かったが、自由回答でも「子どもが分かりやすい・興味をもてる・楽しめる」、「体験型（星空の観察、染色、養蚕、版画製作など）」の意見が多かった。
- 市民は、自身の利用とは別に博物館本来の資料収集や活用といった価値を認めつつ、そのあり方として、“ゆとり”や“くつろぎ”を博物館に求めていると推察できる。
- “大人が子どもと一緒に”は、1つのキーワードとなる、考えられる。
- (5)の分析において、潜在的な利用者として、文化、美術(企画展)に興味のある働きざかりの人、小さな子どもを持つ親の可能性をあげている。

町田市立博物館に関する意識調査
結果報告書

発	行	町田市
		〒194-8520
		東京都町田市中町1-20-23
発 行 年 月		2009年12月
編 集		町田市文化スポーツ振興部文化振興課
調査・分析		(株) 日本能率協会総合研究所
印 刷		庁内印刷
刊行物番号		09-13